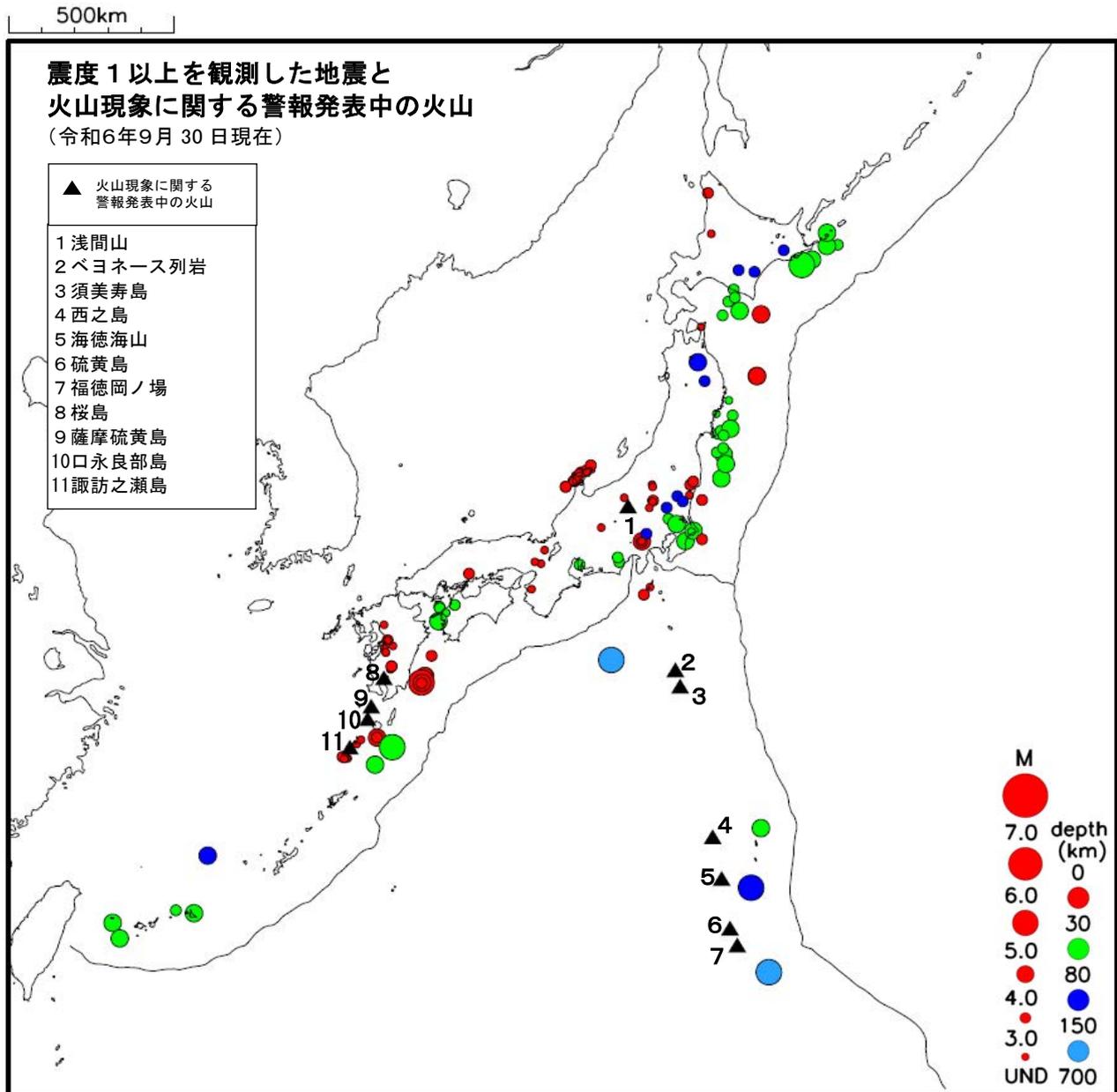


令和6年9月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

September 2024



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和6年9月30日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、7政令指定都市。

注** 令和6年9月30日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『数値地図25000（行政界・海岸線）』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成にはGMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998])を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁CMT解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx, yy/ZZ：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZは回数の総数を表し、xx, yyは期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、P波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えてCMT解を掲載する場合がある。なお、CMT解はベストダブルカップル解を示す。

・発震機構解の図中の語句について

P：P軸（圧力軸） T：T軸（張力軸） N：N軸（中立軸）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」1月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020年9月以降に発生した地震を含む図については、2020年8月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁CMT解のセントロイドの深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	8
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動	9
関東・中部地方の地震活動	10
近畿・中国・四国地方の地震活動	17
九州地方の地震活動	19
沖縄地方の地震活動	24
その他の地域の地震活動	25
● 南海トラフ周辺の地殻活動	26
● 日本の主な火山活動	29
北海道地方の火山活動	41
東北地方の火山活動	43
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	45
近畿・中国・四国地方の火山活動	49
九州地方の火山活動	50
沖縄地方の火山活動	54
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	55
● 世界の主な地震	57
● 世界の主な火山活動	58
● 特集	
2024年9月24日 鳥島近海（鳥島から北に約100kmの須美寿島付近）の地震	59
● 付録	
1. 震度1以上を観測した地震の表	65
2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	80
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	81
4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震	82
5. 緊急地震速報の提供状況	83

● 日本及びその周辺での主な地震活動

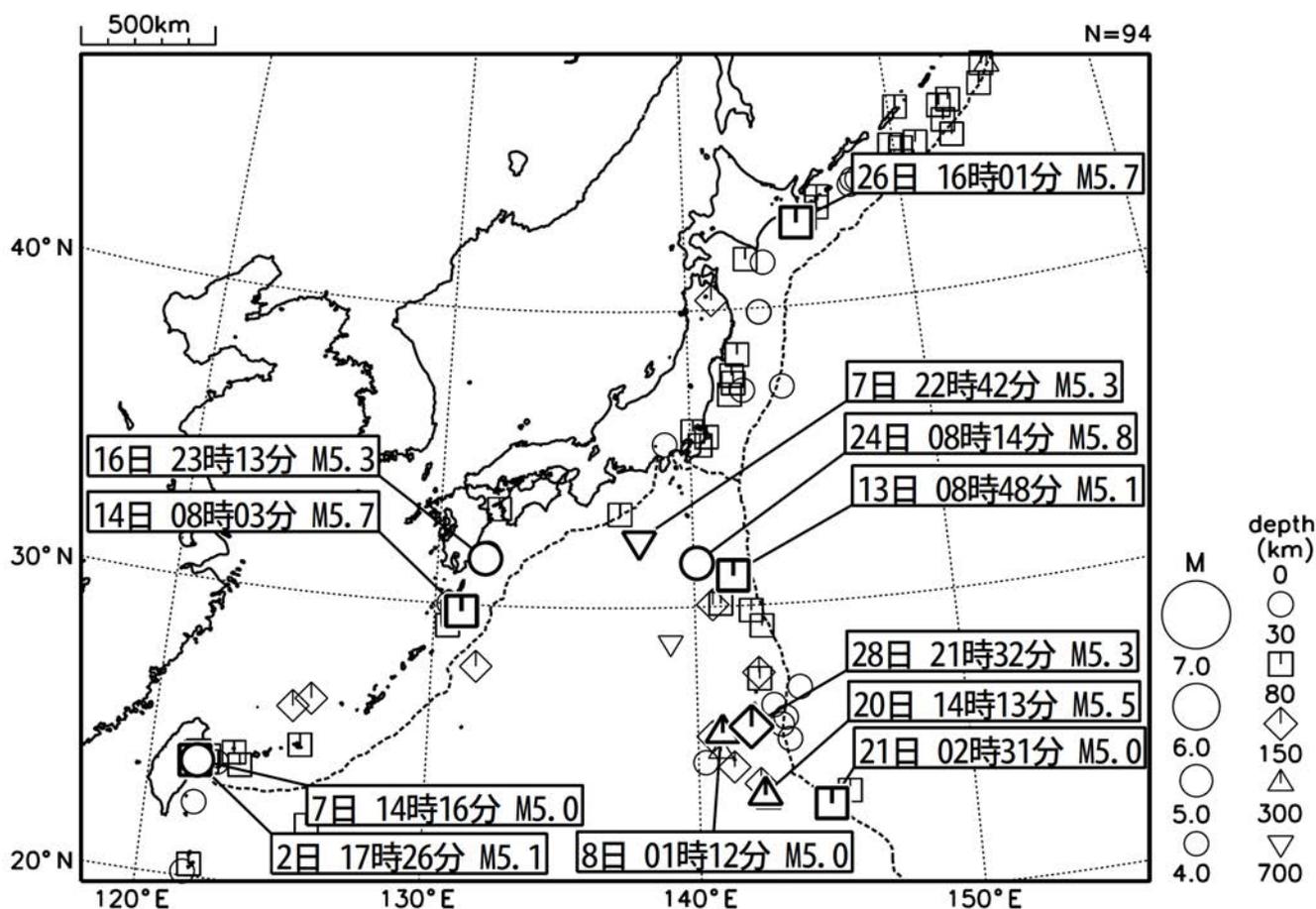


図1 令和6年9月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。なお、2024年9月24日08時14分の鳥島近海の地震（M5.8）は震源決定精度がやや劣るものである。）

24日08時14分に鳥島近海の深さ10km（CMT解による）でM5.8の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震により、東京都の八丈島八重根^{（注1）}で0.7mなど、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

令和6年（2024年）9月に日本国内で震度4以上を観測した地震は3回（8月は5回）、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は94回（8月は92回）であった（図1）。

9月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。9月中に震度5弱以上を観測した地震はなく、津波を観測した地震は1回であった（8月は震度5弱以上を観測した地震は3回、津波を観測した地震は1回であった）。

（注1）巨大津波計による観測のため、観測単位は0.1m。

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和6年9月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	M _w (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	9 14 8 3	種子島南東沖	5.7	5.8	・ ・ ・ ・	3：鹿児島県 錦江町田代支所* 肝付町新富* など1県8地点	20
2	9 16 23 13	日向灘	5.3	5.5	・ ・ ・ ・	3：宮崎県 宮崎市松橋* 日南市油津 など2県6地点	21～23
3	9 20 21 22	豊後水道	4.7	4.6	・ ・ S ・	4：愛媛県 宇和島市丸穂* 宇和島市三間町* 八幡浜市五反田*	4、18
4	9 24 8 14	鳥島近海	5.8	5.7	・ ・ ・ T	震度1以上を観測した地点はなし 津波注意報を伊豆諸島及び小笠原諸島に発表 津波観測：八丈島八重根（注7）で0.7m（注8） など、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にか けての太平洋沿岸で津波を観測	59～64
5	9 24 22 9	留萌地方中北部	3.7	-	・ ・ S ・	4：北海道 天塩町川口*	4、6
6	9 26 16 1	釧路沖	5.7	5.5	・ ・ S ・	4：北海道 弟子屈町弟子屈* 釧路市黒金町* など1道11地点	4、7
7		「令和6年能登半島 地震」の地震活動			・ ・ ・ ・	「令和6年能登半島地震」の地震活動 9月中に震度1以上を観測した地震が18回 (震度2：4回、震度1：14回)	11～16

(注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸 M4.5以上かつ震度3、④海域 M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。

(注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

(注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。

(注4) M_w欄の「-」はM_wが求められていないことを示す。

(注5) M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

(注6) 最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

(注7) 巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m。

(注8) 津波の観測値は後日の調査で変更する場合がある。

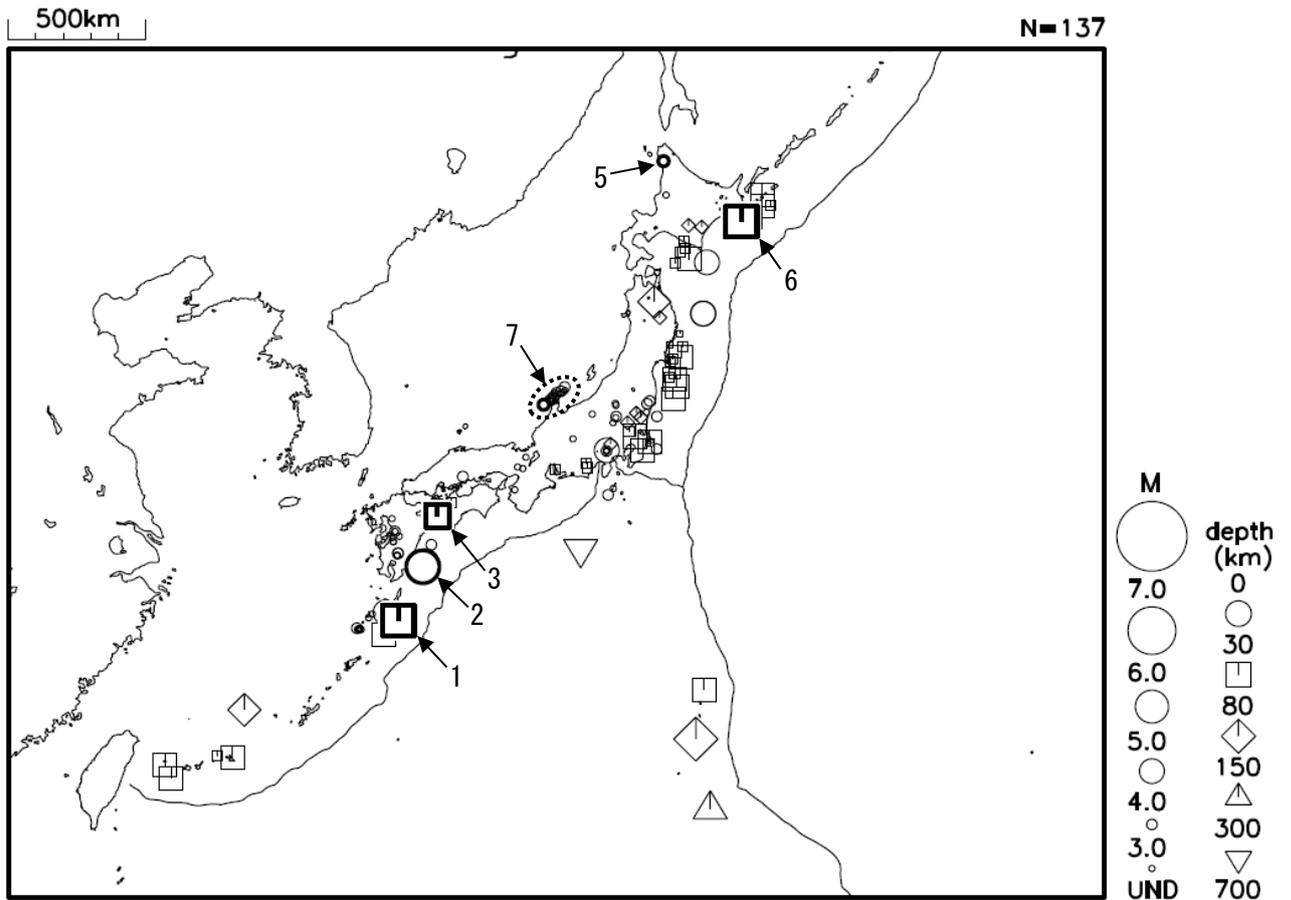


図2 令和6年9月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

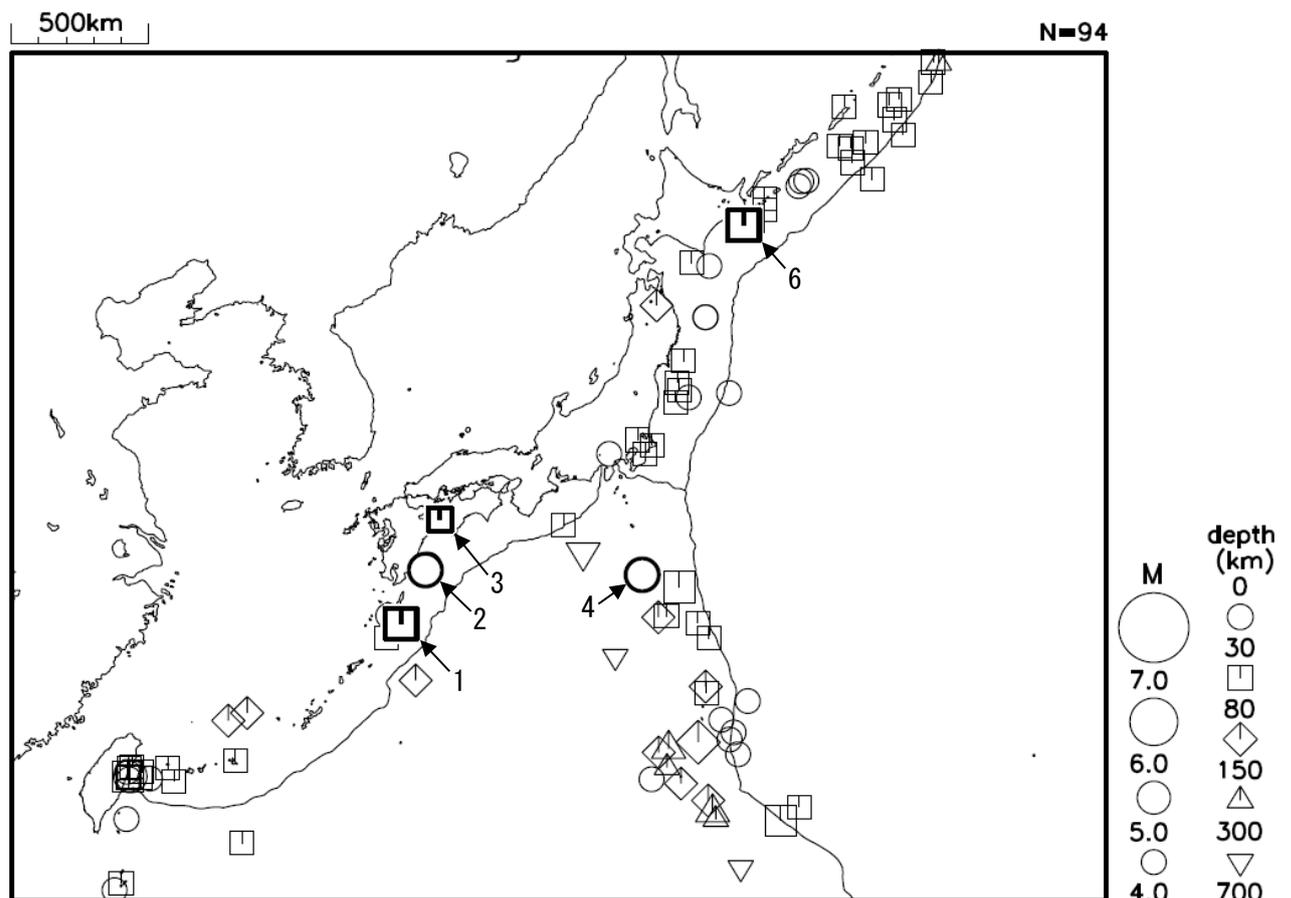
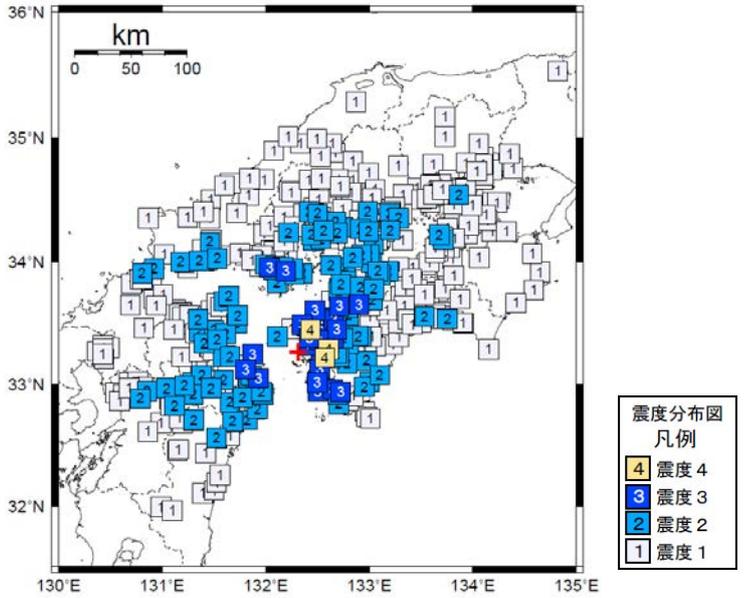


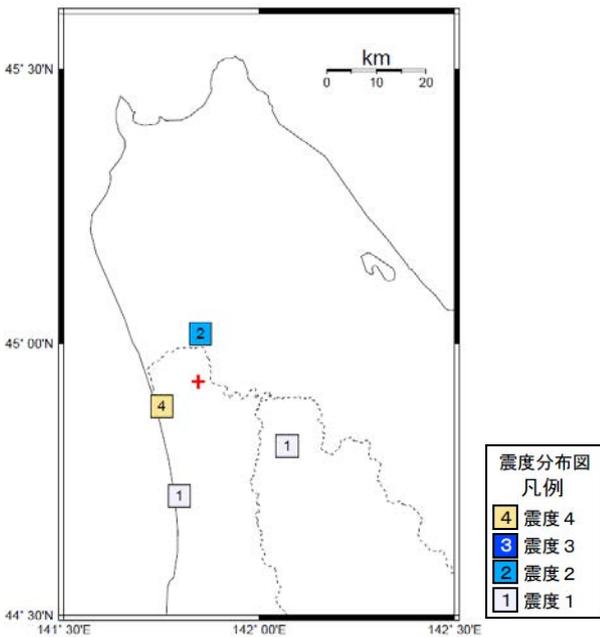
図3 令和6年9月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

※9月24日の鳥島近海の地震（M5.8、番号4）は震源決定精度がやや劣るものである。

3 9月20日21時22分 豊後水道
(M4.7、深さ41km、最大震度4)



5 9月24日22時09分 留萌地方中北部
(M3.7、深さ14km、最大震度4)



6 9月26日16時01分 釧路沖
(M5.7、深さ59km、最大震度4)

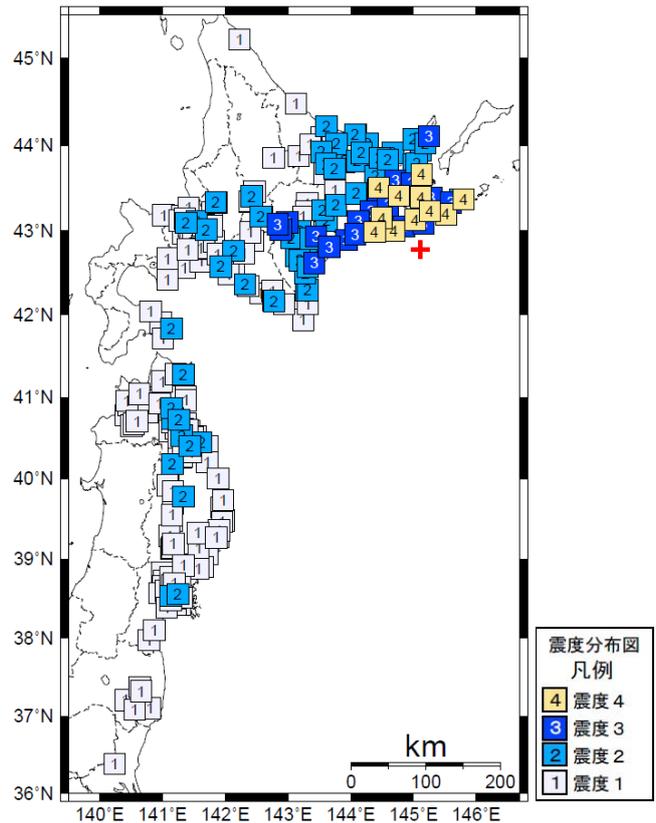


図4 震度分布図

(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。赤の+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

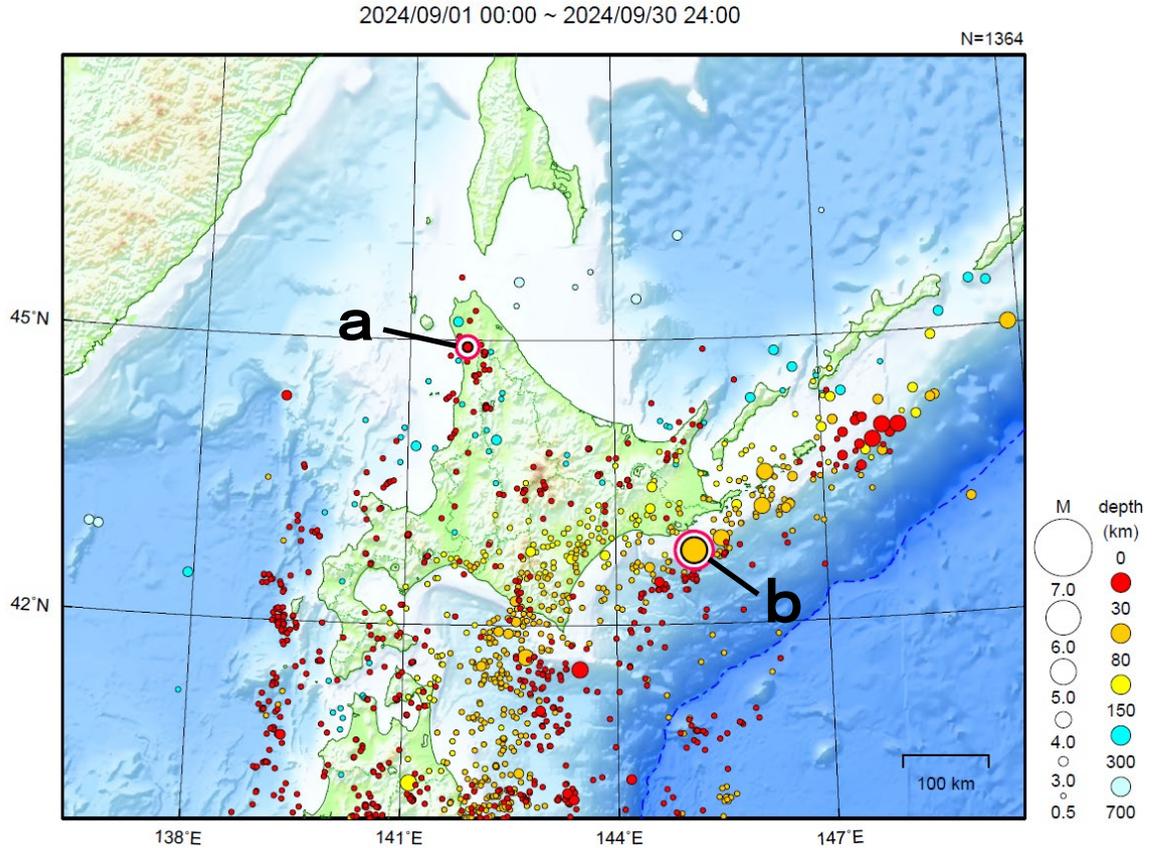


図5 北海道地方の震央分布図（2024年9月1日～9月30日、M \geq 0.5）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

〔概況〕

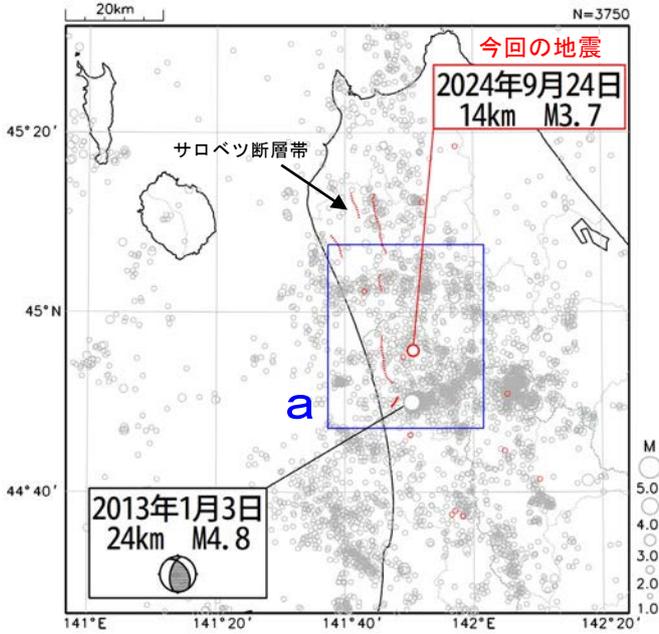
9月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は16回（8月は15回）であった。

9月中の主な活動は次のとおりである。

- a 24日22時09分に留萌地方中北部の深さ14kmでM3.7の地震が発生し、北海道天塩町で震度4を観測したほか、北海道北部で震度2～1を観測した（p.4、6参照）。
- b 26日16時01分に釧路沖の深さ59kmでM5.7の地震が発生し、北海道釧路地方及び根室地方で震度4を観測したほか、北海道から茨城県にかけて震度3～1を観測した（p.4、7参照）。

9月24日 留萌地方中北部の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2024年9月30日、
深さ0～40km、 $M \geq 1.0$)
2024年9月の地震を赤色で表示

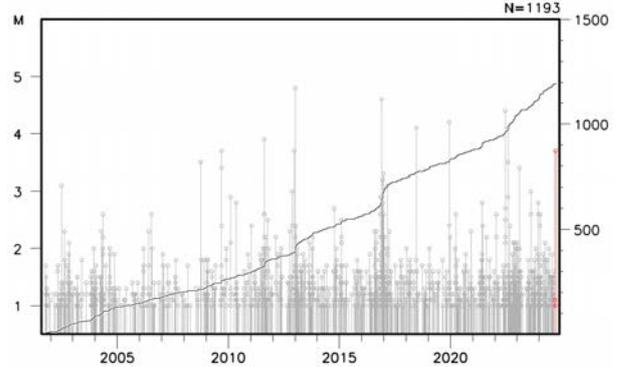


2024年9月24日22時09分に留萌地方中北部の深さ14kmでM3.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。

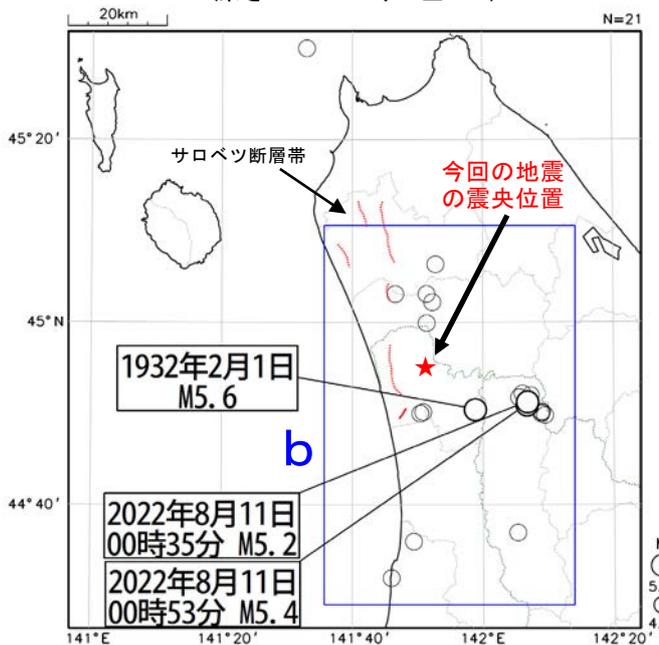
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2013年1月3日にM4.8（最大震度3）の地震が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0を超える地震が3回発生している。2022年8月11日にM5.2の地震（最大震度5弱）とM5.4の地震（最大震度5強）が発生し、住家一部破損2棟の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

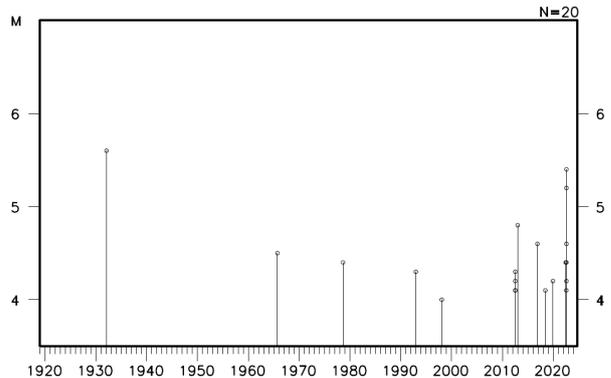
領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2024年9月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)



領域b内のM-T図

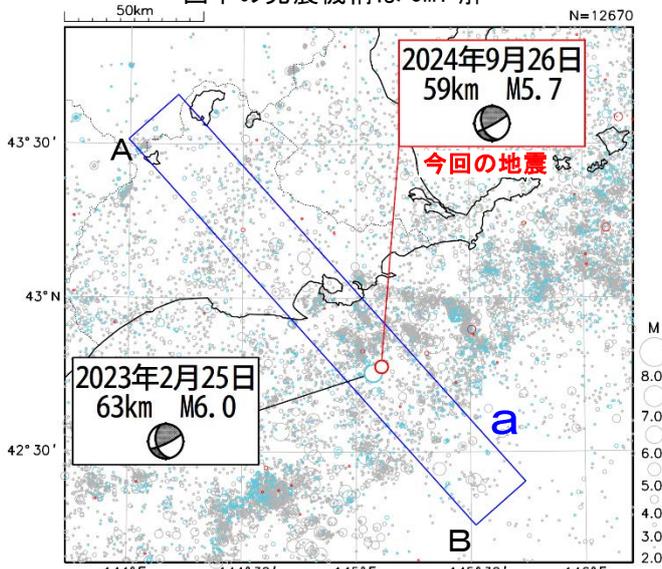


図中の赤色の実線及び破線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

9月26日 釧路沖の地震

震央分布図

(2001年10月1日～2024年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2020年9月以降に発生した地震を**水色**、
2024年9月に発生した地震を**赤色**で表示
図中の発震機構はCMT解

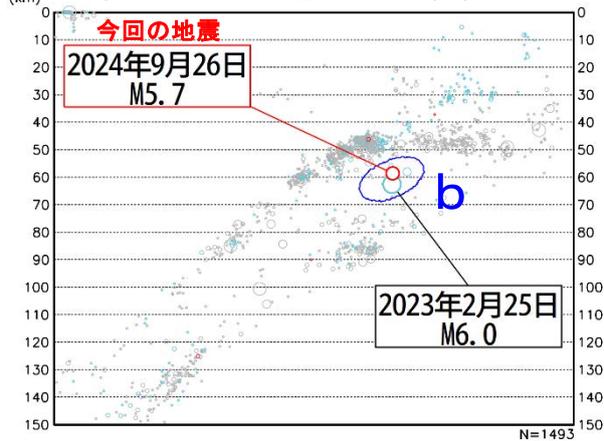


2024年9月26日16時01分に釧路沖の深さ59kmで $M 5.7$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

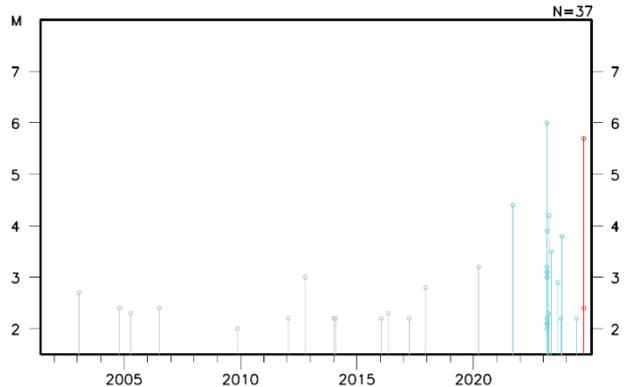
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2023年2月25日に $M 6.0$ の地震（最大震度5弱）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、 $M 7.0$ 以上の地震が3回発生している。最大規模の地震は「1973年6月17日根室半島沖地震」（ $M 7.4$ 、最大震度5）で、根室市花咲で280cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、負傷者28人、住家被害5,153棟などの被害が生じた。（「昭和48・49年災害記録 北海道」による）。

A 領域a内の断面図（A－B投影）

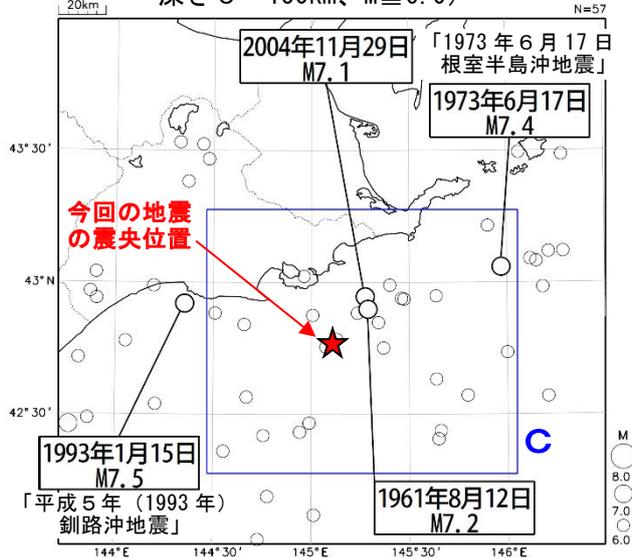


領域b内のM－T図

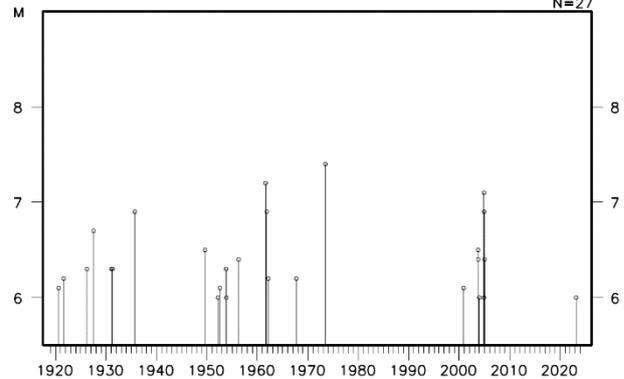


震央分布図

(1919年1月1日～2024年9月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)



領域c内のM－T図



○東北地方の地震活動

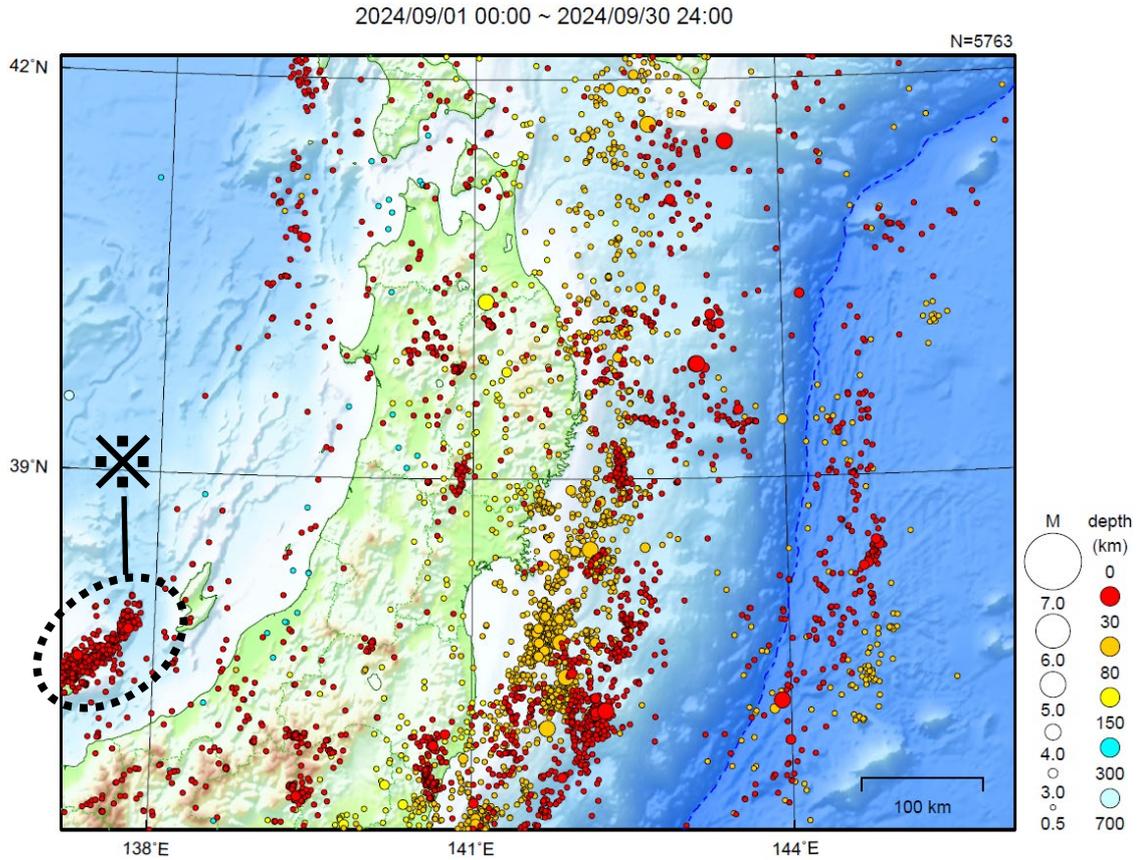


図6 東北地方の震央分布図（2024年9月1日～9月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

9月に東北地方で震度1以上を観測した地震は28回（8月は29回）であった。

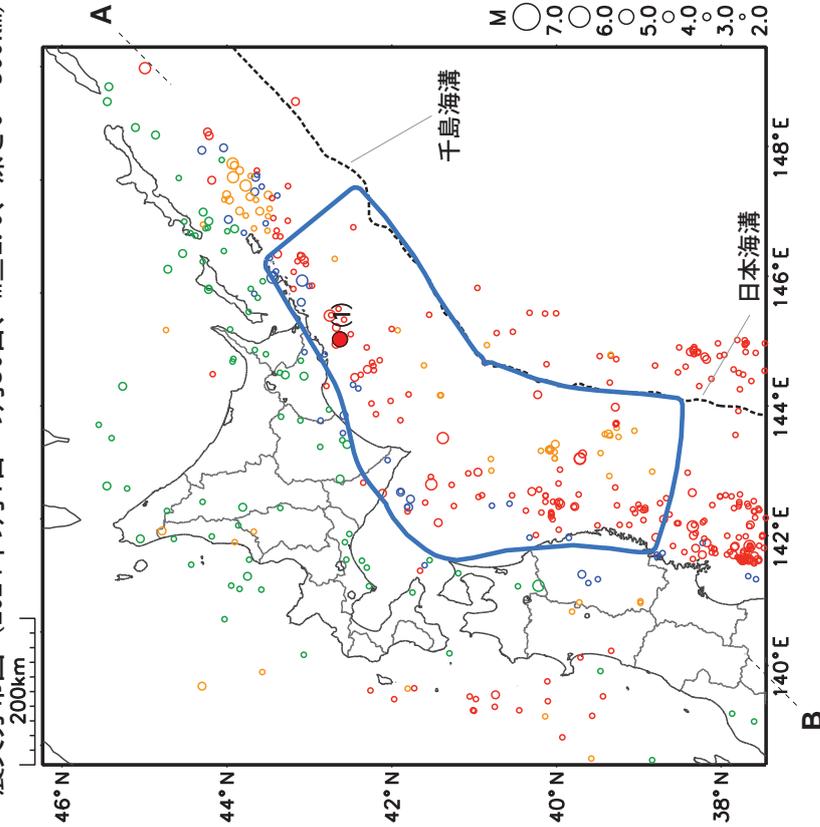
9月中、特に目立った活動はなかった。

※ 関東・中部地方の地震活動を参照（p.10～16参照）。

最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動

2024年9月1日～9月30日

震央分布図（2024年9月1日～9月30日、M \geq 2.0、深さ0～500km）

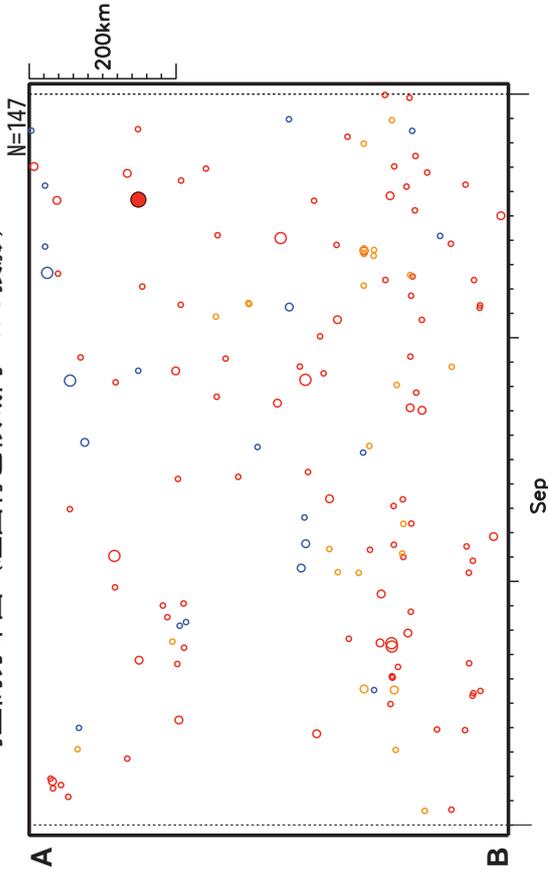


青の実線は日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「日高・三陸沖」及び「十勝・根室沖」の領域です。震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

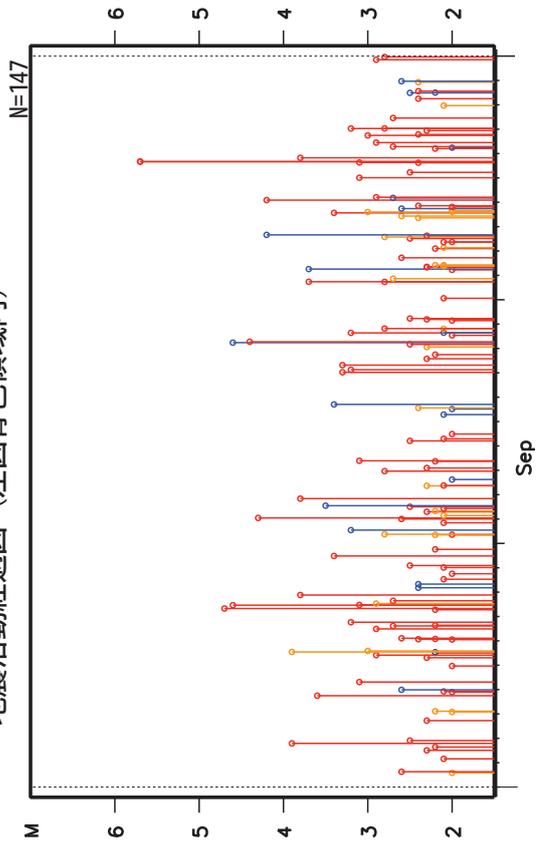
[主な地震活動]

- ・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震（最大5.7）
- ・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載
- (1) 09月26日 16時01分 M5.7 最大震度4 釧路沖

時空間分布図（左図青色領域内：A-B投影）



地震活動経過図（左図青色領域内）



○関東・中部地方の地震活動

2024/09/01 00:00 ~ 2024/09/30 24:00

N=7269

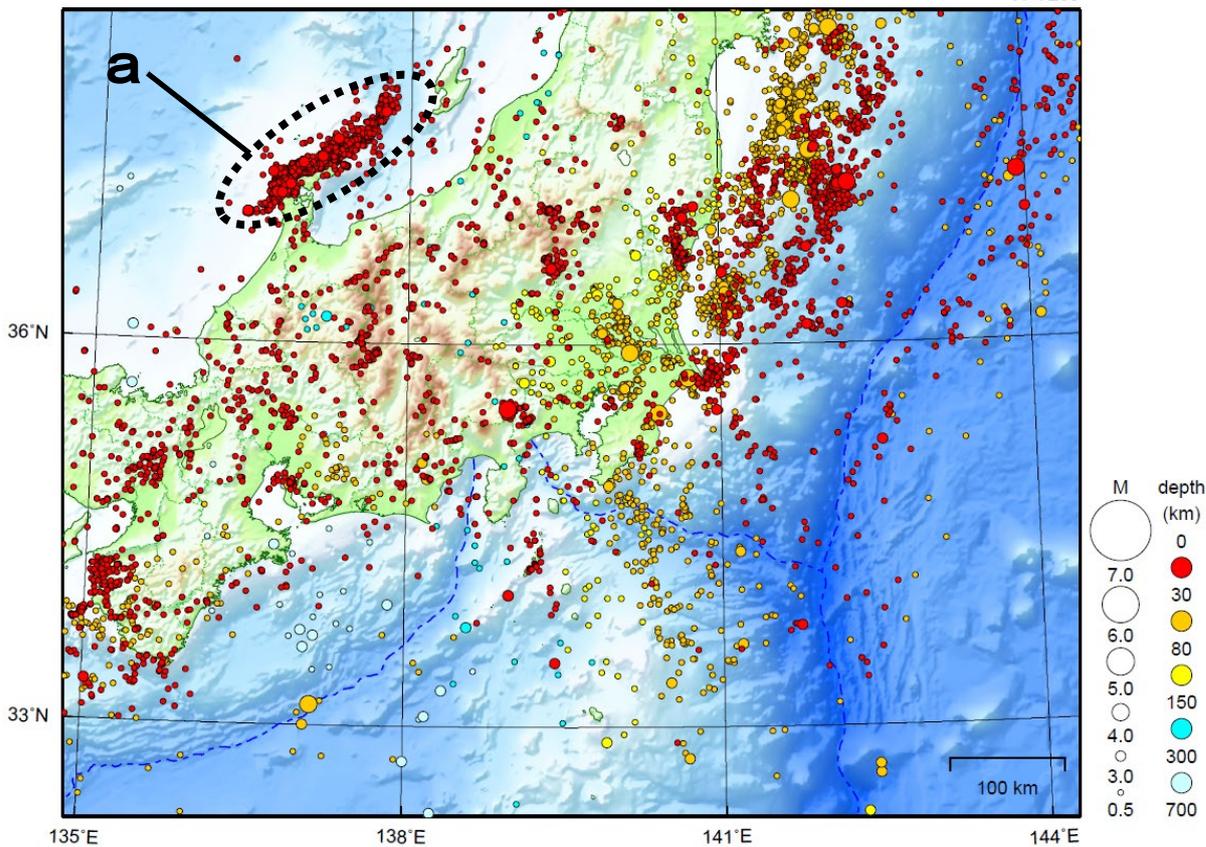


図7 関東・中部地方の震央分布図（2024年9月1日～9月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

【概況】

9月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は52回（8月は59回）であった。

9月中の主な活動（他地方で発生し、この地方で津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

- a 「令和6年能登半島地震」の地震活動域では、9月中に震度1以上を観測した地震が18回（震度2：4回、震度1：14回）発生した。このうち最大規模の地震は、29日00時53分に石川県西方沖の深さ9kmで発生したM3.7の地震で、石川県羽咋市で震度1を観測した（p.11～16参照）。

津波を観測した。

（注1）巨大津波計による観測のため、観測単位は0.1m。

（注2）海上保安庁の観測施設。

（図の範囲外）

24日08時14分に鳥島近海の深さ10km（CMT解による）でM5.8の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震により、東京都の八丈島八重根^{（注1）}で0.7mなど、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（p.25、59～64参照）。

関東・中部地方では、八丈島八重根で0.7mの津波を観測したほか、東京都の神津島神津島港^{（注2）}で20cmなど、伊豆諸島、千葉県及び静岡県で

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2024年9月30日、
深さ0～30km、 $M \geq 3.0$)

震源のプロット

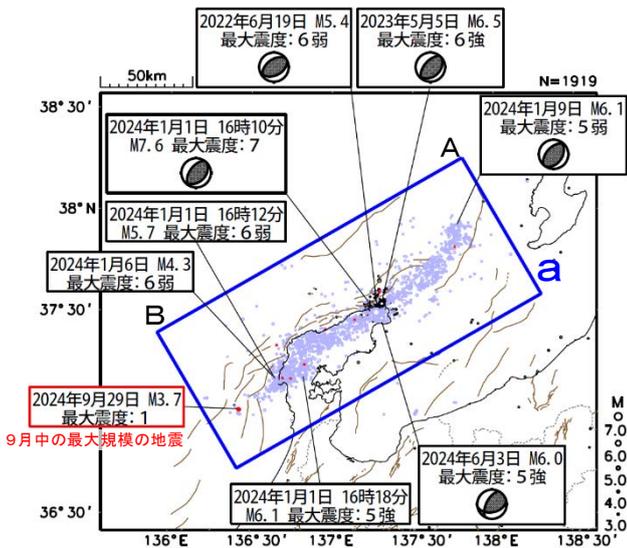
黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～8月31日

赤色 2024年9月1日～30日

吹き出しは最大震度6弱以上の地震、 $M6.0$ 以上の地震
及び9月中の最大規模の地震

図中の発震機構はCMT解



図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す。

能登半島では2020年12月から地震活動が活発になっており、2023年5月5日には $M6.5$ の地震 (最大震度6強) が発生していた。2023年12月までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方の範囲であった。

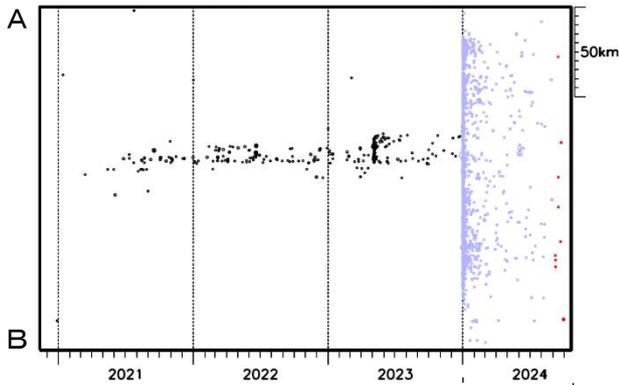
2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmで $M7.6$ (最大震度7) の地震が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東-南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。

2024年9月中の最大規模の地震は、29日00時53分に石川県西方沖の深さ9kmで発生した $M3.7$ の地震 (最大震度1) である。

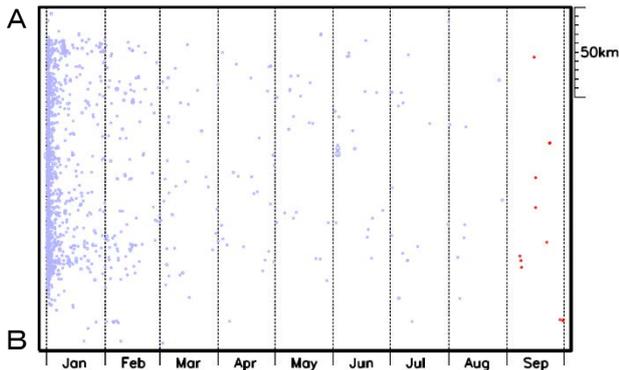
地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少してきているが、9月中に震度1以上を観測した地震が18回発生するなど活発な状態が続いている。

領域a内の時空間分布図

(A-B投影、2020年12月以降)

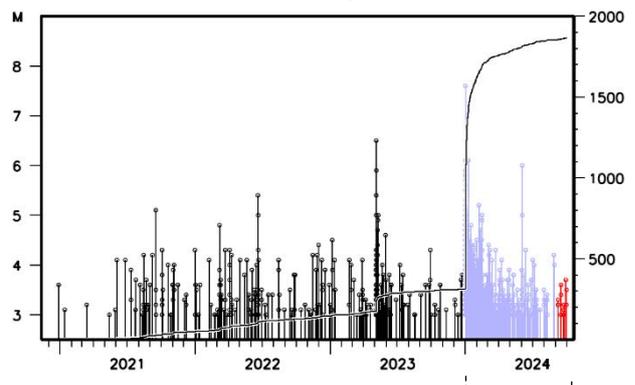


(2024年1月以降)

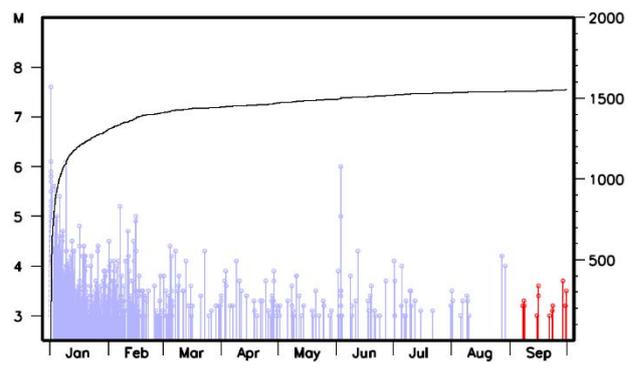


領域a内のM-T図及び回数積算図

(2020年12月以降)



(2024年1月以降)



令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

令和6年9月30日24時現在

「令和6年能登半島地震」の最大震度別地震回数表

（注）掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合がある。

【令和6年1月1日以降の日別発生回数】

日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
1/1	131	134	66	19	4	4	1	0	0	1	360	360	
1/2	266	98	37	8	1	1	0	0	0	0	411	771	
1/3	116	39	16	4	0	2	0	0	0	0	177	948	
1/4	60	17	5	3	0	0	0	0	0	0	85	1033	
1/5	57	19	9	1	0	0	0	0	0	0	86	1119	
1/6	37	13	3	1	0	1	1	0	0	0	56	1175	
1/7	19	11	3	3	0	0	0	0	0	0	36	1211	
1/8	19	11	1	0	0	0	0	0	0	0	31	1242	
1/9	25	4	2	0	1	0	0	0	0	0	32	1274	
1/10	30	3	2	0	0	0	0	0	0	0	35	1309	
1/11	13	5	2	0	0	0	0	0	0	0	20	1329	
1/12	21	2	2	1	0	0	0	0	0	0	26	1355	
1/13	14	3	0	1	0	0	0	0	0	0	18	1373	
1/14	15	4	1	0	0	0	0	0	0	0	20	1393	
1/15	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1405	
1/16	13	5	1	1	1	0	0	0	0	0	21	1426	
1/17	9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	11	1437	
1/18	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1448	
1/19	12	3	2	2	0	0	0	0	0	0	19	1467	
1/20	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9	1476	
1/21	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1482	
1/22	8	2	1	0	0	0	0	0	0	0	11	1493	
1/23	5	1	2	0	0	0	0	0	0	0	8	1501	
1/24	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1505	
1/25	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1511	
1/26	8	0	1	1	0	0	0	0	0	0	10	1521	
1/27	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1528	
1/28	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1534	
1/29	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1542	
1/30	7	2	1	0	0	0	0	0	0	0	10	1552	
1/31	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1558	
2/1	9	2	2	0	0	0	0	0	0	0	13	1571	
2/2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1576	
2/3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1582	
2/4	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1588	
2/5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1593	
2/6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1595	
2/7	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	1603	
2/8	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1609	
2/9	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1614	
2/10	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1621	
2/11	1	4	0	1	0	0	0	0	0	0	6	1627	
2/12	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1633	
2/13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1634	
2/14	6	1	0	1	0	0	0	0	0	0	8	1642	
2/15	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	7	1649	
2/16	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1654	
2/17	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1658	
2/18	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1664	
2/19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1667	
2/20	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1671	
2/21	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1675	
2/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1676	
2/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1676	
2/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1676	
2/25	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1680	
2/26	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1683	
2/27	8	0	2	0	0	0	0	0	0	0	10	1693	
2/28	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1699	
2/29	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1702	
3/1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1704	
3/2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1706	
3/3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1711	
3/4	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1716	
3/5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1720	
3/6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1722	
3/7	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1726	
3/8	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1728	
3/9	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1731	
3/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1731	

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

3/11	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1734
3/12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1735
3/13	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1737
3/14	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1743
3/15	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1745
3/16	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1748
3/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1748
3/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1749
3/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1751
3/20	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1752
3/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1752
3/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1753
3/23	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1756
3/24	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1759
3/25	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1762
3/26	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1764
3/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1765
3/28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1766
3/29	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1768
3/30	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1770
3/31	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1772
4/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1772
4/2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1775
4/3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1776
4/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1776
4/5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1777
4/6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1778
4/7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1780
4/8	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1781
4/9	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1787
4/10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1789
4/11	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1792
4/12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1793
4/13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1795
4/14	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1796
4/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1796
4/16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1797
4/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1797
4/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1798
4/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1800
4/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1800
4/21	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1804
4/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1805
4/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1805
4/24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1806
4/25	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1808
4/26	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1810
4/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1811
4/28	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1813
4/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1813
4/30	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1817
5/1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1820
5/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1820
5/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1821
5/4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1822
5/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1822
5/6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1823
5/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1823
5/8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1824
5/9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1825
5/10	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1828
5/11	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1829
5/12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1830
5/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1830
5/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1830
5/15	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1832
5/16	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1834
5/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1834
5/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1835
5/19	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1837
5/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1837
5/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1837
5/22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1838
5/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1838
5/24	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1839
5/25	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1840
5/26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1841
5/27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1842
5/28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1843
5/29	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1845
5/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845
5/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845

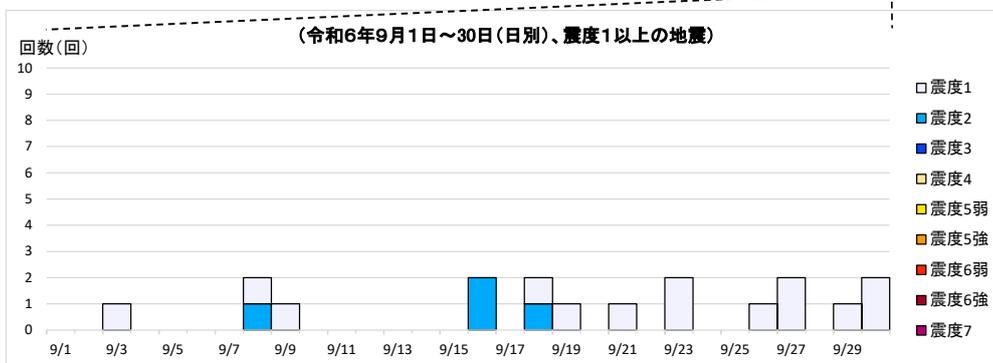
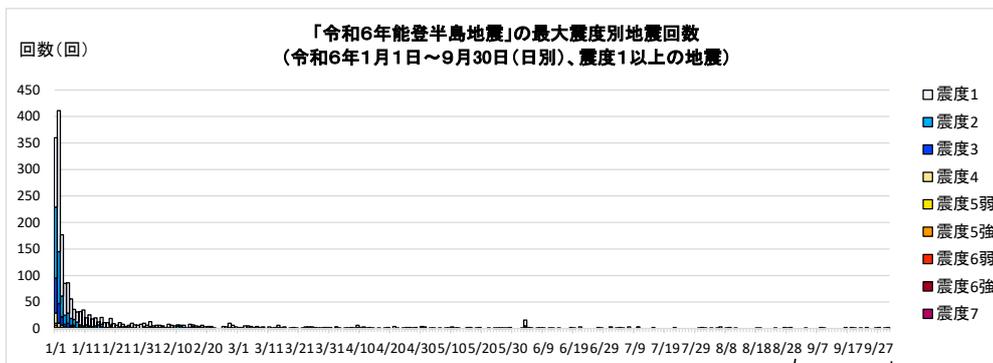
令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

6/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1845
6/2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1846
6/3	11	3	0	1	0	1	0	0	0	0	16	1862
6/4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1864
6/5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1865
6/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1865
6/7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1866
6/8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1867
6/9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1868
6/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1868
6/11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1869
6/12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1870
6/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1870
6/14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1871
6/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1871
6/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1871
6/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1871
6/18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1873
6/19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1874
6/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1874
6/21	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1877
6/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1877
6/27	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1879
6/28	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1880
6/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1880
6/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1880
7/1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1883
7/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1883
7/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1884
7/4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1886
7/5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1887
7/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1887
7/7	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1890
7/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1890
7/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1890
7/10	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1893
7/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1893
7/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1893
7/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1893
7/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1893
7/15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1895
7/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1895
7/22	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1897
7/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1897
7/30	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1898
7/31	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1900
8/1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1901
8/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1901
8/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1902
8/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1902
8/5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1903
8/6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1906
8/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1906
8/8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1907
8/9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1909
8/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1909
8/11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1910
8/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1910
8/18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1911
8/19	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1912
8/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1912

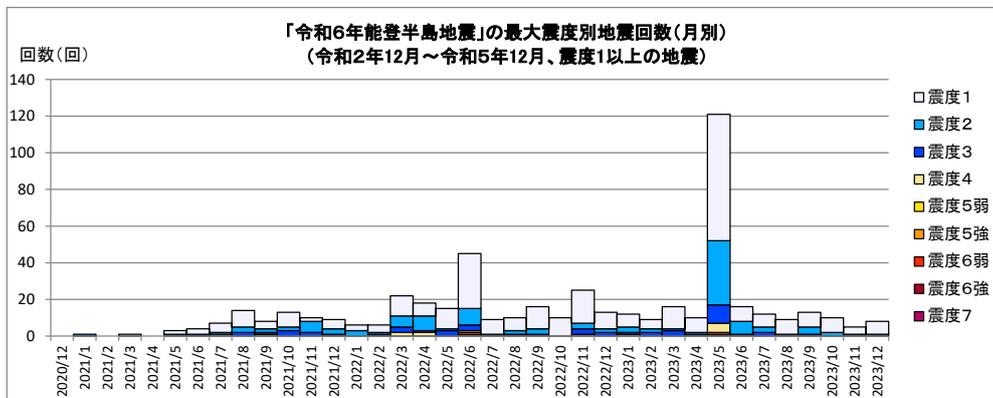
令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

8/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1912
8/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1912
8/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1912
8/24	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1913
8/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1913
8/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1913
8/27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1915
8/28	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1916
8/29	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1918
8/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1918
8/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1918
9/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1918
9/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1918
9/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1919
9/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1919
9/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1919
9/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1919
9/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1919
9/8	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1921
9/9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1922
9/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1922
9/16	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1924
9/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1924
9/18	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1926
9/19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1927
9/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1927
9/21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1928
9/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1928
9/23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1930
9/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1930
9/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1930
9/26	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1931
9/27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1933
9/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1933
9/29	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1934
9/30	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1936
総計(1月1日～9月30日)	1207	477	184	49	7	9	2	0	1			1936

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）



【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	0	195	265	
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	0	241	506	2023/6/1～ 12/31の震度1 以上を観測した 回数 合計73回 月平均10.4回 月中央値10.0回
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	0	506	506	

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064		
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208		
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278		
2024/4/1 - 30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323		
2024/5/1 - 31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351		
2024/6/1 - 30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386		
2024/7/1 - 31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406		
2024/8/1 - 31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424		
2024/9/1 - 30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442		
総計(2020/12/1～2024/9/30)	1527	596	233	62	8	11	3	1	1	2442			

※2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。

○近畿・中国・四国地方の地震活動

2024/09/01 00:00 ~ 2024/09/30 24:00

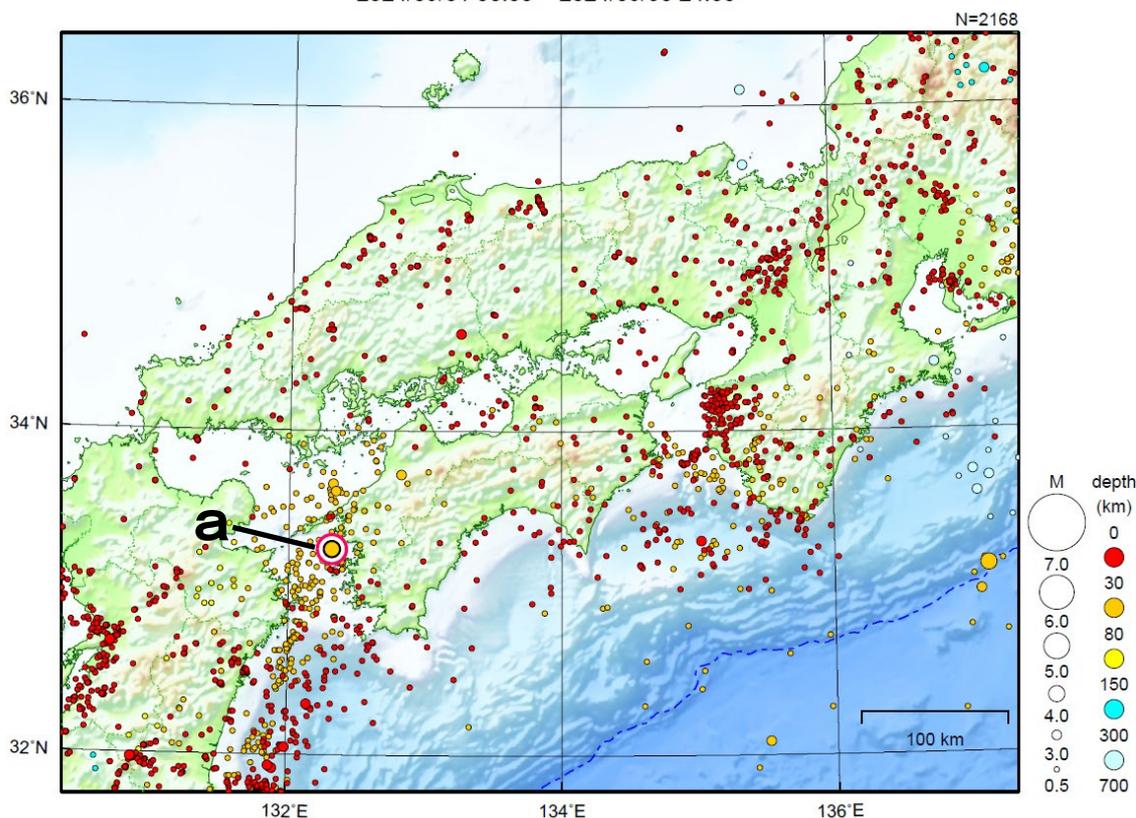


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2024年9月1日～9月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

【概況】

9月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は15回（8月は10回）であった。

9月中の主な活動（他地方で発生し、この地方で津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

- a 20日21時22分に豊後水道の深さ41kmでM4.7の地震が発生し、愛媛県宇和島市及び八幡浜市で震度4を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度3～1を観測した（p.4、18参照）。

（図の範囲外）

24日08時14分に鳥島近海の深さ10km（CMT解による）でM5.8の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震により、東京都の八丈島八重根^{（注1）}で0.7mなど、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（p.25、59～64参照）。

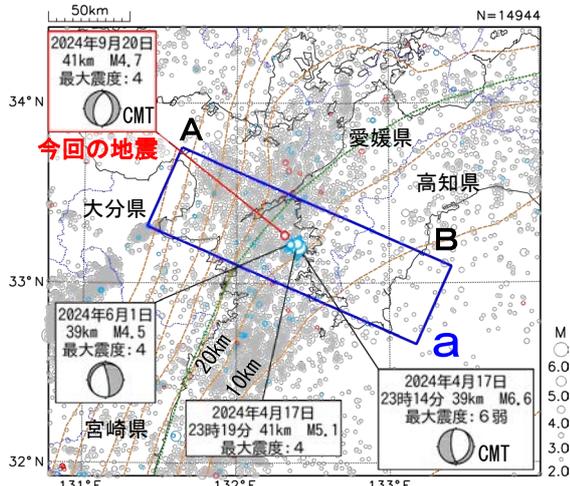
近畿・中国・四国地方では、この地震により高知県の土佐清水で8cm、室戸市室戸岬で4cmの津波を観測した。

（注1）巨大津波計による観測のため、観測単位は0.1m。

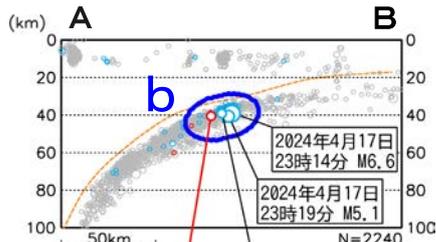
9月20日 豊後水道の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2024年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2024年4月17日～8月31日の地震を水色で表示
2024年9月の地震を赤色で表示
それ以外の期間の地震を灰色で表示



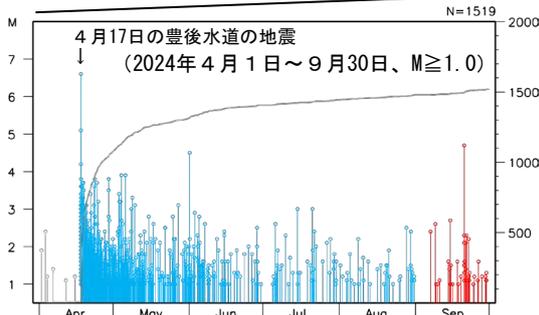
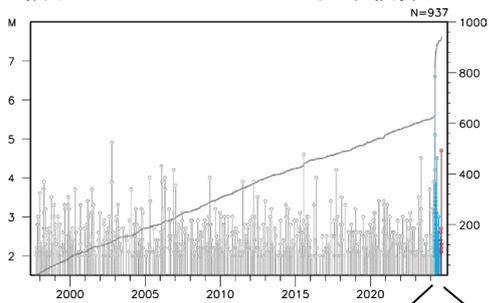
領域a内の断面図 (A-B投影)



今回の地震

オレンジ色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007) によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。
緑色の破線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

領域b内のM-T図及び回数積算図



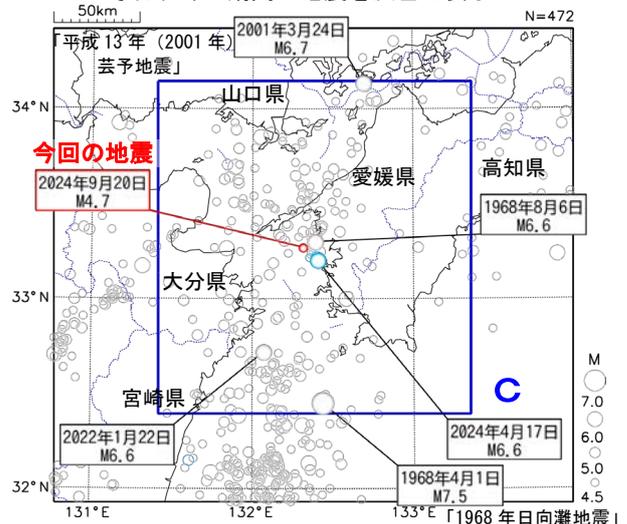
2024年9月20日21時22分に豊後水道の深さ41kmで $M 4.7$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は東西方向に張力軸を持つ正断層型である。今回の地震の震源付近では、2024年4月17日の $M 6.6$ の地震 (最大震度6弱) の発生以降、地震活動が活発となった。その後、地震活動は次第に減衰してきているものの継続している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 4.0$ 以上の地震が時々発生している。

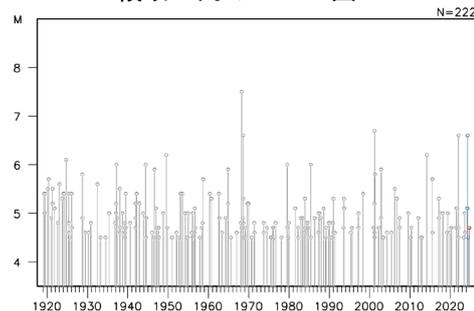
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。1968年8月6日に発生した $M 6.6$ の地震 (最大震度5) では、愛媛県を中心に負傷者22人、宇和島では重油タンクのパイプ破損により、重油170klが海上に流出するなどの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。また、「平成13年 (2001年) 芸予地震」では、死者2人、負傷者288人、住家全壊70棟などの被害が生じた (被害は総務省消防庁による)。

震央分布図

(1919年1月1日～2024年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)
2024年4月17日～8月31日の地震を水色で表示
2024年9月の地震を赤色で表示
それ以外の期間の地震を灰色で表示



領域c内のM-T図



○九州地方の地震活動

2024/09/01 00:00 ~ 2024/09/30 24:00

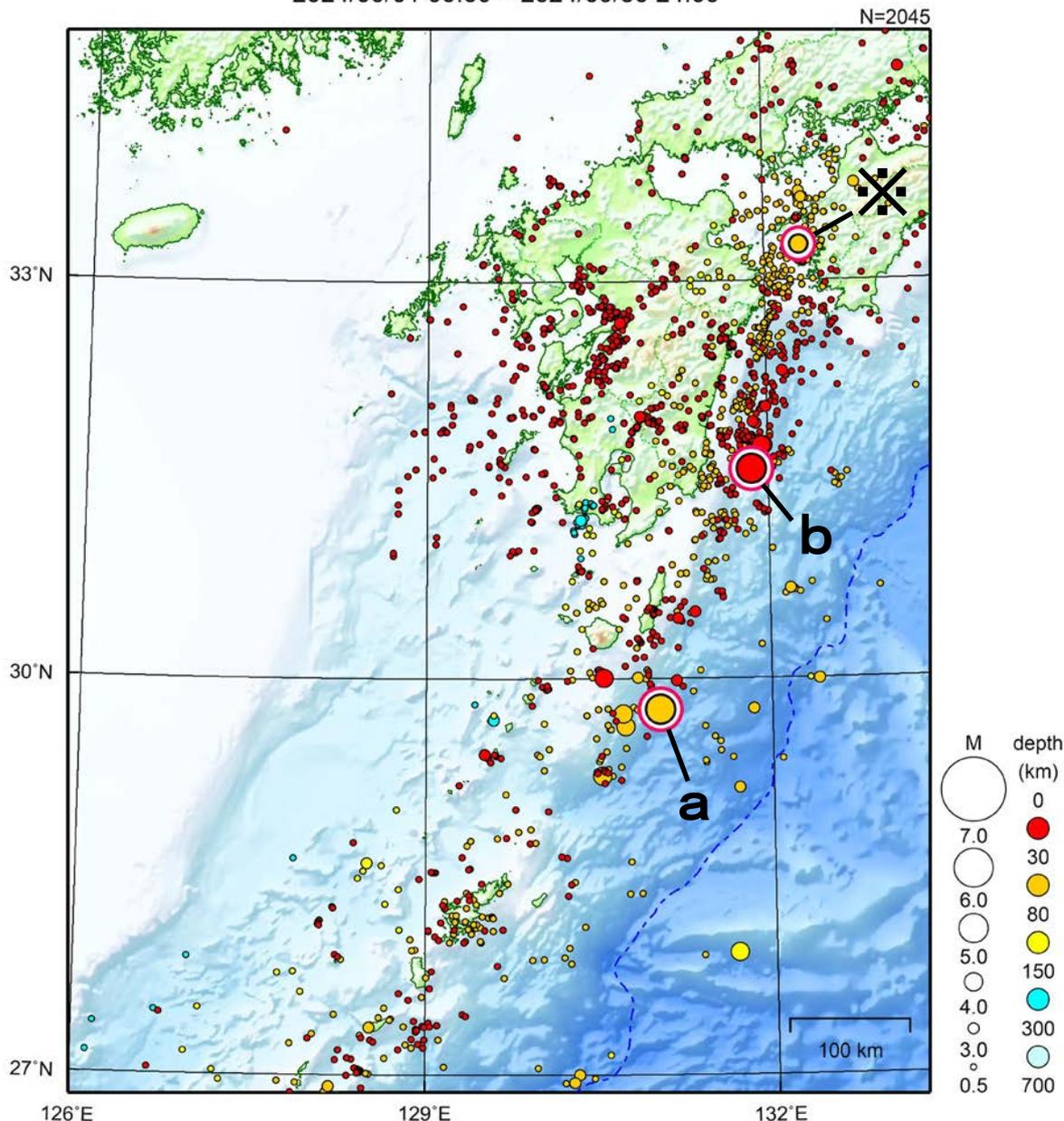


図9 九州地方の震央分布図（2024年9月1日～9月30日、M \geq 0.5）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用
[概況]

9月に九州地方で震度1以上を観測した地震は36回（8月は42回）であった。

9月中の主な活動（他地方で発生し、この地方で津波を観測した地震を含む）は次のとおりである。

- a 14日08時03分に種子島南東沖でM5.7の地震が発生し、鹿児島県で震度3を観測したほか、中国地方、四国地方及び九州地方で震度2～1を観測した（p.20参照）。
- b 16日23時13分に日向灘の深さ22kmでM5.3の地震が発生し、宮崎県及び鹿児島県で震度3を観測したほか、四国地方及び九州地方で震度2～1を観測した（p.21～23参照）。

（図の範囲外）

24日08時14分に鳥島近海の深さ10km（CMT解による）でM5.8の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震により、東京都の八丈島八重根^{（注1）}で0.7mなど、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（p.25、59～64参照）。

九州地方では、鹿児島県の中の島^{（注2）}で13cm、奄美市小湊で5cmの津波を観測した。

※ 近畿・中国・四国地方の地震活動を参照（p.4、17、18参照）。

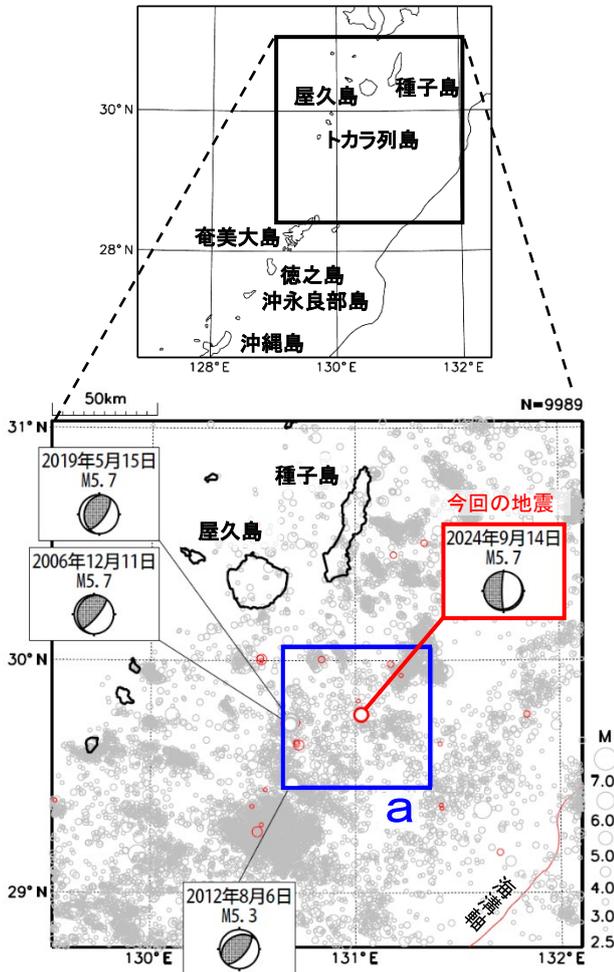
（注1）巨大津波計による観測のため、観測単位は0.1m。

（注2）海上保安庁の観測施設。

9月14日 種子島南東沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2024年9月30日
深さ0～80km、 $M \geq 2.5$)
2024年9月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

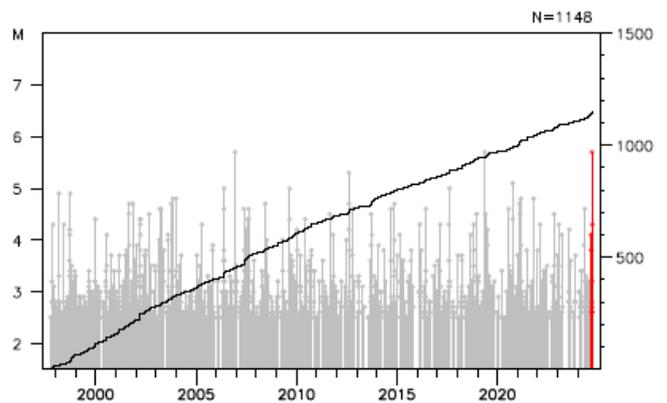


2024年9月14日08時03分に種子島南東沖でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）は日頃から地震活動がみられる領域で、M5.0以上の地震が時々発生している。2019年5月15日にM5.7の地震（最大震度3）が発生した。

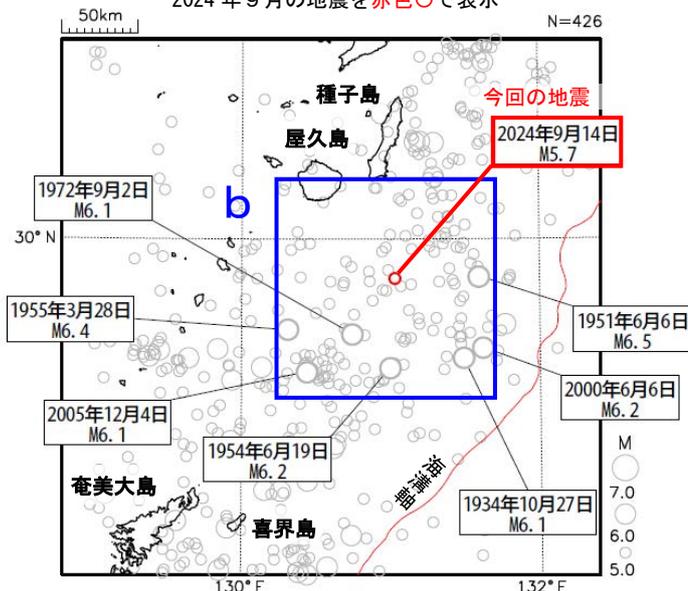
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM6.0以上の地震が7回発生している。1951年6月6日にM6.5の地震（最大震度3）が発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図

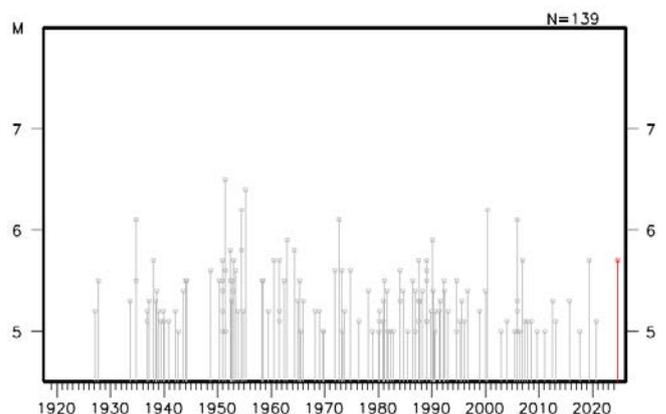


震央分布図

(1919年1月1日～2024年9月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2024年9月の地震を赤色○で表示



領域b内のM-T図



9月16日 日向灘の地震（8月8日からの地震活動）

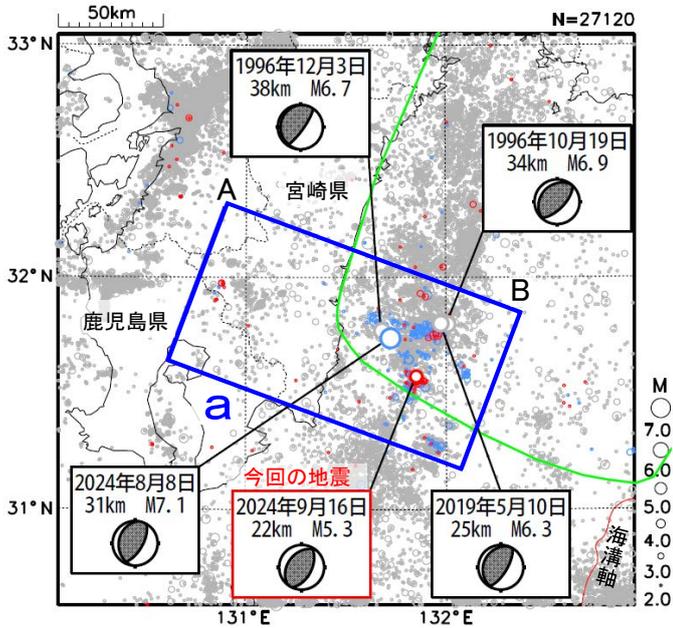
震央分布図

(1994年10月1日～2024年9月30日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2024年8月8日以降の地震を水色○、

2024年9月の地震を赤色○で表示

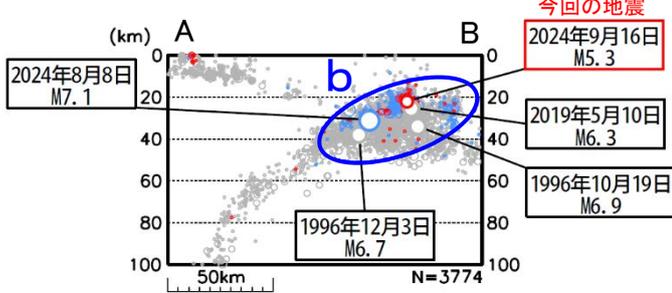
緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す
図中の発震機構は CMT 解



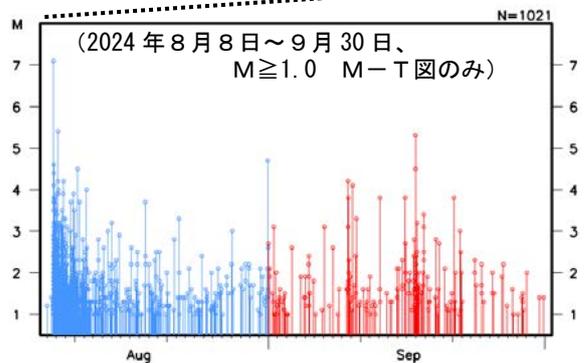
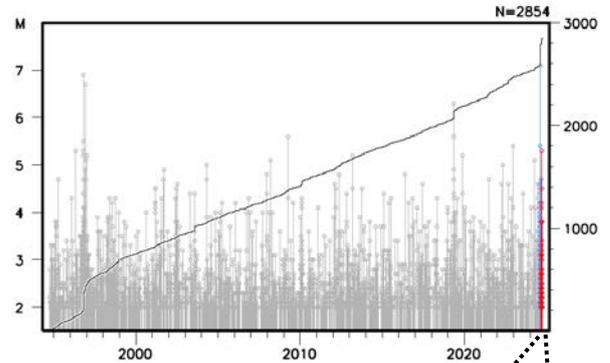
2024年9月16日23時13分に日向灘の深さ22kmでM5.3の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震源付近（領域b）では、2024年8月8日にM7.1の地震（最大震度6弱）が発生した。この領域ではM7.1の地震の発生後、9月30日までにM5.0以上の地震が2回発生している。この領域の地震活動は、時間の経過とともに地震回数は減少してきているが、活動は継続しており、8月8日から9月30日までに震度1以上を観測した地震が32回（震度6弱：1回、震度3：4回、震度2：6回、震度1：21回）発生した。

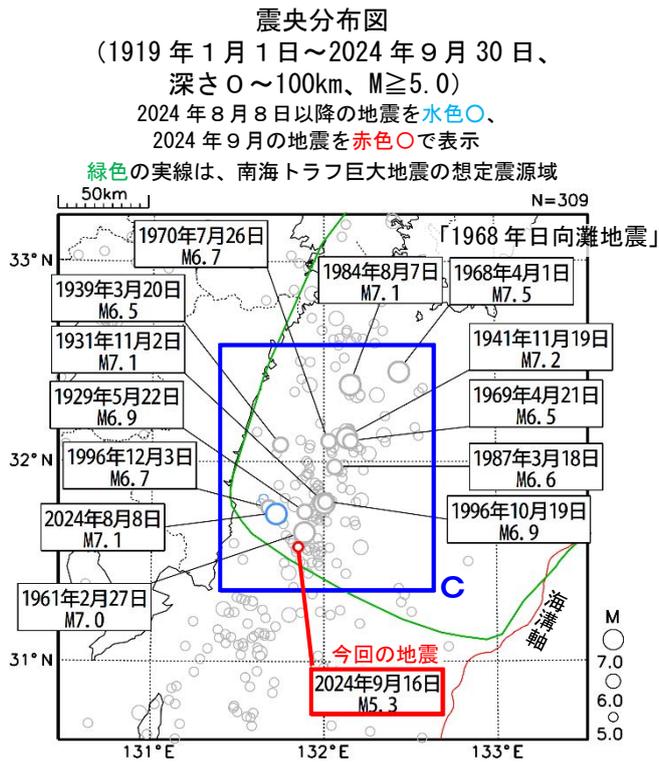
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM6.0以上の地震が4回発生している。1996年10月19日に発生したM6.9の地震（最大震度5弱）では、高知県の室戸市室戸岬及び土佐清水で14cm、宮崎県の日南市油津及び鹿児島県の種子島田之脇で9cmの津波を、同年12月3日に発生したM6.7の地震（最大震度5弱）では宮崎県の日南市油津及び高知県の土佐清水で12cmなどの津波を観測した（平常潮位からの最大の高さ）。

領域a内の断面図（A－B投影）

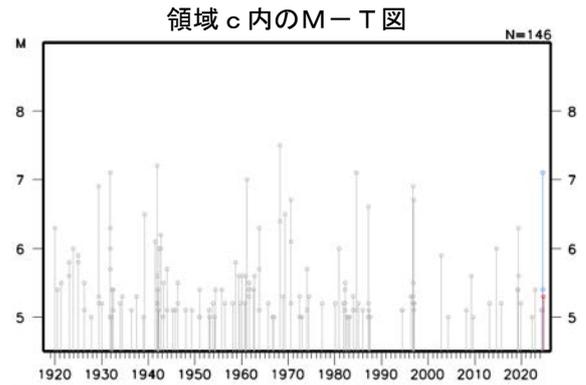


領域b内のM－T図及び回数積算図





1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。1968年4月1日に発生した「1968年日向灘地震」（M7.5、最大震度5）では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。この地震により、大分県の蒲江で240cm（全振幅）の津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。



令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

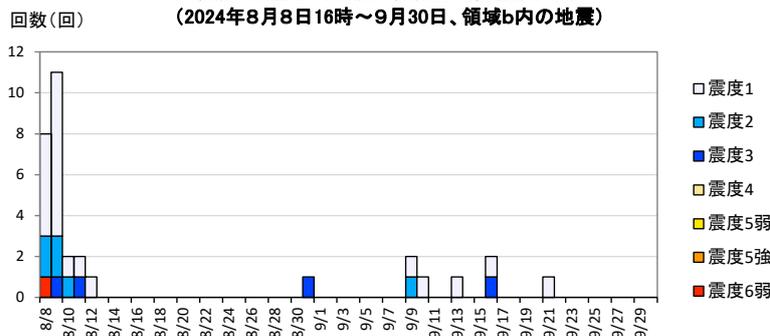
震度1以上の日別最大震度別地震回数表

（2024年8月8日16時～2024年9月30日、領域b内の地震）

（注）以下のデータは速報値である。調査により変更される場合がある。

日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
8/8	5	2	0	0	0	0	1	0	0	8	8		
8/9	8	2	1	0	0	0	0	0	0	11	19		
8/10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	21		
8/11	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	23		
8/12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	24		
8/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
8/31	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	25		
9/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
9/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
9/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
9/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
9/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
9/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
9/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
9/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25		
9/9	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	27		
9/10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	28		
9/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28		
9/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28		
9/13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	29		
9/14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29		
9/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29		
9/16	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	31		
9/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31		
9/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31		
9/19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31		
9/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31		
9/21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	32		
9/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
9/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
9/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
9/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
9/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
9/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
9/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
9/29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
9/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32		
総計(8月8日～)	21	6	4	0	0	0	1	0	0		32		

震度1以上の日別最大震度別地震回数グラフ
（2024年8月8日16時～9月30日、領域b内の地震）



○沖縄地方の地震活動

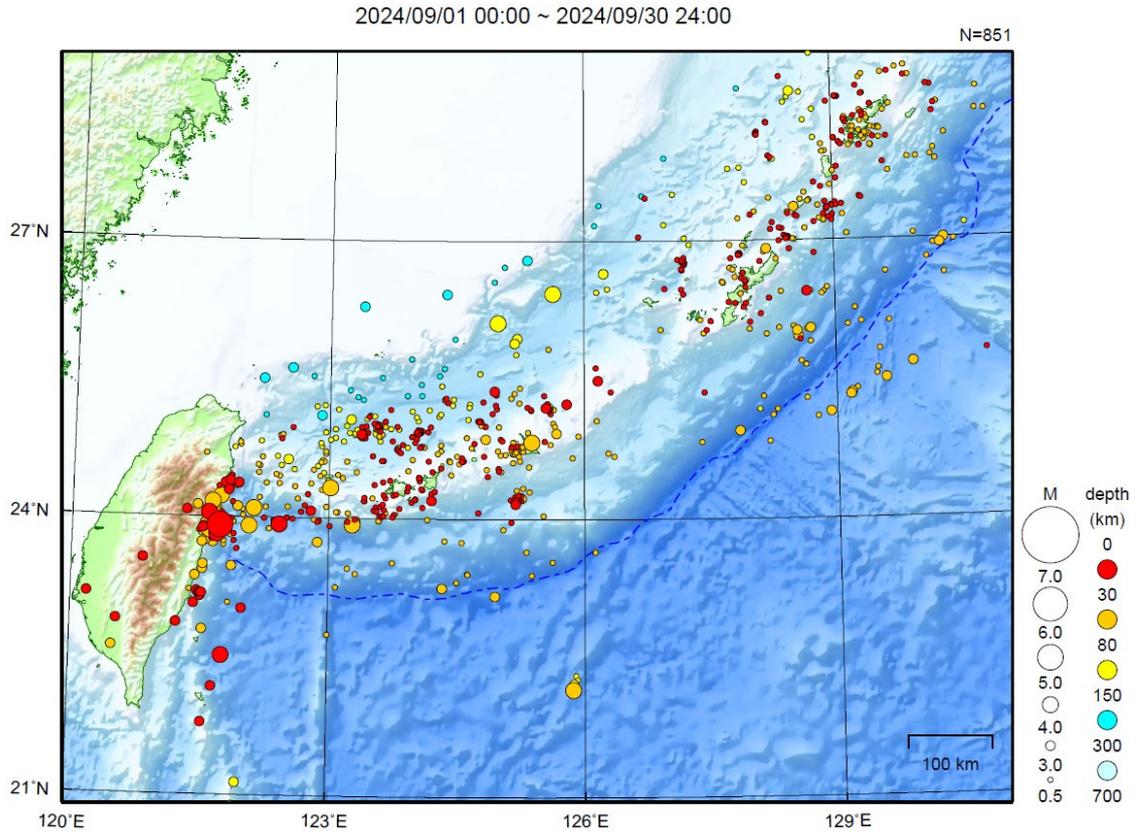


図10 沖縄地方の震央分布図（2024年9月1日～9月30日、 $M \geq 0.5$ ）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030及び米国国立地球物理データセンターのETOP02v2を使用

[概況]

9月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は5回（8月は6回）であった。

9月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

2024/09/01 00:00 ~ 2024/09/30 24:00

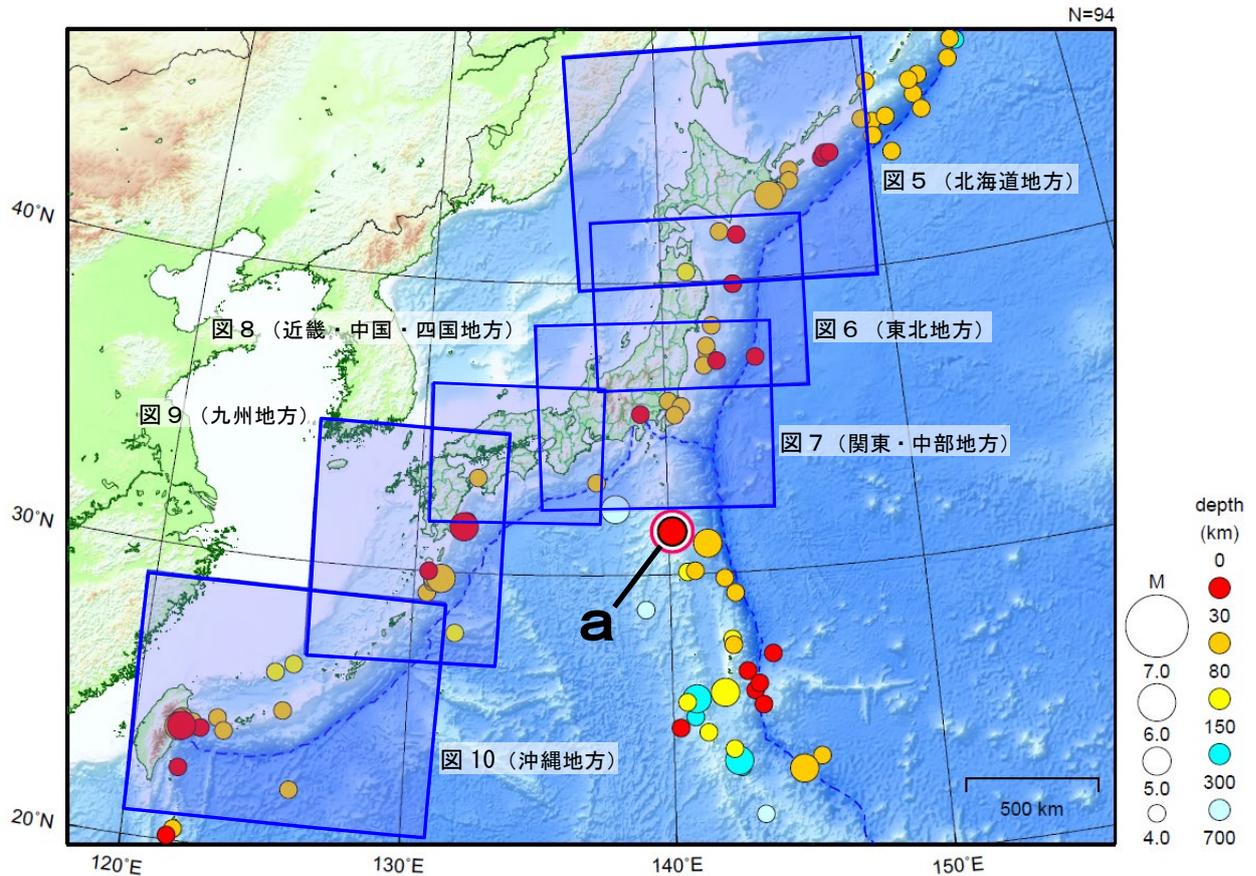


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2024年9月1日～9月30日、 $M \geq 4.0$ ）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用
2024年9月24日の鳥島近海の地震（ $M5.8$ 、図中の a）は震源決定精度がやや劣るものである。

[概況]

9月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震はなかった（8月は3回）。

9月中に図5～10の領域外で発生した主な地震活動は次のとおりである。

- a 24日08時14分に鳥島近海の深さ10km(CMT解による)で $M5.8$ の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震により、東京都の八丈島八重根^(注1)で0.7mなど、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した（p. 59～64 参照）。

（注1）巨大津波計による観測のため、観測単位は0.1m。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第85回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第463回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、令和6年10月7日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した^(注)。これに関連する概要資料をp.28に掲載する。

(注) <https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html>

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

9月16日23時13分に日向灘の深さ22kmを震源とするM5.3の地震が発生しました。この地震は、発震機構が北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生しました。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震(微動)のうち、主なものは以下のとおりです。

(1) 紀伊半島西部：9月7日から9月10日

(2) 紀伊半島中部：9月20日から9月24日

2. 地殻変動の観測状況

(顕著な地震活動に関する現象)

GNS観測によると、8月8日の日向灘の地震の発生後、宮崎県南部を中心にゆっくりとした東向きの変動が観測されています。

(ゆっくりすべりに関係する現象)

上記(1)(2)の深部低周波地震(微動)とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しています。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

GNS観測によると、2019年春頃から四国中部で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2023年秋頃から一時的に鈍化していましたが、最近は継続しているように見えます。また、2022年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

(長期的な地殻変動)

GNS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（顕著な地震活動に関する現象）

8月8日に発生した日向灘の地震（M7.1、最大震度6弱）以降、日向灘の地震活動は依然、継続していますが、徐々に減衰してきています。9月16日に発生した日向灘の地震（M5.3、最大震度3）などは、その規模から南海トラフ沿いのプレート間の固着状態の特段の変化を示すものではないと考えられます。

GNSS観測による、8月8日の日向灘の地震発生後のゆっくりとした変動は、この地震に伴う余効変動と考えられます。余効変動自体はM7クラス以上の地震が発生すると観測されるもので、今回の余効変動は、そのような地震後に観測される通常の余効変動の範囲内と考えられます。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）（2）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2019年春頃からの四国中部の地殻変動及び2022年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動は、それぞれ四国中部周辺及び渥美半島周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、四国中部周辺の長期的ゆっくりすべりは、2023年秋頃から一時的に鈍化していましたが、最近では継続しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

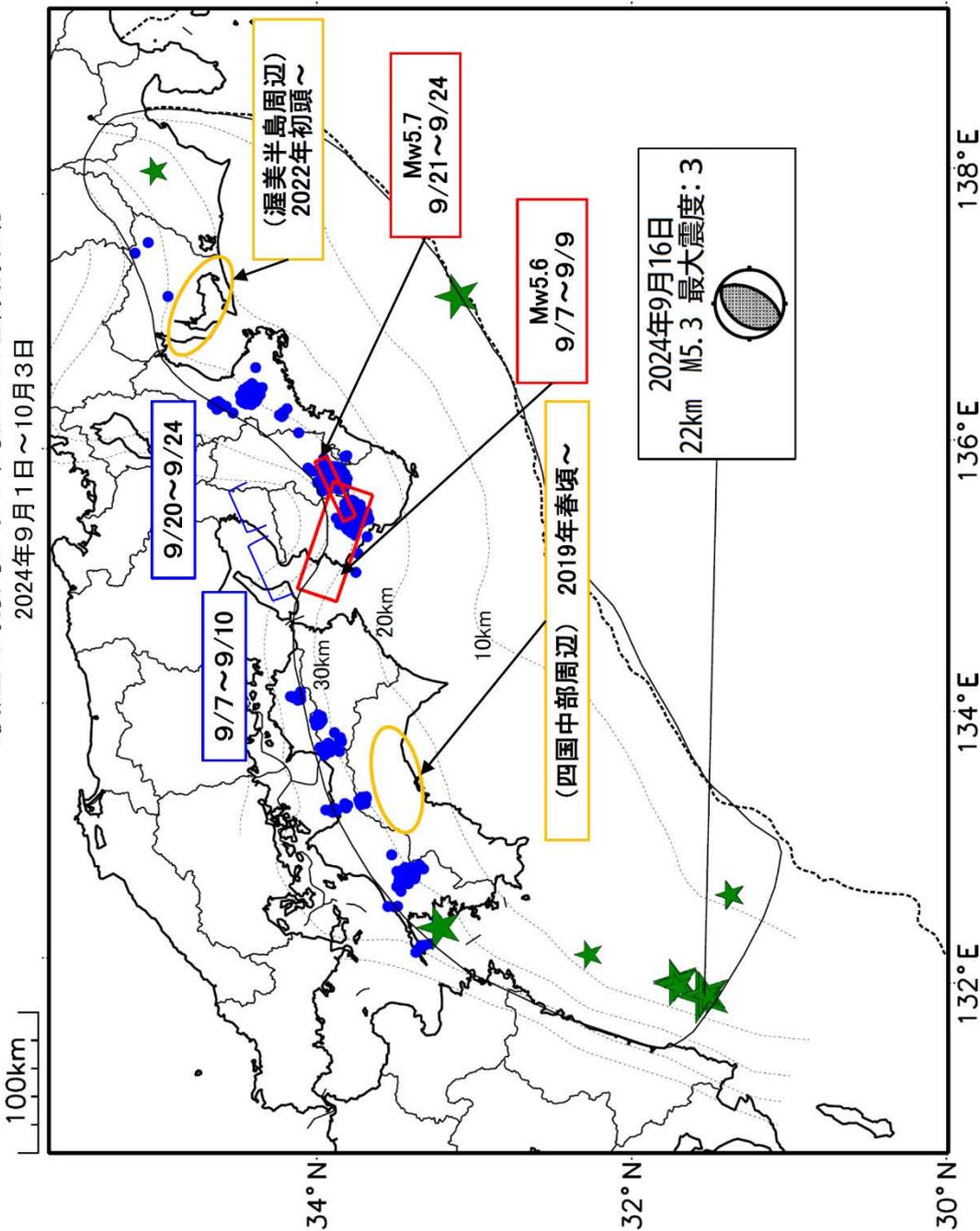
- ・「想定震源域」
南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。
- ・「クラスタ」、「クラスタ除去」
地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。
- ・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」
想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。
- ・「深部低周波地震（微動）」
深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。
- ・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析にはHirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2024年9月1日～10月3日



緑(★) 通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上、大きさはMの大きさを示す)
 青(●) 深部低周波地震(微動)
 赤(□) 短期的ゆっくりすべり
 黄(○) 長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり.....【紀伊半島西部、紀伊半島中部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
 長期的ゆっくりすべり.....【渥美半島周辺、四国中部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和6年9月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和6年10月8日14時現在）。

須美寿島では、19日に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。

岩手山では、10月2日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

表1 令和6年10月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島 [※]
	入山危険	西之島 [※]
	レベル2（火口周辺規制）	岩手山、浅間山、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島 [※]
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩 [※] 、須美寿島 [※] 、海徳海山 [※] 、福岡ノ場 [※]
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（9月1日～30日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

岩手山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ← 10月2日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ。

岩手山周辺の傾斜計やひずみ計、GNSS 連続観測では、2024年2月頃から山体の深いところの膨張を示す地殻変動が観測されています。

一方、国土地理院によると、9月26日に観測された「だいち2号」のSAR干渉解析結果では、大地獄谷周辺に、衛星に近づく変動が見られます。この変動は、大地獄谷付近のごく浅いところの膨張を示していると考えられます。

また、黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、増減を繰り返しながら引き続き観測されています。

岩手山では火山活動の高まりがみられており、今後、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。このため、10月2日15時00分（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

西岩手山の想定火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、4月中旬以降増加した状態が続いており、その後も消長を繰り返しています。3月中旬から認められていた山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美^{すみ}寿^{すしま}島〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕←19日に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表

海上保安庁が18日に実施した上空からの観測によると、須美寿島付近で7月に続いて変色水が確認されました。

今後、海底噴火が発生する可能性があるため、19日11時00分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口付近で噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められます。今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島内及びその周辺海域で噴火は認められませんでした。2022年以来、翁浜（おきなはま）沖では、マグマの噴出が繰り返し発生しており、今後も同様の噴火が発生する可能性があります。また、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、翁浜沖での噴火同様、島内における小規模な噴火の発生にも警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性ががあります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

桜島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）】

南岳山頂火口では、噴火¹⁾が3回発生し、このうち爆発は1回でした。噴煙は最高で火口縁上 1,500 mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は観測されませんでした。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

硫黄岳火口では、1日11時28分及び3日10時08分に噴火が発生し、噴煙が最高で火口縁上1,000 mまで上がりました。大きな噴石の飛散や空振は観測されませんでした。噴火が発生したのは、2020年10月6日以来です。なお、噴火の前後で火山活動に特段の変化はみられていません。

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）及び火山現象に関する海上警報】

口永良部島では、4月以降、火山性地震は概ね多い状態で経過しています。火山性地震は主に古岳火口付近の浅いところで発生しました。

GNSS連続観測では、2023年6月下旬頃から11月頃にかけて古岳付近の膨張を示す変動が観測されており、現在も膨張した状態が維持されています。

口永良部島では、火口付近の浅いところで地震活動が活発となり、引き続き、新岳火口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

新岳火口及び古岳火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上1,700 mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、火口中心から最大で約700 mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、少ない状態で経過しています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね1.5 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

- 1) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
	岩手山	噴火警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2024年10月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年8月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年11月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年6月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年2月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年8月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年3月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2022年5月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月12日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年2月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替 2022年6月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2015年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月30日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年9月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年10月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年7月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年6月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2017年3月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年1月26日噴火警報（周辺海域警戒）
	須美寿島	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2024年9月19日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年6月3日火口周辺警報（入山危険） 2014年6月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年2月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年2月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年8月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年2月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年4月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年6月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年7月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月5日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替
	海徳海山	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年8月23日噴火警報（周辺海域警戒）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2022年3月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年9月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福德岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年8月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年7月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年7月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日噴火予報（レベル1、平常） 2013年9月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2014年3月12日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年9月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年3月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年3月29日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年4月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年8月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年5月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年6月9日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年2月24日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2022年3月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年4月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年1月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年4月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2024年5月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2024年7月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2023年7月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2023年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2021年3月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山(新燃岳) (つづき)		2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年1月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2022年3月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2022年8月19日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2021年4月25日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2022年7月24日噴火警報（レベル5、避難） 2022年7月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年11月2日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2021年3月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）切替

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報(レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報(レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報(レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2015年5月29日噴火警報(レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報(レベル5、避難)切替 2016年6月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2018年8月15日噴火警報(レベル4、避難準備) 2018年8月29日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2019年6月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年10月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年1月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年2月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年7月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年5月25日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2022年7月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年9月1日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2023年6月26日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2023年6月27日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年7月10日火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2024年3月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2024年4月13日火口周辺警報(レベル3、入山規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2020年12月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年1月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年3月31日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年4月5日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年6月23日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2021年7月29日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2021年9月17日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2022年7月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2022年9月28日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年1月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2023年3月5日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2023年6月9日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2024年1月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2024年1月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2024年3月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)切替

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印及び**印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカランダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

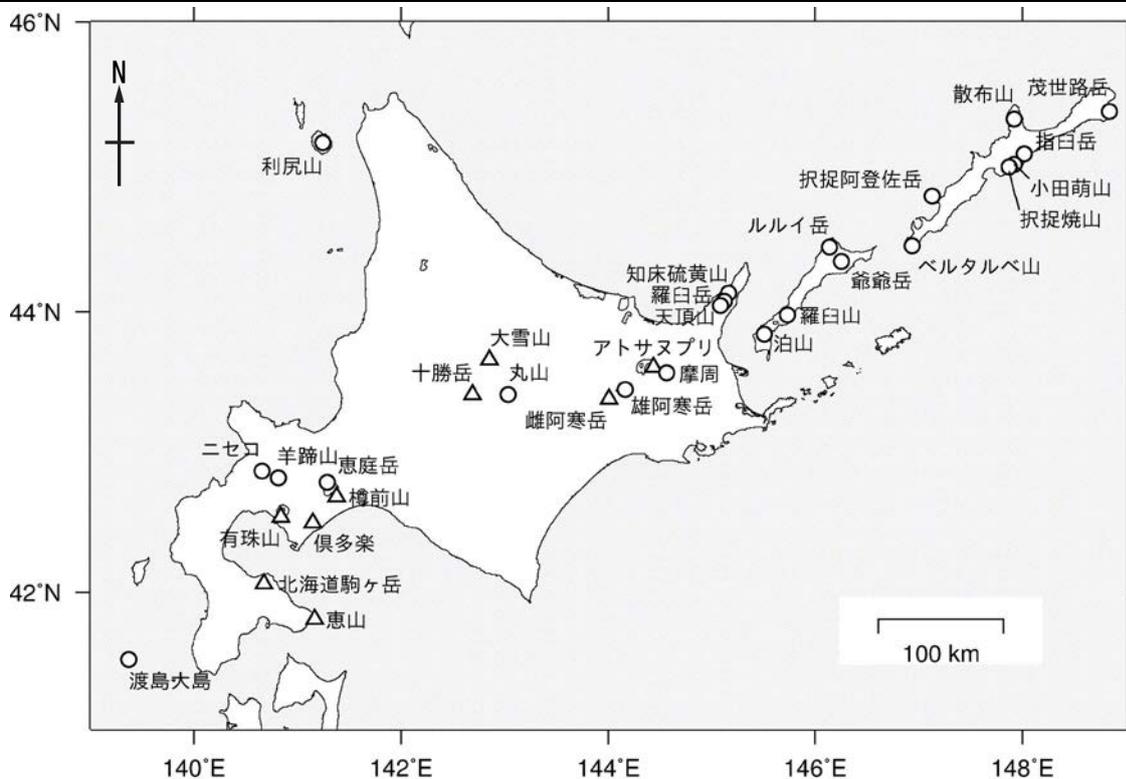
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年9月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（9月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例				
噴火警戒レベル対象火山	▲	噴火警報発表中	△	噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●	噴火警報発表中	○	噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

知床硫黄山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

アトサヌプリ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

4月から7月頃にかけて、火山活動にわずかな活発化が認められましたが、その後は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

恵庭岳 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

倶多楽 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ニセコ [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過していますが、長期的には噴気活動や地殻変動に活発化の傾向がわずかに認められており、今後の推移には注意が必要です。

恵山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

渡島大島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年9月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10月2日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	岩手山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、秋田駒ヶ岳 鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

岩手山では、10月2日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

その他の予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS連続観測で認められている2020年中頃からの秋田焼山を挟む基線の伸びの変化は、2022年終わり頃からやや鈍化しつつも継続しています。地震活動や噴気、地熱域等には特段の変化はみられません。火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

←10月2日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から2（火口周辺規制）に引上げ

岩手山周辺の傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測では、2024年2月頃から山体の深いところの膨張を示す地殻変動が観測されています。

一方、国土地理院によると、9月26日に観測された「だいち2号」のSAR干渉解析結果では、大地獄谷



周辺に、衛星に近づく変動が見られます。この変動は、大地獄谷付近のごく浅いところの膨張を示していると考えられます。

また、黒倉山付近で発生している微小な火山性地震は、増減を繰り返しながら引き続き観測されています。

岩手山では火山活動の高まりがみられており、今後、西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山）の想定火口から概ね2 kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。このため、10月2日15時00分（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

西岩手山の想定火口から概ね2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、噴火時には火口の風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

今期間、火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では、火山性地震の発生頻度がやや高い状態で推移しています。そのうち女岳^{めだけ}付近では2015年頃まで地熱域の拡大がみられ、その後大きな変化は認められていませんが、中長期的には地震活動や熱活動がやや高まった状態で経過していることから、その推移に留意が必要です。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は少ない状態で経過しており、また、大穴火口周辺では緩やかな地盤の収縮を示唆する変化がみられていることから、山体浅部の熱水活動は低下しているとみられます。一方で、火山ガスや噴気・地熱の活動は継続していますので、今後の火山活動の推移には留意が必要です。また、入山する際には火山ガスに注意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

GNSS連続観測で認められていた2022年後半からの山体膨張を示すわずかな変化は2023年10月頃から停滞していますが、火山性地震は2022年10月以前に比べて多い状態で経過していますので、今後の火山活動の推移に留意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

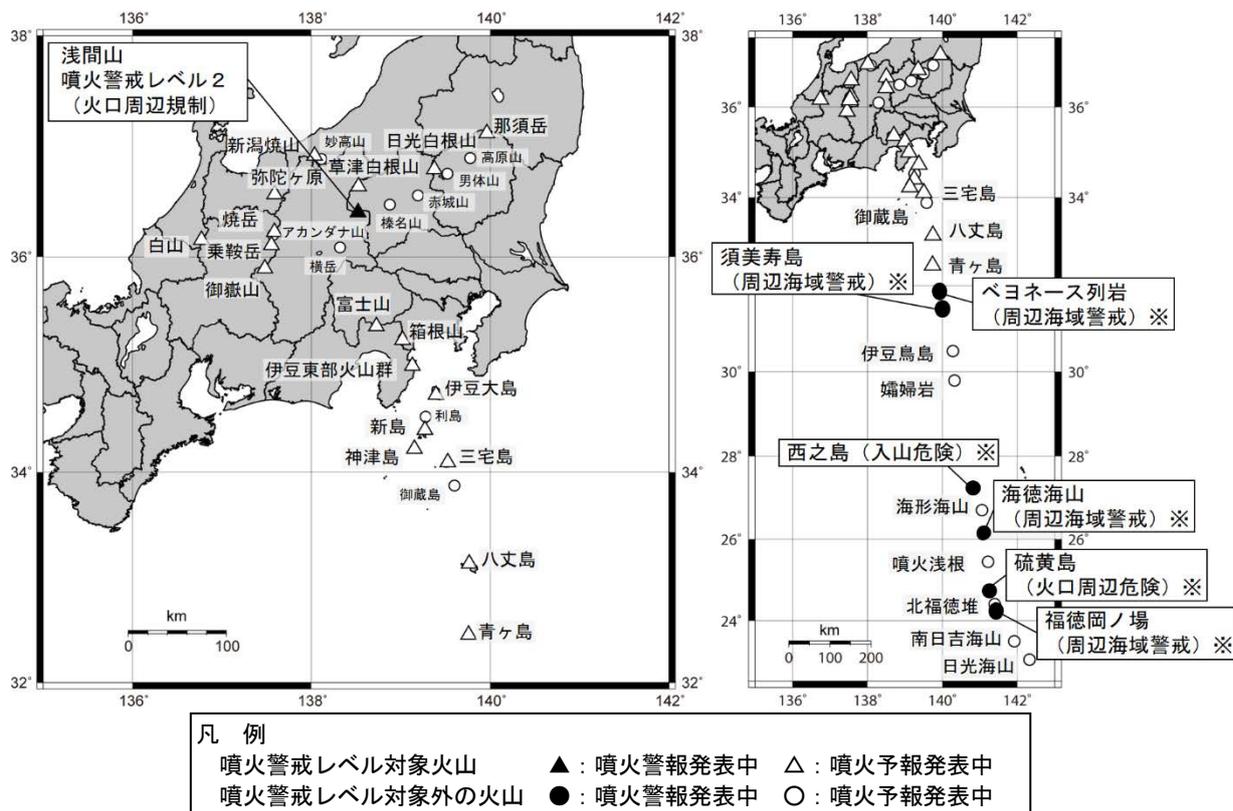
管内月間火山概況（令和6年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（9月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	浅間山
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	ベヨネース列岩※、須美寿島※、海徳海山※、福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近）、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

5月下旬以降、火山性地震がやや増加しています。6月頃から噴気の化学成分比に活発化を示す変化が認められます。また、傾斜計での観測によると、6月頃から湯釜付近の地下浅部を膨張源とする緩やかな地殻変動が始まっていると考えられます。

これらのことから、今後火山活動が高まる可能性があります。今後の火山活動の推移に注意してください。

湯釜火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

山体浅部を震源とする火山性地震は、4月中旬以降増加した状態が続いており、その後も消長を繰り返しています。3月中旬から認められていた山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動は、5月以降、停滞しています。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、1日あたり500トン前後で推移しており、2023年3月以前に比べて多い状態が続いています。引き続き、山頂火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

山頂火口から概ね2kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる地殻変動もみられませんが、地獄谷では活発な熱活動が続いていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

山頂付近の微小な地震が、3月下旬以降やや多い状態となっています。GNSS連続観測では、山頂付近での緩やかな膨張を示すと考えられる変化は継続しています。山頂付近の噴気の状態に変化は認められません。

山頂付近の地震活動や地殻変動に加え、焼岳周辺では数年おきに震度1以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられることから、中長期的に焼岳の火山活動は高まってきていますので、今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

剣ヶ峰南西斜面の一部の噴気孔では引き続き勢いよく噴気が出ており、地熱域の温度は高い状態が継続していますが、長期的には温度の低下傾向がみられます。

地震活動は低調に経過しており、傾斜計及びGNSS連続観測では、火山活動によるとみられる特段の地殻変動は認められません。

火山活動は静穏に経過していますが、継続時間の短い火山性微動が時々発生しており、噴気活動も2014年の噴火前の状態には戻っていません。

地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に引き続き注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に従い、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動は低調に経過しています。GNSS連続観測の一部基線でみられていた伸びの変化は、2024年1月頃から停滞しています。

大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる1986年の噴火以降の長期的な島全体の膨張は、2018年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されていると考えられることから、今後火山活動が活発化する可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地震活動及び噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いていますが、主火孔周辺の地熱域では、2022年以降温度の上昇や放熱率の増加傾向が認められます。また、山体浅部の膨張を示すと考えられる村営牧場南一雄山北東間での伸びの傾向は2023年に入り停滞していますが、山体深部の膨張を示す地殻変動は続いており、地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます。2000年の噴火以降の中長期的なマグマの蓄積や地熱の上昇傾向からみて、今後火山活動が活発化する可能性があります。また、火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性があります。

山頂火口内及び主火孔から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火や変色水等の特異事象は認められなかったものの、明神礁付近では2023年2月に変色水が認められていることから、海底噴火の発生に引き続き警戒が必要です。

ベヨネース列岩（明神礁）の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。また、噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

須美寿島〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕 ←19日に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表

海上保安庁が18日に実施した上空からの観測によると、須美寿島付近で7月に続いて変色水が確認されました。

今後、海底噴火が発生する可能性があるため、19日11時00分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

伊豆鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

山頂火口付近で噴気活動がみられ、島の周囲に変色水が引き続き認められます。今期間、噴火は観測されていませんが、2022年10月以降しばしば噴火が観測されており、比較的活発な火山活動は継続していると考えられます。

山頂火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石や溶岩流に警戒してください。

海徳海山〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、噴火は認められないものの、2023年1月に変色水が認められたことから、活発な火山活動は継続しており、海底噴火が発生する可能性があります。

海徳海山の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

今期間、硫黄島内及びその周辺海域で噴火は認められませんでした。2022年以來、^{おきなほま}翁浜沖では、マグマの噴出が繰り返し発生しており、今後も同様の噴火が発生する可能性があります。また、長期的に島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、翁浜沖での噴火同様、島内における小規模な噴火の発生にも警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

2021年8月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動が継続しており、今後も噴火の可能性あります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

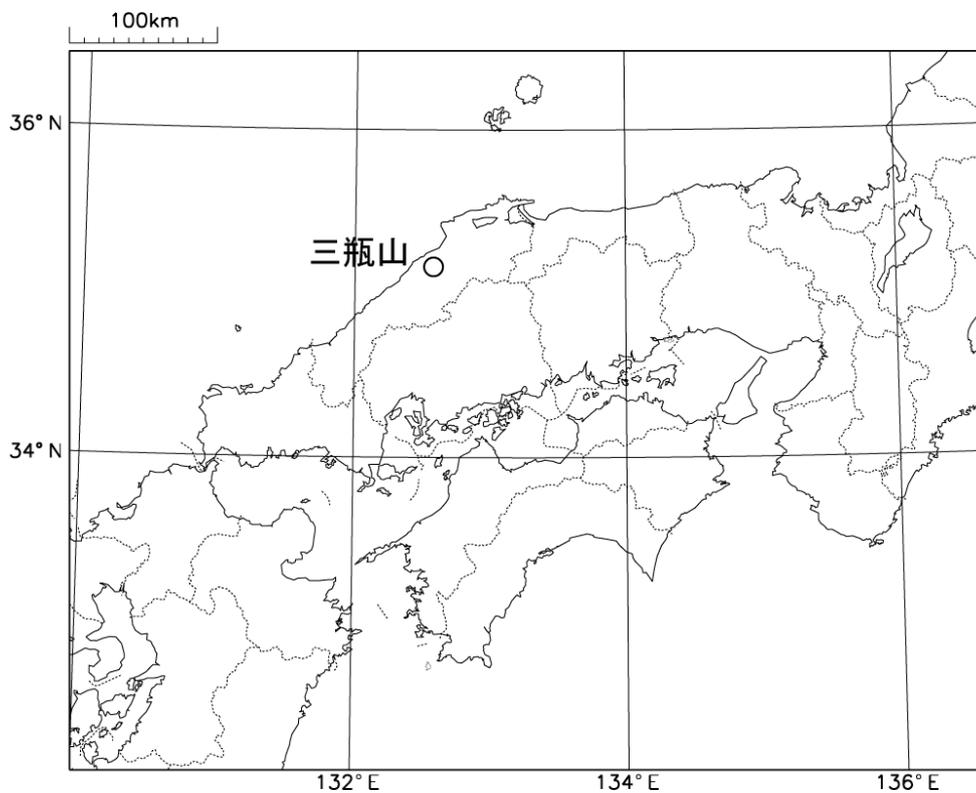
管内月間火山概況（令和6年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 九州地方の火山活動

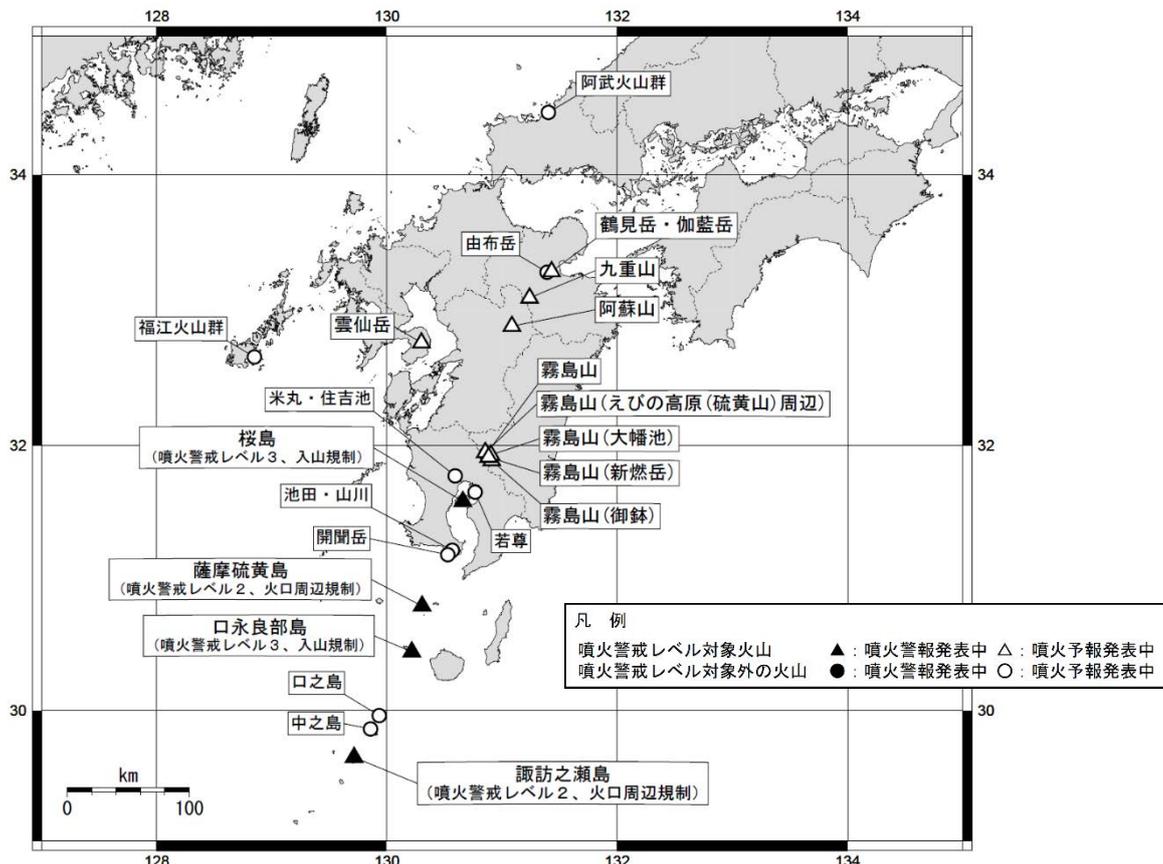
管内月間火山概況（令和6年9月）

福岡管区气象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和6年9月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島※
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島

※印の付いた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たって、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『電子地形図（タイル）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（9月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、長期的にはB型地震¹⁾が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出がみられますので、注意してください。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態であり、噴気地帯の状況にも特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。長期的には地熱域の温度は低下していますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

阿蘇山では、火山活動は低下した状態で推移しています。

火山性微動の振幅は小さな状態で経過しています。また、火山ガス（二酸化硫黄）の1日あたりの放出量は少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、2023年12月頃から深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線において伸びの傾向が認められていましたが、1月下旬以降は停滞しています。

火口内では、土砂や火山灰が噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

きりしまやま おおほたいけ 霧島山（大幡池） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）^{きりしまやま しんもえだけ} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

GNSS連続観測では、霧島山を挟む基線において、2022年11月頃から、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる伸びがみられていましたが、2023年4月以降は停滞しています。

火山活動に高まりは認められず、噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、新燃岳火口内、火口縁及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）^{きりしまやま おはち} [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島^{さくらじま} [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、噴火²⁾が3回発生し、このうち爆発³⁾は1回でした。噴煙は最高で火口縁上1,500mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は観測されませんでした。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域のGNSS連続観測によると、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島^{さつまいおうじま} [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

硫黄岳火口では、1日11時28分及び3日10時08分に噴火が発生し、噴煙が最高で火口縁上1,000mまで上がりました。大きな噴石の飛散や空振は観測されませんでした。噴火が発生したのは、2020年10月6日以来です。なお、噴火の前後で火山活動に特段の変化はみられていません。

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は1日あたり1,000トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね0.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）及び火山現象に関する海上警報]

口永良部島では、4月以降、火山性地震は概ね多い状態で経過しています。火山性地震は主に古岳火口付近の浅いところで発生しました。

GNSS連続観測では、2023年6月下旬頃から11月頃にかけて古岳付近の膨張を示す変動が観測されており、現在も膨張した状態が維持されています。

口永良部島では、火口付近の浅いところで地震活動が活発となっており、引き続き、新岳火口及び古岳火口の周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

新岳火口及び古岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、噴火活動が続いています。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上1,700mまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、火口中心から最大で約700mまで飛散しました。

GNSS連続観測では、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の更なる増加と推定される変動は認められません。島の西側で発生していると推定される火山性地震は、少ない状態で経過しています。

御岳火口では長期にわたり噴火活動が継続しており、今後も火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火活動が継続すると考えられます。

御岳火口中心から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをB型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
- 2) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
- 3) 桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体に感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和6年9月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

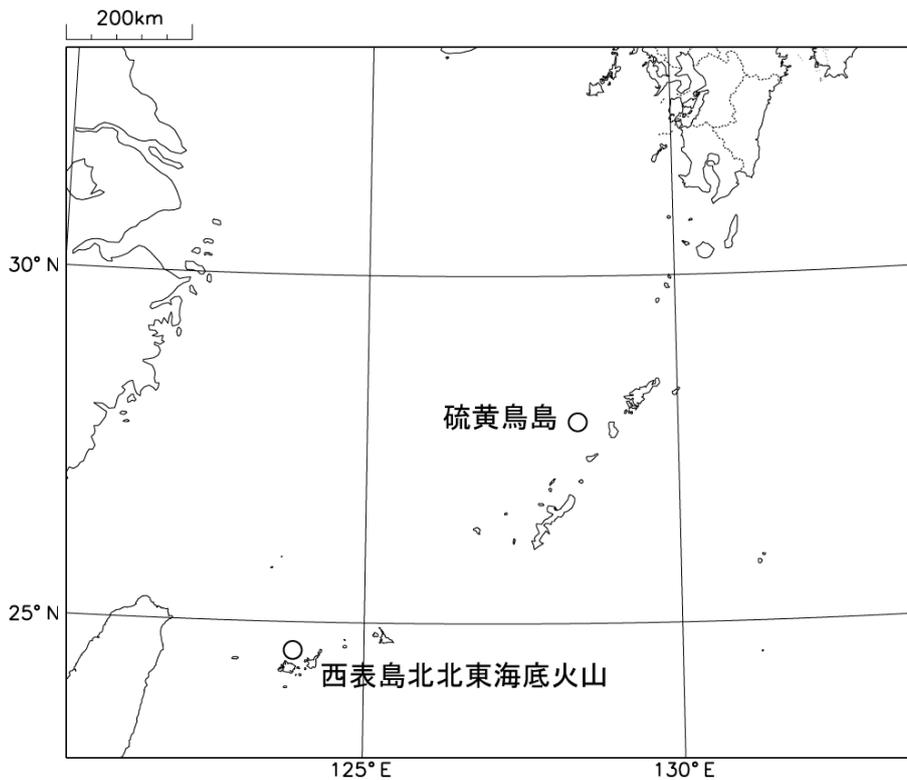
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaietsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表 令和6年9月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第72～80号	2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、27日、30日 16時00分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量は、2200[t/日]（18日）が多い。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、桜島島内の基線で1月頃から山体収縮とみられるわずかな縮みが認められる。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では、長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。始良カルデラ地下深部にマグマが蓄積した状態で、火山ガス放出量も概ね多いことから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられる。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	1日 15時13分 15時54分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 火口周辺規制)	解説情報 第75～83号	2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、27日、30日 16時00分	火山性地震は古岳火口付近浅部では概ね多く、新岳付近では少ない状態。 新岳火口で白色噴煙を観測。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は少ない状態。 GNSS観測で、2023年11月頃にかけてみられた古岳付近の膨張を示す変動で膨張した状態が維持されている。 火口付近浅部の地震活動はやや活発で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量や古岳の地熱活動は2023年6月からの活動以前の状態より高まった状態で推移。新岳火口及び古岳火口の周辺において噴火が発生する可能性がある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第71～79号	2日、6日、9日、13日、16日、20日、23日、27日、30日 16時00分	火山性地震は、4月中旬以降増加した状態。3月中旬からの山体西側の膨張を示す傾斜変動は、4月下旬から鈍化し5月以降は停滞。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は500、400[t/日]（2、10日）、2023年3月以前に比べて多い状態。
須美寿島	噴火警報 (周辺海域警戒)	噴火警報(周辺海域)	19日 11時00分	海上保安庁による18日の上空からの観測で変色水が確認され、海底噴火発生の可能性がある。
		火山現象に関する海上警報	19日 11時00分	海底噴火による影響が及ぶおそれ。周辺海域警戒。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第36～41号	1日 12時30分 2日、9日、16日、23日、30日 16時00分	硫黄岳火口で1日に噴火が発生、噴煙は火口縁上1000m。大きな噴石の飛散は観測されず。噴火の観測は2020年10月6日以来。 火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。 GNSS連続観測では、島内の一部の基線で2023年10月頃から縮みの変化がみられ、5月頃から停滞。同基線では2015年頃から長期的な縮みの傾向がみられる。 噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第42～46号	2日、9日、16日、23日、30日 16時00分	噴火活動が継続。爆発、大きな噴石の飛散、噴煙、降灰、火映の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSSでは、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	3日19時13分、4日00時02分、5日10時37分、16時45分、7日11時40分、15時08分、30日04時51分、07時00分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	3日19時23分、4日00時13分、5日10時51分、16時57分、7日11時50分、15時18分、30日05時05分、07時14分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
岩手山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第5～8号	6日、13日、20日、27日 16時00分	5日と11日の現地調査で、大地獄谷付近及び黒倉山周辺の噴気及び地熱域の状況に特段の変化はない。傾斜計やひずみ計、GNSS連続観測では、2月頃から山体膨張を示す地殻変動が継続。黒倉山付近で微小な火山性地震が増減を繰り返し継続。火山活動が高まっていると考えられる。今後の火山活動の推移に注意。
草津白根山 (白根山(湯釜 付近))	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第1号	9日 14時00分	白根山(湯釜付近)で、5月下旬以降、火山性地震がやや増加。水釜北東の多成分火山ガス観測で、6月頃から噴気の化学成分比に活発化を示す変化が認められる。傾斜計の観測でも、6月頃から湯釜付近の地下浅部を膨張源とする緩やかな変動が始まっている可能性。白根山(湯釜付近)では、今後火山活動が高まる可能性がある。
霧島山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第4号	6日 16時10分	6日、韓国岳北東側の浅いところで地震が発生し、宮崎県小林市及び高原町で震度2を観測。主に韓国岳付近、韓国岳北東側及び大浪池付近では、8月8日以降地震が増加していたが、その後は増減を繰り返しながらも徐々に減少。この地震による火山活動の変化は認められない。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を公表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を公表している。

● 世界の主な地震

令和6年（2024年）9月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

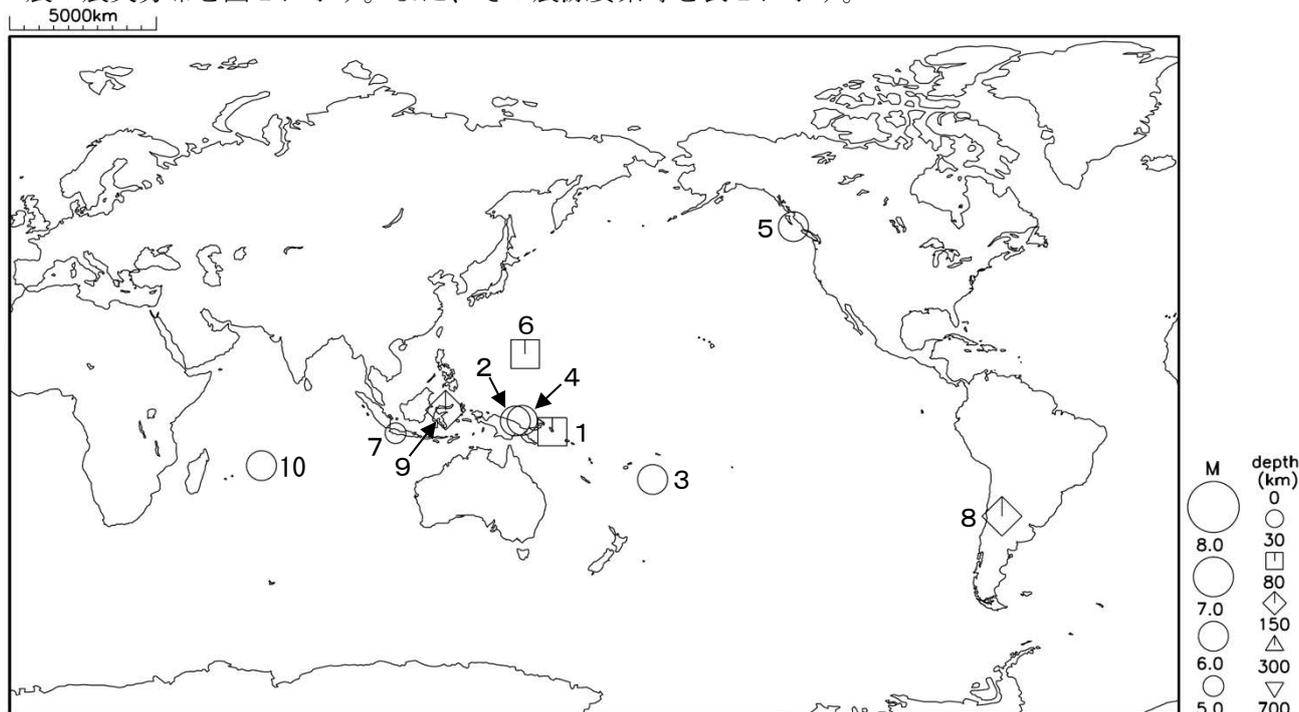


図1 令和6年（2024年）9月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和6年（2024年）9月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	09月02日05時13分	S 6° 49.7'	E155° 31.7'	39			6.4	ブーゲンビルーソロモン諸島			○
2	09月05日10時03分	S 3° 29.2'	E144° 15.0'	10			6.2	バブアニューギニア、ニューギニア北岸			
3	09月08日07時39分	S21° 17.5'	W173° 43.2'	10			6.0	トンガ諸島			
4	09月12日01時46分	S 3° 16.3'	E146° 21.6'	10			6.3	ビスマルク海			
5	09月16日07時22分	N51° 36.2'	W130° 37.2'	10			6.5	カナダ、クイーンシャーロット諸島			
6	09月16日20時36分	N17° 9.2'	E147° 13.5'	31			6.3	マリアナ諸島			
7	09月18日11時41分	S 7° 14.3'	E107° 34.1'	10			5.1	インドネシア、ジャワ	死者1人など		
8	09月22日06時24分	S31° 55.2'	W 66° 47.6'	130			6.0	アルゼンチン、ラリオハ州			
9	09月24日04時51分	N 0° 5.9'	E122° 53.2'	149			6.0	インドネシア、スラウェシ、ミナハサ半島			
10	09月27日04時19分	S17° 11.3'	E 66° 32.7'	10			6.3	モーリシャスーレユニオン			

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による(2024年10月1日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mwの欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMTによる。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2024年10月1日現在)による。
- ・地震発生時刻は日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報(NWPTA)(※)を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>)参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地震に関する情報」を発表したことを表す。

● 世界の主な火山活動

令和6年（2024年）9月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和6年（2024年）9月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。

●特集

2024年9月24日 鳥島近海（鳥島から北に約100kmの須美寿島付近）の地震

（1）概要

2024年9月24日08時14分に鳥島近海（鳥島から北に約100kmの須美寿島付近）の深さ10km（CMT解による）でM5.8の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内で発生した。この地震により、東京都の八丈島八重根^(注1)で0.7mなど、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

気象庁はこの地震に伴い、24日08時20分に伊豆諸島及び小笠原諸島に津波注意報を発表した（24日11時00分に解除）。

9月24日に気象庁が発表した主な情報及び報道発表を表1-1に示す。

（注1）巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m。

表1-1 気象庁が発表した主な情報及び報道発表（2024年9月24日08時台～11時台）

月 日	時刻	情報発表、報道発表等の状況	備考（主な内容等）
9月24日	08時14分	地震発生	鳥島近海、M5.8、震度1以上を観測した地点はなし
	08時20分	津波注意報	伊豆諸島及び小笠原諸島に津波注意報を発表、M5.9
	08時22分	地震情報（震源・震度情報）	震度1以上を観測した地点はなし
	09時00分	津波情報（津波観測に関する情報）	[24日09時00分現在の値]
	09時02分	津波情報（津波観測に関する情報）	[24日09時01分現在の値]
	09時11分	津波注意報	
		津波予報（若干の海面変動）	
	09時16分	津波情報（津波観測に関する情報）	[24日09時14分現在の値]
	09時41分	津波情報（津波観測に関する情報）	[24日09時39分現在の値]
	10時20分	報道発表	令和6年9月24日08時14分頃の鳥島近海の地震について
	11時00分	津波注意報の解除	
		津波予報（若干の海面変動）	
	11時04分	津波情報（津波観測に関する情報）	[24日11時00分現在の値]
	11時30分	地震情報（顕著な地震の震源要素の更新のお知らせ）	M5.8

（2）地震活動

ア. 地震の発生場所の詳細

2024年9月24日08時14分に鳥島近海の深さ10km（CMT解による）でM5.8の地震（震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内で発生した。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M6程度の規模にも関わらず津波を観測した地震（1984年の地震（M5.9）、1996年の地震（M6.2）、2006年の地震（M5.9）、2015年の地震（M5.9）、2018年の地震（M5.7））が発生しており、今回の地震はこれらの地震と発震機構（CMT解）が比較的良好に似ている（図2-3）。1984年の地震（M5.9）について、Kanamori et al.（1993）^{（注2）}は詳細な分析を行い、同様な発震機構であったことと、マグマが関与した地殻変動によって津波が発生した可能性を示している。2015年5月3日のM5.9の地震（震度1以上を観測した地点はなし）では伊豆諸島の八丈島八重根で0.6mなどの津波を観測した。

なお、今回の地震の震央から南に約200km離れた領域では、2023年10月2日から9日にかけて、M6.0以上の地震が4回発生するなど、地震活動が活発になった。この地震活動により、5日には伊豆諸島の八丈島八重根で0.2mの津波を、6日には八丈島八重根で0.2mなどの津波を、さらに、9日には八丈島八重根で0.7mなど、伊豆諸島、小笠原諸島及び千葉県から沖縄県にかけて津波を観測した。

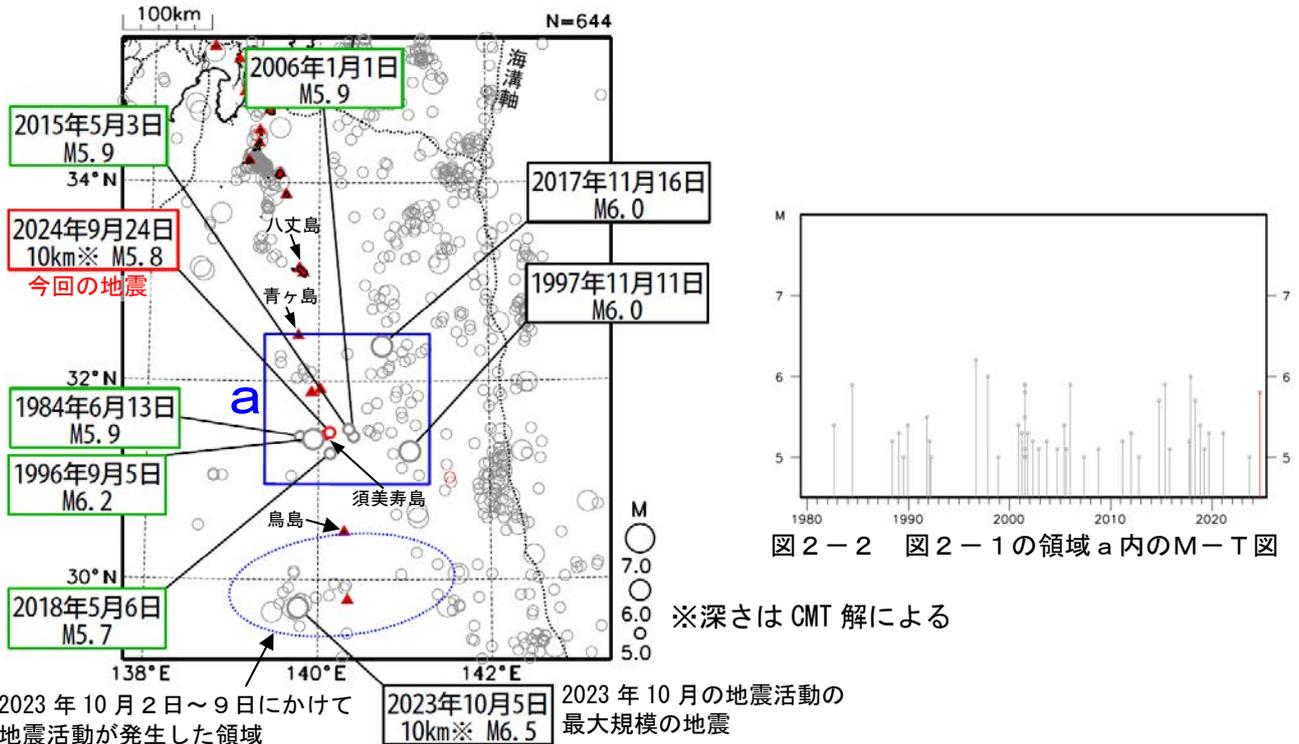


図2-1 震央分布図（1980年1月1日～2024年9月30日、深さ0～100km、M≥5.0）

2024年9月の地震を赤色で表示、図中の発震機構はCMT解。

緑色の吹き出しは領域a内の津波を観測した地震、▲は活火山を示す。

なお、2024年9月24日08時14分の鳥島近海の地震（M5.8）は震源決定精度がやや劣るものである。

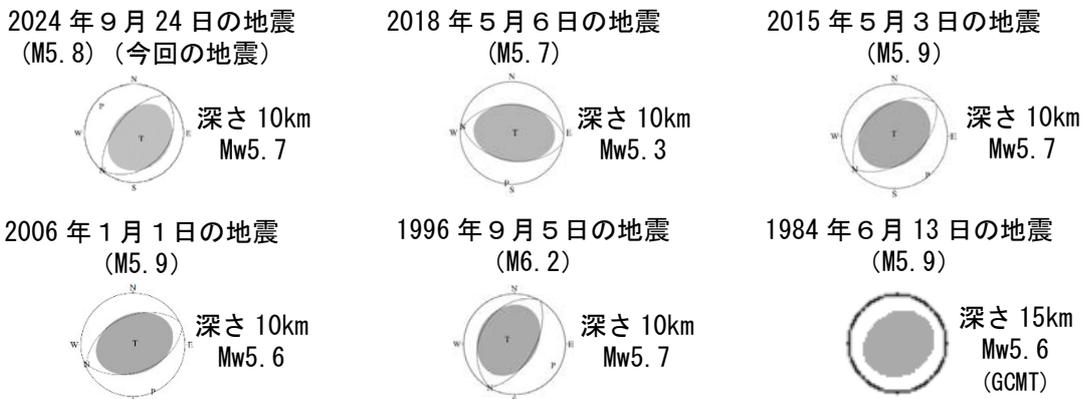


図2-3 今回の地震及び今回の地震の震央周辺で津波を観測した地震の発震機構（CMT解）
発震機構は1984年6月13日の地震はGlobal CMT、その他の地震は気象庁のCMT解。
深さはCMT解による。

（注2）参考文献 Kanamori, H., G. Ekstrom, A. Dziewonski, J. S. Barker, and S. A. Sipkin, 1993, J. Geophys. Res., 98, 6511-6522

イ. 過去の地震活動

1919年以降の地震活動を図2-4及び図2-5に示す。今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7程度の地震が時々発生している。1972年2月29日に発生したM7.0の地震（最大震度5）では館山市布良で最大23cm（平常潮位からの最大の高さ）を、また同年12月4日のM7.2の地震（「1972年12月4日八丈島東方沖地震」、最大震度6）では串本町袋港で最大35cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測した。また、これらの地震により、八丈島で道路・水道の損壊や落石等の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

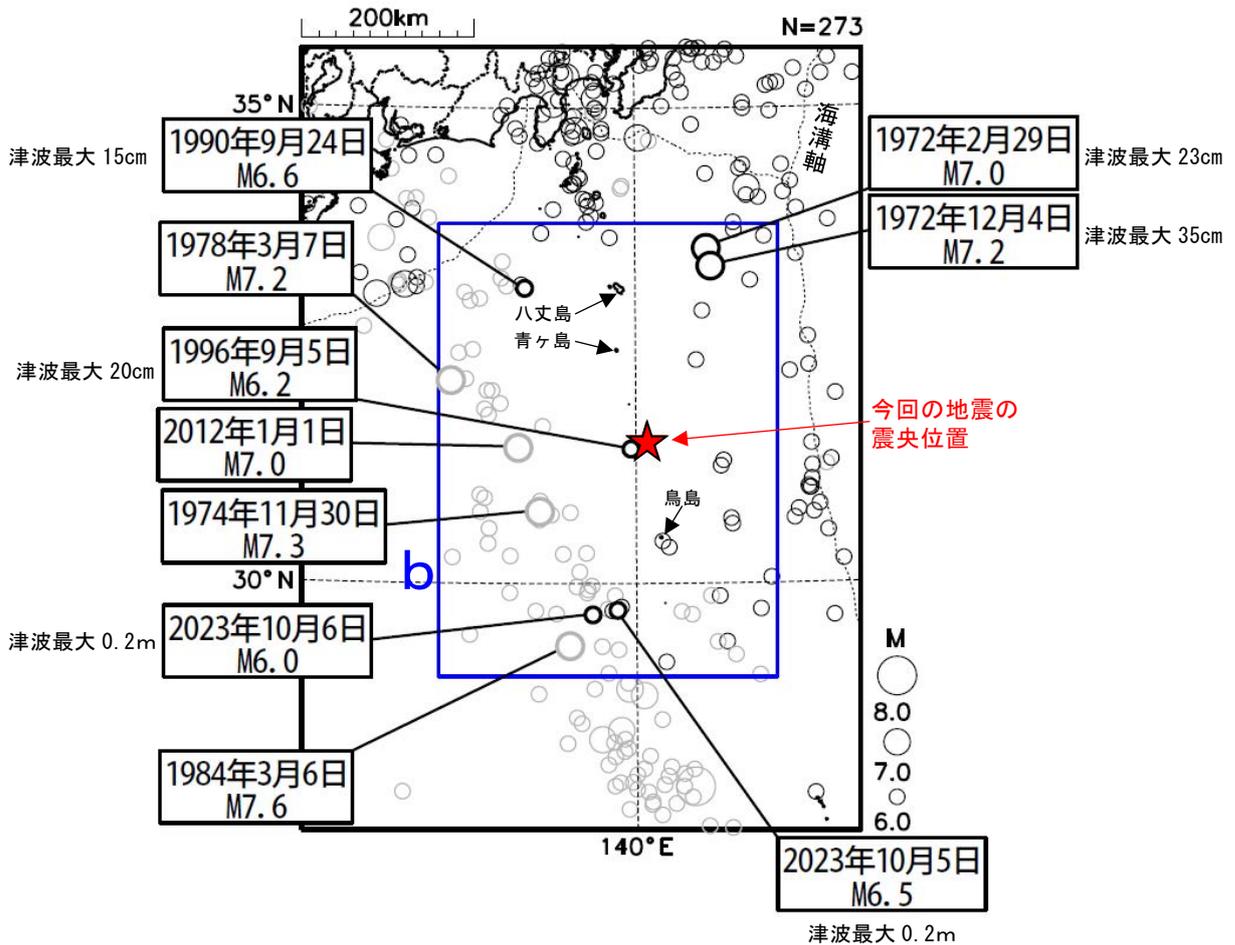


図2-4 震央分布図（1919年1月1日～2024年9月30日、深さ0～700km、M≥6.0）
 2024年8月以前の深さ100km未満の地震を濃く、深さ100km以深の地震を薄く表示
 2024年9月の地震を赤く表示
 領域b内のM7.0以上の地震またはM6.0以上かつ津波を観測した地震に吹き出しを付加

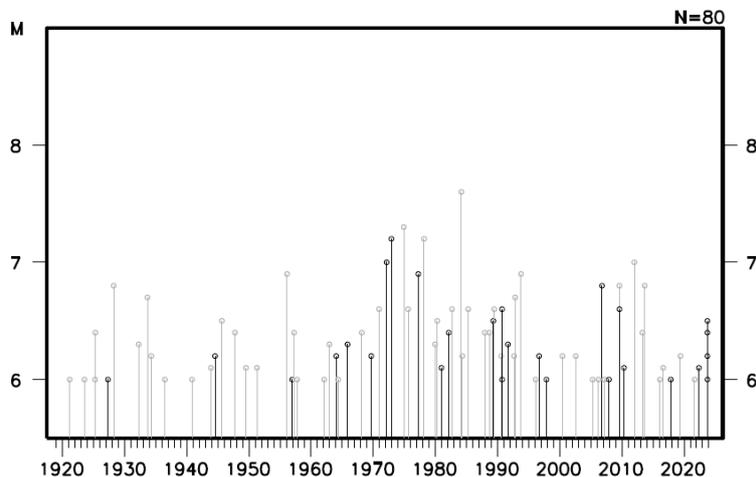


図2-5 図2-4の領域b内のM-T図

（3）津波

ア. 2024年9月24日08時14分 鳥島近海の地震（M5.8）

この地震により、東京都の八丈島八重根（*1）で最大0.7mの津波を観測したほか、伊豆諸島及び千葉県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。今回の地震と2015年5月3日に鳥島近海で発生した地震（M5.9）の津波波形を比較すると、両者の波形はよく似ている。

なお、気象庁は、今回の地震に伴い、伊豆諸島及び小笠原諸島に津波注意報を発表した。

（*1）巨大津波観測計による観測のため、観測単位は0.1m

表3-1 津波観測値（2024年10月3日現在）

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ (cm)
千葉県	館山市布良	気象庁	24日 09:--	24日 09:57	9
東京都	伊豆大島岡田	気象庁	24日 09:11	24日 10:33	12
	三宅島坪田	気象庁	24日 09:--	24日 09:11	14
	八丈島八重根（*1）	気象庁	24日 08:--	24日 08:58	0.7m
	神津島神津島港	海上保安庁	24日 --:--	24日 09:54	20
	三宅島阿古	海上保安庁	24日 09:07	24日 09:11	15
	八丈島神湊	海上保安庁	24日 --:--	24日 10:45	7
静岡県	南伊豆町手石港	気象庁	24日 09:--	24日 09:38	8
高知県	室戸市室戸岬	気象庁	24日 09:--	24日 09:47	4
	土佐清水	気象庁	24日 09:--	24日 10:15	8
鹿児島県	奄美市小湊	気象庁	24日 --:--	24日 10:37	5
	中之島	海上保安庁	24日 10:--	24日 10:44	13

--は値が決定できないことを示す。
 （*1）は巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。
 ※観測値は後日の精査により変更される場合がある。
 ※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。

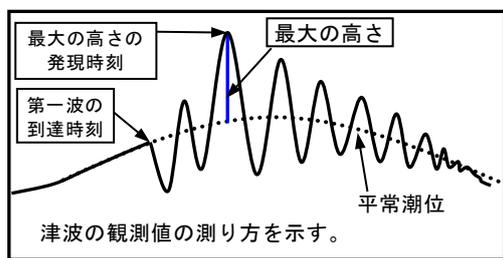


図3-1 津波の測り方の模式

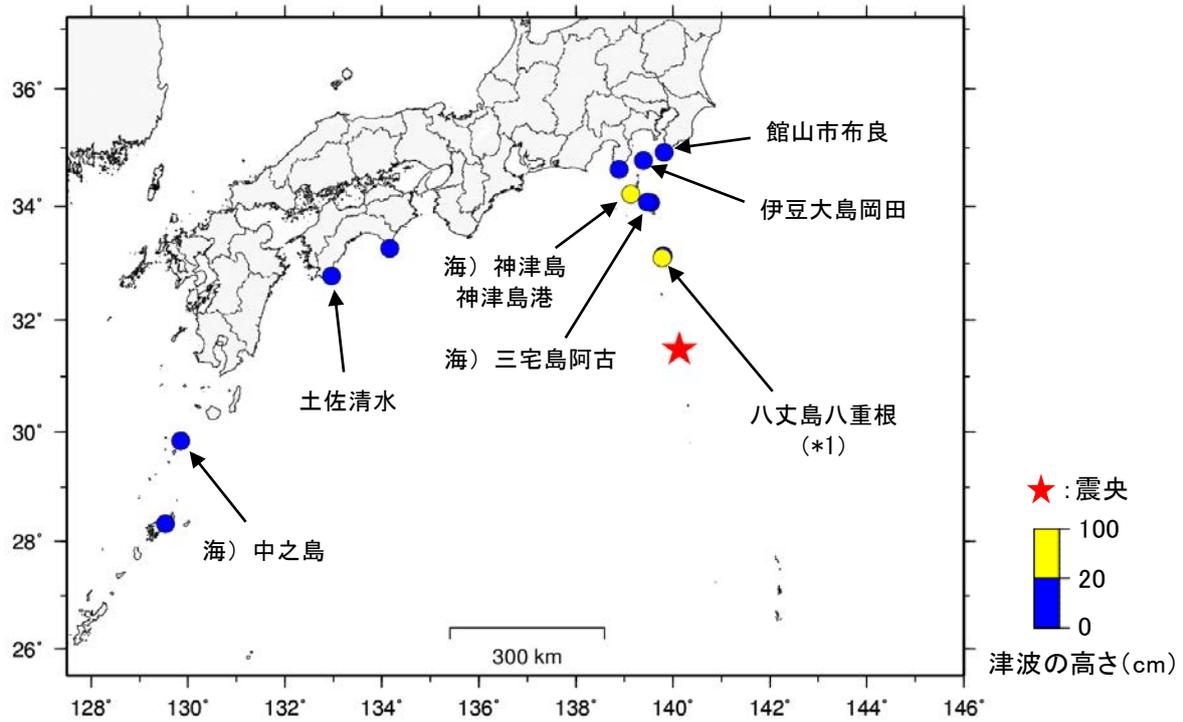


図3-2 津波を観測した地点
 ※ 海) は海上保安庁の所属であることを表す。
 (*1) は巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。

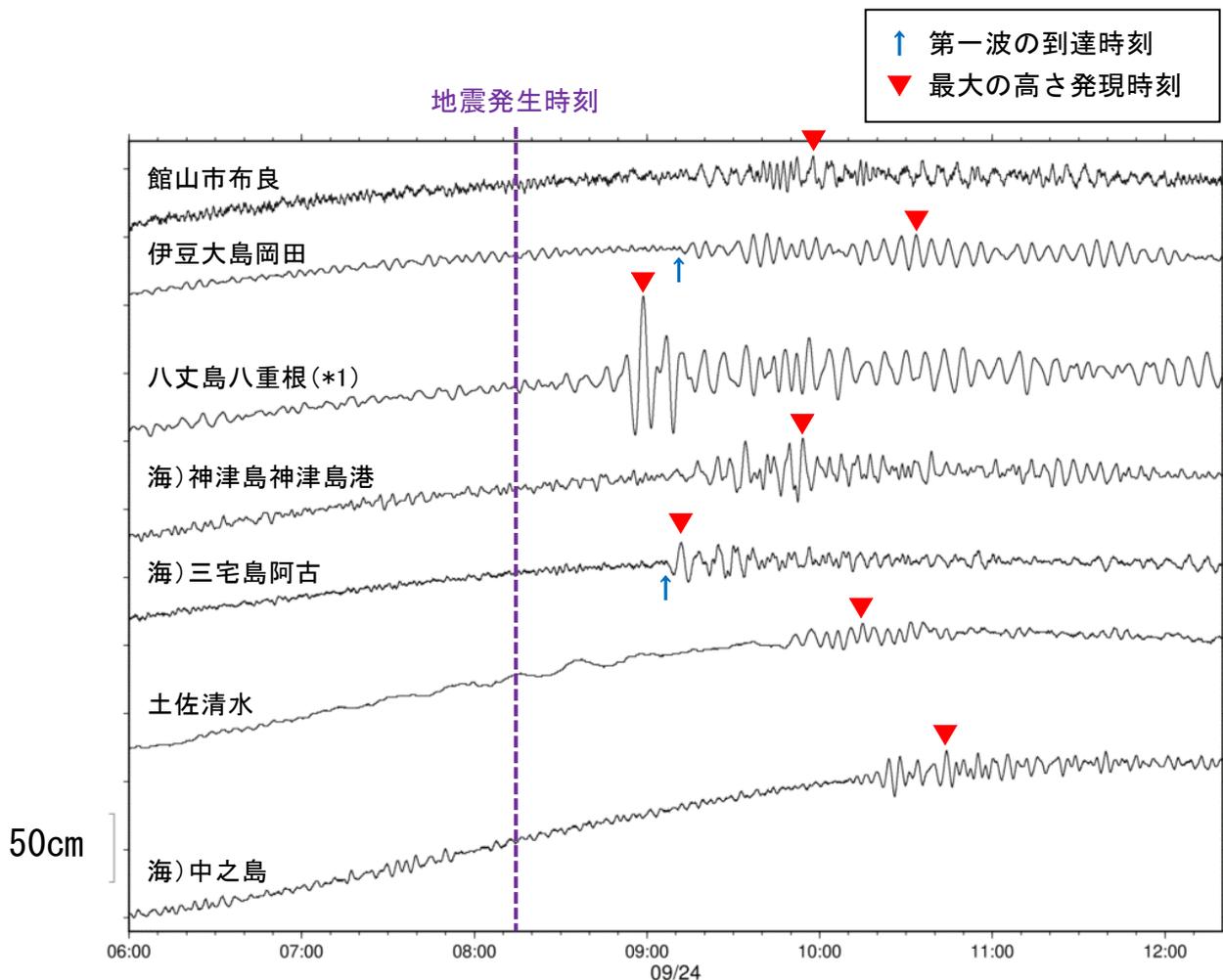


図3-3 津波波形
 ※ 海) は海上保安庁の所属であることを表す。
 (*1) は巨大津波観測計により観測されたことを示す（観測単位は0.1m）。

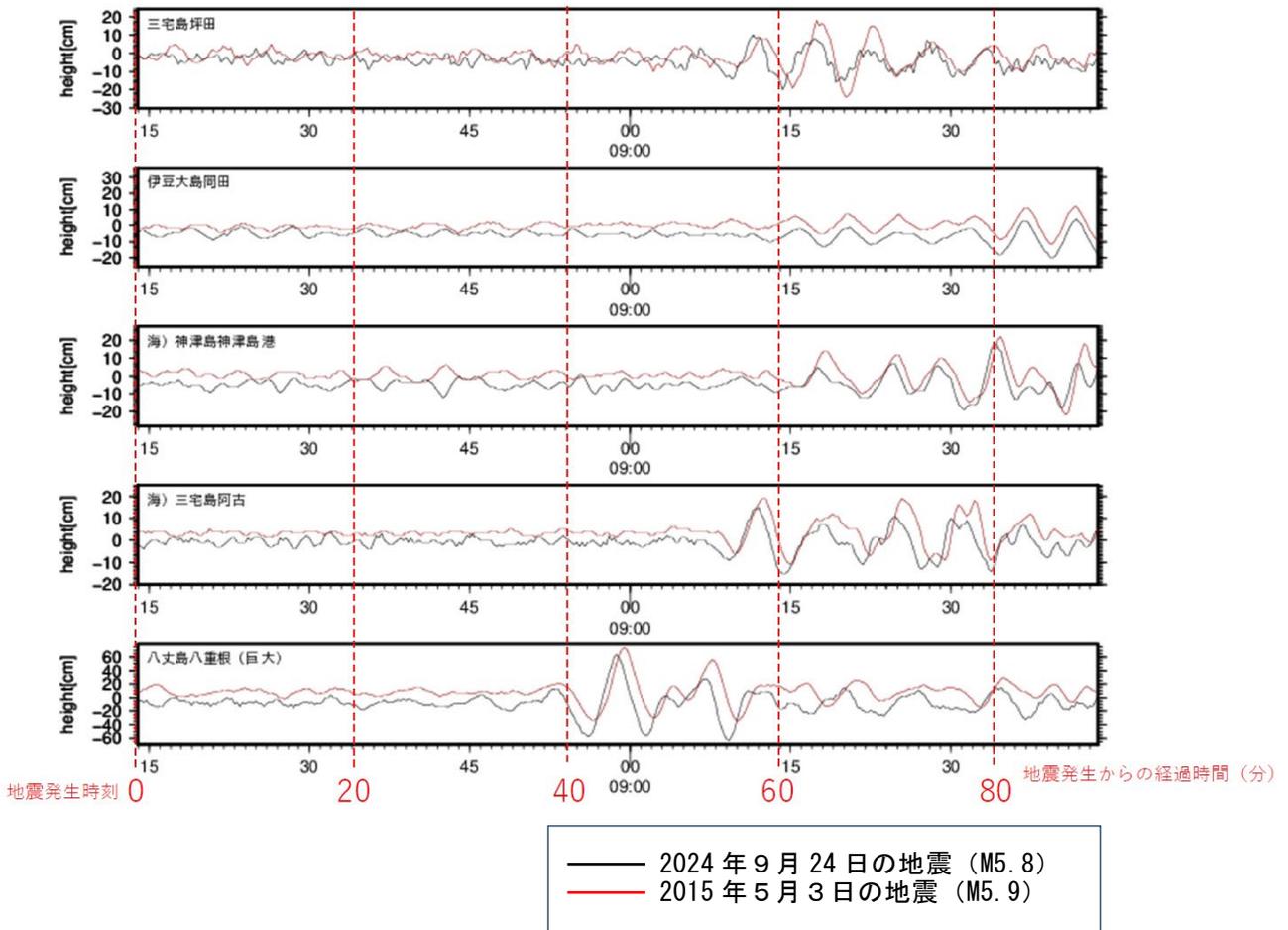


図3-4 2024年9月24日の地震（M5.8）と2015年5月3日の地震（M5.9）の津波波形の比較

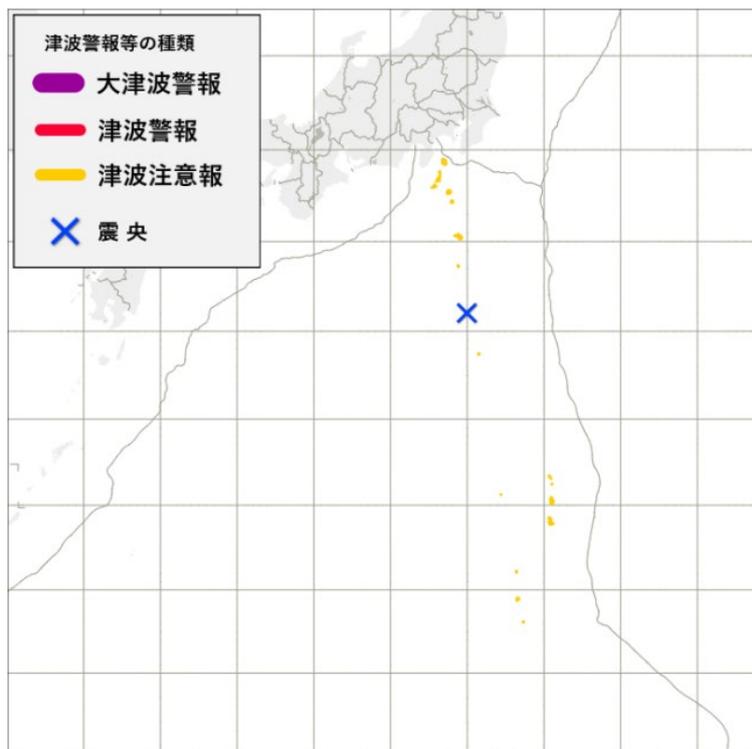


図3-5 2024年9月24日の鳥島近海の地震に対して発表した津波注意報

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

令和6年9月中に震度1以上を観測した地震は137回であった。

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編） [気象庁ホームページ: <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成25年12月 地震・火山月報（防災編）の付録2参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域ではほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さにCMT解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 03 14	熊本県熊本地方 熊本県 1 五木村甲*0.9 八代市泉支所*0.6 熊本美里町永富*0.5	32° 32.1' N	130° 53.1' E	15km	M: 2.9
2	1 11 28	山梨県東部・富士五湖 山梨県 3 大月市御太刀*3.3 富士河口湖町船津*3.1 上野原市秋山*3.0 大月市大月*2.8 富士河口湖町長浜*2.8 都留市上谷*2.6 富士吉田市上吉田*2.6 富士吉田市下吉田*2.6 甲州市大和町初鹿野*2.5 富士川町鯉沢*2.5 2 甲州市勝沼町勝沼*2.4 上野原市役所*2.4 忍野村忍草*2.4 道志村釜之前*2.3 西桂町小沼*2.3 富士河口湖町勝山*2.3 笛吹市八代町南*2.2 富士河口湖町役場*2.2 山梨北杜市長坂町*2.1 鳴沢村役場*2.1 大月市役所*2.1 甲府市相生*2.0 山中湖村山中*2.0 甲州市役所*1.9 山梨市牧丘町窪平*1.9 甲州市塩山上於曾*1.9 甲府市古閑町*1.8 身延町大磯小磯*1.7 山梨北杜市高根町*1.7 上野原市四方津*1.7 丹波山村丹波*1.7 甲州市塩山下於曾*1.7 中央市成島*1.6 笛吹市境川町藤袋*1.5 中央市大鳥居*1.5 笛吹市春日居町寺本*1.5 山梨北杜市大泉町*1.5 1 笛吹市役所*1.3 富士河口湖町本栖*1.3 山梨市小原西*1.2 昭和町押越*1.2 甲府市下曾根町*1.2 山梨北杜市健康ランド須玉*1.1 市川三郷町六郷支所*1.1 中央市白井阿原*1.1 小菅村小菅小学校*1.1 甲府市飯田*1.1 南アルプス市鮎沢*1.1 南アルプス市寺部*1.1 笛吹市一宮町末木*1.1 山梨北杜市明野町*1.0 甲斐市下今井*1.0 笛吹市芦川町中芦川*1.0 笛吹市御坂町夏目原*0.9 市川三郷町役場*0.9 山梨市三富川浦*0.7 山梨北杜市白州町*0.7 山梨北杜市小淵沢町*0.7 南アルプス市小笠原*0.7 身延町役場*0.6	35° 29.7' N	138° 57.6' E	23km	M: 4.2
		埼玉県 2 秩父市中津川*1.8 1 越生町越生*0.9 小鹿野町役場両神庁舎*0.7 本庄市児玉町*0.6 秩父市荒川*0.5 小鹿野町小鹿野*0.5 東京都 2 国分寺市戸倉*1.7 小平市小川町*1.6 1 町田市忠生*1.4 日野市神明*1.4 青梅市日向和田*1.4 小金井市本町*1.3 八王子市石川町*1.3 東村山市本町*1.3 八王子市堀之内*1.3 檜原村本宿*1.2 八王子市大横町*1.1 調布市西つじヶ丘*1.0 東京世田谷区世田谷*0.9 あきる野市伊奈*0.9 町田市森野*0.9 昭島市田中町*0.9 日の出町平井*0.8 東京世田谷区三軒茶屋*0.7 東京渋谷区宇田川町*0.7 東大和市中央*0.7 西東京市中町*0.6 東京練馬区東大泉*0.6 東京千代田区大手町*0.5 神奈川県 2 相模原緑区中野*2.3 厚木市中町*2.1 山北町山北*2.0 横浜旭区川井宿町*1.7 清川村煤ヶ谷*1.7 愛川町角田*1.6 松田町松田惣領*1.6 秦野市曾屋*1.5 相模原緑区久保沢*1.5 三浦市城山町*1.5 湯河原町中央*1.5 南足柄市関本*1.5 中井町比奈窪*1.5 1 海老名市大谷*1.4 大磯町月京*1.4 小田原市荻窪*1.4 綾瀬市深谷中*1.3 二宮町中里*1.3 秦野市平沢*1.3 相模原中央区中央*1.3 相模原南区磯部*1.3 相模原緑区小淵*1.3 相模原緑区与瀬*1.3 横浜瀬谷区三ツ境*1.3 横浜戸塚区鳥が丘*1.2 横浜瀬谷区中屋敷*1.2 平塚市浅間町*1.2 横浜神奈川区神大寺*1.2 横浜中区山手町*1.2 相模原緑区橋本*1.2 横浜泉区岡津町*1.1 寒川町宮山*1.1 伊勢原市伊勢原*1.1 神奈川大井町金子*1.1 開成町延沢*1.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎*1.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.0 横浜磯子区磯子*1.0 川崎麻生区片平*1.0 横浜緑区十日市場町*1.0 横浜旭区今宿東町*0.9 箱根町湯本*0.9 藤沢市大庭*0.9 藤沢市長後*0.8 小田原市久野*0.8 川崎中原区小杉町*0.8 大和市下鶴間*0.8 横須賀市光の丘*0.8 横浜旭区上白根町*0.8 鎌倉市御成町*0.7 横浜港南区野庭町*0.7 横浜金沢区白帆*0.7 相模原緑区若柳*0.6 横浜青葉区榎が丘*0.5 長野県 2 小海町豊里*1.9 佐久市下小田切*1.5 伊那市高遠町荊口*1.5 1 佐久市中込*1.3 佐久市臼田*1.3 立科町芦田*1.3 木曾町日義*1.3 茅野市葛井公園*1.1 長野南牧村海ノ口*1.1 北相木村役場*1.1 東御市*1.1 青木村田沢青木*1.0 木曾町新開*1.0 諏訪市湖岸通り*1.0 佐久市望月*1.0 長野川上村大深山*1.0 南箕輪村役場*0.9 上田市築地*0.9 小諸市文化センター*0.9 南相木村見上*0.9 木曾町開田高原西野*0.8 上田市下武石*0.8 佐久穂町高野町*0.7 塩尻市櫛川保育園*0.7 木曾町三岳*0.7 原村役場*0.6 王滝村鈴ヶ沢*0.6 松本市奈川*0.6 上田市大手*0.5 筑北村坂井*0.5 静岡県 2 小山町須走*2.0 富士宮市弓沢町*1.7 富士宮市野中*1.7 小山町藤曲*1.7 富士市吉永*1.6 1 沼津市西間門*1.4 富士市大淵*1.4 御殿場市葉黄沢*1.3 沼津市原*1.2 三島市東本町*1.2 長泉町土狩*1.1 沼津市御幸町*1.0 沼津市高島本町*1.0 三島市大社町*1.0 御殿場市萩原*1.0 伊豆の国市長岡*0.9 沼津市戸田*0.9 御殿場市籠*0.9 函南町平井*0.8 裾野市佐野*0.8 静岡清水町堂庭*0.8 松崎町江奈*0.7 裾野市石脇*0.5 熱海市泉*0.5 東伊豆町奈良本*0.5 静岡清水区蒲原新栄*0.5				

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
3	1 11 48	群馬県 1 群馬上野村川和* 群馬南牧村大日向*	35° 29.6' N	138° 57.7' E	23km	M: 2.6
4	1 12 29	山梨県 1 富士河口湖町船津	29° 47.8' N	129° 55.0' E	4km	M: 1.8
5	1 20 42	十勝地方中部 北海道 1 浦幌町桜町*	42° 41.8' N	143° 21.5' E	105km	M: 3.3
6	1 20 43	山梨県 1 富士河口湖町船津	35° 27.4' N	138° 56.5' E	24km	M: 2.7
7	2 06 50	愛媛県 1 宇和島市丸穂*	33° 43.8' N	132° 49.3' E	40km	M: 3.1
8	2 08 39	沖縄県 1 座間味村座間味* 国頭村辺土名* 国頭村奥	26° 25.9' N	125° 37.8' E	143km	M: 4.7
9	2 19 00	根室半島南東沖 北海道 1 根室市落石東* 根室市瑠璃瑠*	43° 13.6' N	146° 30.4' E	55km	M: 3.9
10	3 01 14	石川県 1 輪島市鳳至町	37° 19.4' N	136° 45.8' E	5km	M: 2.8
11	3 15 59	和歌山県 1 紀の川市貴志川町神戸*	34° 12.4' N	135° 18.8' E	5km	M: 2.3
12	3 20 10	鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*	29° 23.5' N	129° 39.7' E	5km	M: -. -
13	3 20 10	宮城県 1 石巻市桃生町*	38° 20.7' N	141° 40.8' E	53km	M: 3.5
14	3 20 25	岩手県 1 一関市千厩町*	38° 25.7' N	141° 46.7' E	55km	M: 3.5
15	3 21 46	鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*	29° 24.6' N	129° 36.4' E	0km	M: -. -
16	3 23 04	鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*	29° 25.3' N	129° 35.9' E	0km	M: 1.9
17	3 23 07	鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*	29° 25.4' N	129° 35.4' E	0km	M: 1.7
18	4 00 22	鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*	29° 25.2' N	129° 35.9' E	7km	M: 1.7
19	4 04 44	鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*	29° 24.7' N	129° 36.4' E	7km	M: 1.9
20	4 06 31	茨城県 1 日立市助川小学校* 水戸市千波町* 水戸市栗崎町*	36° 33.8' N	141° 01.2' E	22km	M: 3.5
21	4 09 02	鹿児島県 1 屋久島町尾之間* 屋久島町平内* 鹿児島十島村口之島出張所* 中種子町野間* 屋久島町宮之浦*	30° 00.3' N	130° 32.3' E	18km	M: 4.2
22	4 18 49	福島県 2 檜葉町北田* 1 富岡町本岡* 福島広野町下北迫大谷地原* 大熊町大川原* いわき市三和町* 田村市都路町* 南相馬市原町区高見町*	37° 46.3' N	141° 50.0' E	44km	M: 4.1
23	5 12 46	福島県 1 檜枝岐村上河原*	37° 02.2' N	139° 21.2' E	7km	M: 1.9
24	5 23 20	鹿児島県 1 霧島市横川町中ノ*	31° 53.9' N	130° 50.6' E	3km	M: 2.2
25	6 09 55	岩手県 1 岩手県沖	39° 14.6' N	142° 07.3' E	58km	M: 2.9

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
26	6 15 02	岩手県 1 大槌町上町*0.8 宮崎県南部山沿い 31° 58.5' N 130° 52.6' E 0km M: 3.0 宮崎県 2 小林市真方=1.9 高原町西麓*1.7 1 小林市野尻町東麓*1.1 小林市役所*1.0 えびの市加久藤*0.8 熊本県 1 人吉市蟹作町*0.5				
27	6 16 09	鹿児島県薩摩地方 31° 54.2' N 130° 51.2' E 4km M: 2.2 鹿児島県 1 霧島市横川町中ノ*1.2				
28	6 20 23	福島県沖 37° 07.5' N 141° 42.6' E 41km M: 4.0 福島県 1 白河市新白河*0.8 茨城県 1 笠間市石井*0.5				
29	6 22 12	青森県下北地方 41° 17.4' N 141° 17.7' E 8km M: 1.8 青森県 1 東通村砂子又沢内*0.9				
30	7 17 20	栃木県南部 36° 41.8' N 140° 11.6' E 112km M: 3.4 福島県 1 浅川町浅川*0.5				
31	7 22 42	東海道南方沖 32° 15.7' N 137° 53.1' E 399km M: 5.3 茨城県 2 笠間市石井*1.5 1 茨城古河市下大野*1.4 日立市助川小学校*1.3 笠間市笠間*1.3 水戸市内原町*1.3 筑西市舟生=1.2 笠間市中央*1.1 桜川市岩瀬*1.1 桜川市真壁*1.1 茨城町小堤*1.1 小美玉市上玉里*1.1 日立市十王町友部*1.1 石岡市柿岡=1.1 つくば市小茎*1.1 坂東市岩井=1.1 東海村東海*1.0 常陸大宮市野口*1.0 小美玉市小川*1.0 小美玉市堅倉*1.0 土浦市常名=1.0 土浦市藤沢*1.0 石岡市若宮*1.0 石岡市石岡*1.0 取手市寺田*1.0 高萩市安良川*1.0 筑西市門井*1.0 つくばみらい市福田*1.0 城里町石塚*0.9 桜川市羽田*0.9 大子町池田*0.8 常陸大宮市北町*0.8 石岡市八郷*0.8 筑西市二木成*0.8 水戸市千波町*0.7 笠間市下郷*0.7 ひたちなか市南神敷台*0.7 日立市役所*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.6 常陸大宮市山方*0.6 常陸太田市町屋*0.6 つくば市天王台*0.6 水戸市金町=0.5 栃木県 2 宇都宮市明保野町=2.1 高根沢町石末*1.6 下野市田中*1.5 鹿沼市晃望台*1.5 1 下野市笹原*1.4 栃木市岩舟町静*1.3 壬生町壬生甲*1.3 宇都宮市中岡本町*1.2 宇都宮市中里町*1.1 栃木市大平町富田*1.1 佐野市高砂町*1.1 益子町益子=1.1 野木町丸林*1.1 大田原市湯津上*1.0 佐野市葛生東*1.0 真岡市石島*1.0 芳賀町祖母井*1.0 佐野市田沼町*0.9 鹿沼市口栗野*0.9 栃木市藤岡町藤岡*0.9 佐野市中町*0.9 真岡市荒町*0.8 茂木町茂木*0.8 栃木市旭町=0.8 小山市中央町*0.8 真岡市田町*0.8 栃木市西方町本城*0.7 日光市芹沼*0.7 宇都宮市旭*0.7 日光市鬼怒川温泉大原*0.6 栃木那珂川町小川*0.6 宇都宮市埴田*0.5 日光市足尾町中才*0.5 千葉県 2 市川市大町*1.5 1 木更津市富士見*1.1 野田市鶴奉*1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.0 白井市復*1.0 勝浦市墨名=1.0 君津市久留里市場*0.9 勝浦市新宮*0.8 鴨川市横渚*0.8 東金市日吉台*0.8 千葉中央区中央港=0.8 鴨川市八色=0.7 長南町総合グラウンド=0.7 千葉花見川区花島町*0.7 千葉美浜区ひび野=0.7 浦安市日の出=0.7 館山市長須賀=0.7 多古町多古=0.6 一宮町一宮=0.6 山武市蓮沼ニ*0.6 市川市本行徳*0.5 東金市東新宿=0.5 東京都 2 東京千代田区大手町=1.7 1 東京練馬区豊玉北*1.2 東京北区西ヶ原*1.1 調布市西つつじヶ丘*1.1 西東京市中町*1.1 東京練馬区東大泉*1.0 東京世田谷区世田谷*0.9 東京世田谷区三軒茶屋*0.9 東京渋谷区本町*0.9 東京荒川区東尾久*0.9 東京足立区神明南*0.9 東京江戸川区船堀*0.9 東京千代田区富士見*0.8 東京中央区勝どき*0.8 東京港区海岸=0.8 東京文京区本郷*0.8 東京江東区森下*0.8 東京渋谷区宇田川町*0.8 東京中野区中野*0.8 東京江戸川区中央=0.8 東京港区白金*0.7 東京新宿区歌舞伎町*0.7 東京新宿区百人町*0.7 東京品川区平塚*0.7 東京練馬区光が丘*0.7 東京新宿区上落合*0.6 東京文京区スポーツセンタ*0.6 東京文京区大塚*0.6 東京大田区多摩川*0.6 東京荒川区荒川*0.6 東京板橋区相生町*0.6 東京葛飾区立石*0.6 東京千代田区麴町*0.6 東京世田谷区成城*0.5 東京港区南青山*0.5 東京足立区伊興*0.5 東京葛飾区金町*0.5 東京江戸川区鹿骨*0.5 東京江東区青海=0.5 国分寺市戸倉=0.5 東京国際空港=0.5 宮城県 1 岩沼市桜*1.0 大崎市田尻*0.7 福島県 1 玉川村小高*1.4 大熊町大川原*1.3 双葉町長塚*1.2 浪江町幾世橋=1.2 田村市大越町*1.1 古殿町松川新桑原*1.0 白河市東*1.0 南相馬市鹿島区西町*1.0 田村市滝根町*1.0 いわき市三和町=1.0 榎葉町北田*1.0 川内村上川内早渡*1.0 田村市都路町*0.9 いわき市錦町*0.9 須賀川市八幡山*0.8 白河市新白河*0.8 田村市常葉町*0.8 浅川町浅川*0.7 棚倉町棚倉中居野=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*0.7 葛尾村落合落合*0.6 田村市船引町=0.6 川内村上川内小山平*0.6 矢祭町東館*0.6 郡山市湖南町*0.5 いわき市小名浜=0.5 群馬県 1 渋川市吹屋*1.2 桐生市黒保根町*1.1 邑楽町中野*1.0 渋川市赤城町*0.9 板倉町板倉=0.9 千代田町赤岩*0.7 大泉町日の出*0.7 沼田市白沢町*0.6 沼田市西倉内町=0.5 桐生市元宿町*0.5 埼玉県 1 春日部市粕壁*1.3 熊谷市大里*1.1 加須市大利根*1.1 さいたま北区宮原*1.1 春日部市金崎*1.0 さいたま大宮区天沼町*1.0 さいたま大宮区大門*0.9 久喜市下早見=0.9 春日部市谷原新田*0.9 宮代町笠原*0.9 和光市広沢*0.8 川島町下八ツ林*0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 さいたま南区別所*0.8 さいたま緑区中尾*0.8 新座市野火止*0.7 幸手市東*0.7 岡岡市千駄野*0.7 川口市中青木分室*0.7 川口市安行領家*0.7				

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		狭山市入間川*0.7 越谷市越ヶ谷*0.7 上尾市本町*0.6 桶川市泉*0.6 行田市南河原*0.6 吉川市きよみ野*0.6 加須市騎西*0.6 加須市北川辺*0.6 東松山市松葉町*0.6 鴻巣市中央*0.6 吉見町下細谷*0.6 川越市旭町=0.6 八潮市中央*0.5 富士見市鶴馬*0.5 三郷市中央*0.5 伊奈町中央*0.5 鴻巣市吹上富士見*0.5 久喜市菖蒲*0.5 久喜市栗橋*0.5 さいたま見沼区堀崎*0.5 朝霞市本町*0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=1.0 川崎宮前区宮前平*1.0 川崎川崎区宮前町*0.9 川崎中原区小杉町*0.8 三浦市城山町*0.7				
32	7 23 01	宮古島近海 沖縄県 2 宮古島市下地*2.0 宮古島市上野支所*1.7 宮古島市平良下里=1.5 1 宮古島市城辺福北=1.3 宮古島市平良池間=1.3 宮古島市平良西里*1.3 宮古島市平良狩俣*1.2 宮古島市城辺福西*1.0 宮古島市伊良部前里添=1.0 宮古島市下地島空港*1.0 多良間村塩川=0.9 宮古島市上野新里=0.8	24° 49.8' N	125° 22.8' E	48km	M: 4.2
33	8 00 16	熊本県球磨地方 熊本県 1 球磨村渡*1.3 五木村甲*0.5	32° 20.6' N	130° 40.2' E	10km	M: 2.9
34	8 07 29	石川県能登地方 石川県 2 志賀町富来領家町=1.8 志賀町香能*1.6 1 輪島市門前町走出*0.7 輪島市鳳至町=0.5	37° 10.1' N	136° 44.8' E	5km	M: 3.3
35	8 07 51	三陸沖 岩手県 2 盛岡市薮川*1.6 1 宮古市田老*1.4 盛岡市洪民*1.1 宮古市五月町*1.0 二戸市浄法寺町*1.0 八幡平市田頭*1.0 八幡平市野駄*1.0 矢巾町南矢幅*1.0 花巻市東和町*1.0 山田町大沢*0.8 花巻市大迫町=0.8 釜石市中妻町*0.8 盛岡市山王町=0.7 遠野市青笹町*0.7 宮古市鉾ヶ崎=0.6 花巻市石鳥谷町*0.5 北海道 青森県 1 函館市泊町*0.6 1 青森南部町苫米地*1.2 五戸町古館=1.2 八戸市南郷*1.1 階上町道仏*1.0 八戸市湊町=0.9 七戸町森ノ上*0.9 青森南部町平*0.9 東北町上北南*0.8 おいらせ町中下田*0.7 三戸町在府小路町*0.7 八戸市内丸*0.6 三沢市桜町*0.6 東通村砂子又沢内*0.5 六戸町大落瀬*0.5 むつ市大畑町中島*0.5	39° 51.5' N	143° 09.4' E	18km	M: 4.7
36	8 10 41	福島県沖 宮城県 2 亘理町悠里*1.7 石巻市桃生町*1.6 山元町浅生原*1.6 宮城川崎町前川*1.5 岩沼市桜*1.5 1 角田市角田*1.4 柴田町船岡=1.4 宮城美里町木間塚*1.3 仙台青葉区作並*1.3 石巻市大街道南*1.3 石巻市北上町*1.3 大崎市鹿島台*1.2 松島町高城=1.2 大崎市田尻*1.2 栗原市築館*1.2 大河原町新南*1.1 東松島市小野*1.1 涌谷町新町裏=1.1 登米市南方町*1.0 蔵王町円田*1.0 登米市豊里町*1.0 名取市増田*1.0 仙台空港=0.9 大崎市古川旭*0.9 東松島市矢本*0.9 丸森町上滝=0.9 七ヶ浜町東宮浜*0.9 大衡村大衡*0.9 登米市中田町=0.9 大崎市松山*0.8 仙台宮城野区五輪=0.8 石巻市泉町=0.8 登米市東和町*0.8 石巻市雄勝町*0.8 塩竈市今宮町*0.8 多賀城市中央*0.8 栗原市瀬峰*0.8 登米市迫町*0.8 登米市米山町*0.8 利府町利府*0.8 大郷町粕川*0.8 栗原市志波姫*0.8 女川町女川*0.8 大崎市古川三日町=0.8 栗原市一迫*0.8 丸森町鳥屋*0.8 仙台若林区遠見塚*0.7 登米市石越町*0.7 大崎市三本木*0.7 村田町村田*0.7 石巻市前谷地*0.7 栗原市栗駒=0.7 栗原市金成*0.7 仙台青葉区大倉=0.7 大崎市古川大崎=0.7 栗原市高清水*0.6 白石市亘理町*0.6 仙台宮城野区苦竹*0.5 仙台青葉区雨宮*0.5 石巻市鮎川浜*0.5 福島県 2 檜葉町北田*2.4 田村市都路町*2.2 大熊町大川原*2.0 双葉町長塚*2.0 浪江町幾世橋=1.9 相馬市中村*1.8 田村市常葉町*1.7 国見町藤田*1.6 福島伊達市霊山町*1.5 福島広野町下北迫大谷地原*1.5 南相馬市原町区高見町*1.5 1 二本松市油井*1.4 田村市船引町=1.4 福島伊達市梁川町*1.4 いわき市平四ツ波*1.4 富岡町本岡*1.4 新地町谷地小屋*1.4 玉川村小高*1.3 田村市大越町*1.3 いわき市三和町=1.3 いわき市平梅本*1.3 白河市新白河*1.3 須賀川市岩瀬支所*1.3 飯館村伊丹沢*1.3 二本松市金色*1.2 本宮市白岩*1.2 桑折町谷地*1.2 泉崎村泉崎*1.2 福島広野町下北迫苗代替*1.2 小野町小野新町*1.1 二本松市針道*1.1 川俣町五百田*1.1 川内村下川内=1.1 川内村上川内早渡*1.1 大熊町野上*1.1 福島伊達市月館町*1.1 南相馬市原町区三島町=1.1 田村市滝根町*1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 本宮市本宮*1.0 天栄村下松本*1.0 南相馬市鹿島区西町*1.0 福島伊達市前川原*0.9 福島伊達市保原町*0.9 いわき市錦町*0.9 鏡石町不時沼*0.9 福島市花園町=0.9 福島市桜木町*0.9 福島市飯野町*0.9 浅川町浅川*0.9 福島市五老内町*0.9 白河市郭内=0.9 須賀川市八幡山*0.9 南相馬市小高区*0.9 大玉村玉井*0.8 葛尾村落合落合*0.8 古殿町松川新桑原*0.8 小野町中通*0.8 南相馬市鹿島区栴窪=0.8 石川町長久保*0.7 須賀川市八幡町*0.7 川内村上川内小山平*0.7 大玉村南小屋=0.7 郡山市朝日=0.7 郡山市湖南町*0.7 いわき市小名浜=0.6 矢祭町戸塚*0.6 岩手県 1 一関市室根町*0.9 一関市千厩町*0.8 住田町世田米*0.8 一関市東山町*0.7 一関市藤沢町*0.7 一関市大東町=0.5 茨城県 1 笠間市石井*0.9 日立市助川小学校*0.7 水戸市内原町*0.6 笠間市笠間*0.6 常陸大宮市野口*0.6 桜川市岩瀬*0.6 東海村東海*0.5 土浦市常名=0.5 桜川市真壁*0.5 北茨城市磯原町*0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.6	37° 30.7' N	141° 53.3' E	55km	M: 4.6
37	8 11 08	三陸沖 岩手県 1 宮古市田老*0.7 盛岡市薮川*0.5	39° 51.5' N	143° 09.9' E	18km	M: 4.6

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
38	8 14 21	石川県能登地方 石川県 1 志賀町香能*1.4 志賀町富来領家町=0.9	37° 10.3' N	136° 41.7' E	8km	M: 3.2
39	8 16 04	伊予灘 広島県 1 呉市川尻町*1.2 呉市安浦町*0.7 呉市二河町*0.6 愛媛県 1 西予市三瓶町*1.0 八幡浜市五反田*0.8 宇和島市三間町*0.7 大洲市長浜*0.6 大洲市肱川町*0.6 山口県 1 周防大島町西安下庄*1.0 周防大島町久賀*0.6	33° 40.2' N	132° 19.2' E	49km	M: 3.6
40	8 19 03	群馬県南部 栃木県 1 日光市足尾町中才*1.2 群馬県 1 みどり市東町*0.9	36° 35.9' N	139° 22.3' E	5km	M: 3.0
41	8 21 23	福島県浜通り 福島県 2 古殿町松川横川=1.5 1 古殿町松川新桑原*1.1 いわき市三和町=1.0 棚倉町棚倉中居野=0.9 浅川町浅川*0.8 いわき市錦町*0.8 川内村下川内=0.8 田村市都路町*0.8 白河市新白河*0.7 福島広野町下北迫大谷地原*0.6 玉川村小高*0.6 茨城県 1 北茨城市磯原町*1.1 日立市助川小学校*0.7 北茨城市中郷町*0.6	36° 59.7' N	140° 38.6' E	19km	M: 3.7
42	9 00 23	広島県南東部 岡山県 1 真庭市禾津*0.8 高梁市備中町*0.5 広島県 1 神石高原町油木*1.3 広島府中市上下町上下*0.6 神石高原町小島*0.5	34° 35.9' N	133° 15.3' E	17km	M: 3.2
43	9 04 00	福島県沖 宮城県 1 角田市角田*0.5	37° 50.5' N	141° 36.3' E	49km	M: 3.5
44	9 15 47	奄美大島北東沖 鹿児島県 2 鹿児島十島村諏訪之瀬島*1.8 鹿児島十島村悪石島*1.7 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5	29° 15.8' N	130° 31.2' E	45km	M: 4.4
45	9 15 54	日向灘 宮崎県 2 国富町本庄*1.5 1 宮崎市松橋*1.4 宮崎市霧島=1.2 宮崎美郷町田代*1.2 綾町役場*1.1 川南町川南*1.0 宮崎市田野町体育館*0.9 宮崎市高岡町内山*0.9 西都市上の宮*0.9 都城市山之口町花木*0.9 高鍋町上江*0.8 日南市南郷町南町*0.8 小林市真方=0.8 綾町南俣健康センター*0.7 日南市油津=0.7 小林市野尻町東麓*0.7 西都市聖陵町*0.6 新富町上富田=0.5 宮崎都農町役場*0.5 高千穂町三田井=0.5	31° 45.1' N	131° 57.4' E	26km	M: 4.2
46	9 16 17	青森県三八上北地方 青森県 2 青森南部町苫米地*1.6 八戸市南郷*1.6 1 階上町道仏*1.3 青森南部町平*1.3 八戸市湊町=1.2 三戸町在府小路町*1.2 五戸町古館=1.1 東北町上北南*1.0 おいらせ町中下田*0.9 七戸町森ノ上*0.8 八戸市内丸*0.8 おいらせ町上明堂*0.6 八戸市島守=0.6 五戸町倉石中市*0.5 岩手県 2 野田村野田*1.9 久慈市枝成沢=1.8 宮古市田老*1.8 1 一戸町高善寺*1.4 宮古市区界*1.3 大槌町上町*1.1 盛岡市薮川*1.1 軽米町軽米*1.1 遠野市青笹町*1.1 久慈市川崎町=1.0 釜石市中妻町*0.9 宮古市川井*0.9 宮古市茂市*0.9 宮古市鉾ヶ崎=0.9 岩手洋野町種市=0.9 盛岡市山王町=0.8 二戸市福岡=0.8 住田町世田米*0.8 花巻市大迫町=0.8 普代村銅屋*0.8 宮古市五月町*0.7 山田町大沢*0.7 大船渡市大船渡町=0.7 二戸市石切所*0.7 一関市千厩町*0.7 田野畑村田野畑=0.6 九戸村伊保内*0.6 八幡平市田頭*0.6 岩手洋野町大野*0.5 一関市大東町=0.5	40° 19.8' N	141° 06.9' E	105km	M: 4.1
47	9 16 26	能登半島沖 石川県 1 志賀町富来領家町=0.7 志賀町香能*0.5	37° 08.4' N	136° 41.9' E	4km	M: 1.8
48	9 16 56	日向灘 宮崎県 1 西都市上の宮*0.6 国富町本庄*0.5	31° 45.5' N	131° 57.8' E	26km	M: 3.8
49	10 00 35	大阪府北部 大阪府 1 島本町若山台*0.6	34° 54.4' N	135° 36.9' E	6km	M: 2.0
50	10 03 49	日向灘 宮崎県 1 宮崎市松橋*1.3 宮崎市霧島=1.2 国富町本庄*1.1 宮崎市高岡町内山*0.9 宮崎美郷町田代*0.9 小林市真方=0.9 日南市北郷町郷之原*0.8 宮崎市田野町体育館*0.8 綾町役場*0.8 都城市山之口町花木*0.8 高鍋町上江*0.8 日南市南郷町南町*0.7 高千穂町三田井=0.7 日南市油津=0.6 西都市上の宮*0.6 綾町南俣健康センター*0.6 新富町上富田=0.5	31° 45.0' N	131° 56.4' E	25km	M: 4.1
51	10 06 32	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町久部良=1.4 与那国町役場*1.0 与那国町祖納=0.6	24° 19.6' N	123° 00.8' E	47km	M: 4.1
52	10 08 14	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 霧島市横川町中ノ*1.2 霧島市霧島田口*0.5	31° 54.2' N	130° 50.9' E	3km	M: 2.3

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
53	10 12 27	宮崎県南部山沿い 宮崎県 鹿児島県	31° 58.5' N	130° 52.6' E	0km	M: 3.1
		2 小林市真方=1.8 高原町西麓*=1.6 1 小林市役所*=1.1 小林市野尻町東麓*=0.9 都城市山田町山田*=0.7 霧島市横川町中ノ*=0.6				
54	12 01 04	釧路沖 北海道	42° 53.8' N	145° 30.4' E	39km	M: 4.3
		2 根室市厚床*=2.2 根室市瑤瑤瑠*=2.1 浜中町茶内*=2.0 根室市牧の内*=1.9 根室市落石東*=1.8 浜中町湯沸=1.6 1 根室市弥栄=1.2 標津町北2条*=0.8 標茶町塘路*=0.8 別海町本別海*=0.7 別海町常盤=0.7 根室市豊里=0.7				
55	12 10 59	伊予灘 愛媛県	33° 37.5' N	132° 20.5' E	48km	M: 3.9
		2 八幡浜市五反田*=1.9 伊方町湊浦*=1.7 1 宇和島市丸穂*=1.4 宇和島市三間町*=1.4 大洲市大洲*=1.4 久万高原町久万*=1.1 内子町内子*=1.1 内子町平岡*=1.1 西予市野村町=1.1 西予市明浜町*=1.1 大洲市肱川町*=1.1 八幡浜市保内町*=1.0 今治市菊間町*=1.0 八幡浜市広瀬=0.9 今治市大西町*=0.9 大洲市長浜*=0.8 西予市三瓶町*=0.8 松山市北条辻*=0.8 愛媛鬼北町近永*=0.8 内子町小田*=0.8 伊予市下吾川*=0.6 西条市丹原町鞍瀬=0.6 愛媛鬼北町下鍵山*=0.6 大洲市河辺町*=0.6 西予市宇和町*=0.6 今治市南宝来町二丁目=0.5 松野町松丸*=0.5 松山市北持田町=0.5 宇和島市吉田町*=0.5 広島県 高知県 山口県 大分県 1 呉市安浦町*=0.9 呉市二河町*=0.7 呉市広*=0.7 呉市川尻町*=0.7 呉市音戸町*=0.6 1 宿毛市桜町*=0.6 1 周防大島町久賀*=1.3 周防大島町東和総合支所*=0.8 周防大島町平野*=0.5 周防大島町西安下庄*=0.5 防府市西浦*=0.5 1 臼杵市臼杵*=0.6 大分市佐賀関*=0.5				
56	12 11 43	千葉県北東部 千葉県	35° 27.6' N	140° 24.2' E	32km	M: 4.0
		2 東金市東岩崎*=2.3 千葉若葉区野呂町*=2.3 大網白里市大網*=2.2 東金市東新宿=2.2 東金市日吉台*=1.9 山武市松尾町富士見台=1.8 山武市埴谷*=1.8 一宮町一宮=1.7 山武市蓮沼ハ*=1.7 千葉緑区おゆみ野*=1.7 横芝光町栗山*=1.6 白子町関*=1.6 山武市蓮沼ニ*=1.6 長南町総合グラウンド=1.6 九十九里町片貝*=1.5 1 山武市殿台*=1.4 山武市松尾町五反田*=1.4 千葉中央区中央港=1.4 横芝光町宮川*=1.3 茂原市道表*=1.3 長生村本郷*=1.3 長柄町桜谷*=1.3 千葉若葉区小倉台*=1.3 芝山町小池*=1.2 市原市国分寺台中央*=1.0 八街市八街*=1.0 千葉稲毛区園生町*=0.9 長南町長南*=0.9 匝瑳市今泉*=0.9 睦沢町下之郷*=0.9 市川市大町*=0.8 成田市中台*=0.8 いすみ市国府台*=0.8 木更津市富士見*=0.7 いすみ市岬町長者*=0.7 香取市仁良*=0.6 千葉美浜区稲毛海岸*=0.5				
57	12 13 08	浦河沖 北海道	41° 56.1' N	142° 20.0' E	68km	M: 3.5
		1 新ひだか町静内山手町=0.6 安平町追分柏が丘*=0.5 厚真町鹿沼=0.5				
58	12 20 08	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 49.6' N	142° 13.3' E	47km	M: 3.8
		1 一関市室根町*=1.4 大船渡市猪川町=1.3 大船渡市大船渡町=1.3 陸前高田市高田町*=1.0 住田町世田米*=1.0 一関市千厩町*=0.9 一関市藤沢町*=0.5 1 気仙沼市笹が陣*=1.3 気仙沼市赤岩=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.8 石巻市桃生町*=0.6				
59	12 22 40	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 55.4' N	130° 02.4' E	13km	M: 2.3
		1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.8				
60	12 22 59	父島近海 東京都	27° 30.6' N	142° 21.7' E	41km	M: 4.5
		1 小笠原村父島三日月山=0.8 小笠原村父島西町=0.7				
61	13 02 39	日向灘 宮崎県	31° 44.4' N	131° 54.7' E	26km	M: 3.8
		1 宮崎市松橋*=0.7 宮崎市霧島=0.6				
62	13 03 39	茨城県北部 茨城県	36° 42.9' N	140° 36.1' E	8km	M: 2.6
		1 日立市助川小学校*=0.8				
63	13 04 18	茨城県南部 栃木県 茨城県 群馬県 埼玉県 千葉県	36° 05.3' N	139° 52.1' E	47km	M: 3.4
		2 宇都宮市明保野町=1.8 下野市田中*=1.5 1 壬生町壬生甲*=1.4 下野市笹原*=1.4 佐野市高砂町*=0.9 益子町益子=0.9 栃木市旭町=0.9 栃木市岩舟町静*=0.9 小山市中央町*=0.8 栃木市藤岡町藤岡*=0.8 宇都宮市中里町*=0.8 真岡市石島*=0.7 鹿沼市晃望台*=0.7 上三川町しらさぎ*=0.6 佐野市葛生東*=0.6 栃木市西方町本城*=0.6 宇都宮市旭*=0.5 佐野市田沼町*=0.5 佐野市中町*=0.5 宇都宮市塙田*=0.5 1 笠間市笠間*=1.0 笠間市石井*=0.9 坂東市山*=0.9 筑西市門井*=0.9 筑西市海老ヶ島*=0.8 桜川市岩瀬*=0.7 大子町池田*=0.7 筑西市二木成*=0.7 常陸大宮市北町*=0.6 坂東市役所*=0.6 結城市中央町*=0.6 境町旭町*=0.5 土浦市藤沢*=0.5 水戸市内原町*=0.5 筑西市舟生=0.5 桜川市真壁*=0.5 1 板倉町板倉=1.1 群馬明和町新里*=0.7 桐生市元宿町*=0.5 邑楽町中野*=0.5 1 久喜市下早見=1.1 宮代町笠原*=1.1 熊谷市江南*=0.9 加須市騎西*=0.8 久喜市鷲宮*=0.7 加須市大利根*=0.6 東松山市松葉町*=0.6 白岡市千駄野*=0.5 1 野田市鶴奉*=0.5 野田市東宝珠花*=0.5				

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
64	13 17 04	種子島近海 鹿児島県 1 屋久島町尾之間*0.5	30° 00.6' N	130° 32.1' E	18km	M: 3.4
65	14 02 39	山梨県東部・富士五湖 神奈川県 1 山北町山北*0.9 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.8 大月市御太刀*0.6 丹波山村丹波*0.6 西桂町小沼*0.5	35° 28.6' N	138° 57.1' E	20km	M: 3.2
66	14 06 59	岩手県内陸北部 岩手県 1 盛岡市藪川*0.8 葛巻町葛巻元木=0.8 盛岡市洪民*0.6 山田町大沢*0.6 釜石市中妻町*0.5	39° 48.3' N	141° 19.1' E	89km	M: 3.6
67	14 08 03	種子島南東沖 鹿児島県 3 南種子町中之上*2.8 屋久島町平内=2.8 錦江町田代支所*2.6 屋久島町尾之間*2.6 屋久島町宮之浦*2.6 鹿児島十島村口之島出張所*2.5 南種子町西之*2.5 肝付町新富*2.5 鹿児島十島村諏訪之瀬島*2.4 屋久島町口永良部島公民館*2.4 南さつま市大浦町*2.3 大崎町仮宿*2.3 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.3 中種子町野間*2.3 三島村竹島*2.2 鹿屋市新栄町=2.2 南さつま市金峰町尾下*2.2 錦江町城元*2.1 鹿屋市串良町岡崎*2.1 南種子町中之下=2.1 東串良町川西*2.1 鹿屋市礼元*2.0 西之表市住吉=2.0 鹿児島十島村悪石島*1.9 屋久島町小瀬田=1.9 鹿屋市吾平町麓*1.9 西之表市西之表=1.8 指宿市開闢十町*1.8 指宿市山川新生町=1.8 錦江町田代麓=1.7 鹿児島市東郡元=1.7 南大隅町佐多伊座敷*1.6 鹿児島市桜島赤水新島*1.6 鹿児島十島村中之島出張所*1.6 鹿児島市喜入町*1.6 指宿市十町*1.6 南九州市穎娃町牧之内*1.6 南大隅町根占*1.5 曾於市末吉町二之方*1.5 西之表市役所*1.5 志布志市志布志町志布志=1.5 霧島市福山町牧之原*1.5 1 薩摩川内市神田町*1.4 鹿屋市輝北町上百引*1.4 三島村硫黄島*1.4 いちき串木野市湊町*1.3 南九州市知覧町郡*1.3 始良市蒲生町北*1.3 垂水市田神*1.3 肝付町北方*1.3 鹿児島市祇園之洲町*1.3 三島村黒島*1.3 南九州市川辺町平山*1.2 伊佐市菱刈前目*1.2 鹿児島市上谷口*1.1 曾於市財部町南俣*1.1 南さつま市加世田川畑*1.1 霧島市国分中央*1.1 奄美市名瀬港町=1.1 奄美市笠利町里*1.1 天城町平土野*1.1 鹿児島市本城*1.0 瀬戸内町請島*1.0 瀬戸内町与路島*1.0 枕崎市高見町=0.9 屋久島町口永良部島池田=0.9 南さつま市笠沙町片浦*0.9 曾於市大隅町中之内*0.9 瀬戸内町加計呂麻島*0.8 志布志市有明町野井倉*0.8 阿久根市鶴見町*0.8 日置市吹上町中原*0.8 喜界町滝川=0.7 薩摩川内市中郷=0.7 奄美市住用町西仲間*0.7 鹿児島空港=0.7 宇検村湯湾*0.6 鹿児島市下福元=0.6 枕崎市若葉町*0.5 大和村思勝*0.5 瀬戸内町古仁屋*0.5 伊仙町伊仙*0.5 熊本県 2 西原村小森*1.7 1 熊本美里町永富*0.8 宮崎県 2 宮崎市松橋*2.3 日南市南郷町南町*2.3 串間市役所*2.0 宮崎市高岡町内山*1.9 都城市菖蒲原=1.5 都城市姫城町*1.5 串間市都井*1.5 1 宮崎市霧島=1.4 日南市吾田東*1.4 小林市真方=1.4 高原町西麓*1.4 高千穂町三田井=1.3 日南市中央通*1.3 都城市山田町山田*1.2 都城市山之口町花木*1.2 小林市野尻町東麓*1.2 高鍋町上江*1.1 宮崎市佐土原町下田島*1.0 宮崎美郷町田代*1.0 西都市聖陵町*1.0 国富町本庄*1.0 えびの市加久藤*1.0 三股町五本松*1.0 綾町役場*0.9 宮崎市田野町体育館*0.9 宮崎市清武町船引*0.9 綾町南俣健康センター*0.9 新富町上富田=0.8 日南市北郷町郷之原*0.7 串間市奈留=0.7 椎葉村総合運動公園*0.7 小林市中原*0.6 西都市上の宮*0.6 宮崎都農町役場*0.6 日南市油津=0.6 広島県 1 府中町大通り*0.9 呉市安浦町*0.6 高知県 1 宿毛市桜町*0.5 佐賀県 1 上峰町坊所*0.6 大分県 1 国東市田深*0.6 大分市新春日町*0.6 佐伯市蒲江蒲江浦=0.6	29° 46.0' N	131° 01.6' E	52km	M: 5.7
68	14 08 59	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町久部良=1.2 与那国町祖納=0.9 石垣市新栄町*0.7 竹富町大原=0.5	23° 55.7' N	123° 16.3' E	42km	M: 4.8
69	14 13 46	十勝地方中部 北海道 2 浦幌町桜町*1.6 1 芽室町東2条*1.4 十勝池田町西1条*1.3 新得町2条*1.1 幕別町本町*1.0 帯広市東6条*1.0 幕別町忠類錦町*0.9 豊頃町茂岩本町*0.8 本別町向陽町*0.7 厚真町鹿沼=0.6 帯広市東4条=0.6 平取町振内*0.6 十勝清水町南4条=0.6 本別町北2丁目=0.6 浦河町築地*0.6 標茶町塘路*0.5 青森県 1 八戸市湊町=0.6 階上町道仏*0.5	42° 46.6' N	142° 47.0' E	101km	M: 3.7
70	15 04 40	宮城県沖 岩手県 1 住田町世田米*1.4 一関市大東町=1.3 一関市千厩町*1.3 大船渡市大船渡町=1.3 一関市室根町*1.1 釜石市中妻町*1.0 大船渡市猪川町=1.0 北上市相去町*1.0 一関市藤沢町*1.0 奥州市衣川*1.0 矢巾町南矢幅*0.9 陸前高田市高田町*0.9 釜石市只越町=0.9 一関市東山町*0.8 盛岡市藪川*0.8 奥州市前沢*0.6 奥州市胆沢*0.6 大槌町上町*0.6 北上市柳原町=0.6 平泉町平泉*0.5 遠野市青笹町*0.5 一関市花泉町*0.5 金ヶ崎町西根*0.5 宮城県 1 石巻市桃生町*1.4 気仙沼市唐桑町*1.3 大崎市古川旭*1.1 気仙沼市笹が陣*1.1 石巻市雄勝町*1.1 栗原市栗駒=1.0 石巻市大街道南*1.0 登米市中田町=0.9 気仙沼市赤岩=0.9 大崎市田尻*0.9 石巻市泉町=0.9 涌谷町新町裏=0.9 東松島市小野*0.9 東松島市矢本*0.9 登米市東和町*0.8 登米市南方町*0.8 大崎市古川三日町=0.8 大崎市古川大崎=0.8 登米市米山町*0.7 石巻市北上町*0.7 石巻市鮎川浜*0.7 岩沼市桜*0.6 栗原市築館*0.6 松島町高城=0.6 南三陸町歌津*0.5 大崎市鳴子*0.5 女川町女川*0.5	38° 28.2' N	142° 07.1' E	41km	M: 4.4

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
71	15 05 19	豊後水道 愛媛県 1 宇和島市丸穂*0.5	33° 12.9' N	132° 23.1' E	36km	M: 2.7
72	15 22 18	愛知県西部 愛知県 1 豊田市長興寺*0.8 安城市横山町*0.7 安城市和泉町*0.6 西尾市矢曾根町*0.6 岡崎市檜山町*0.5 幸田町菱池*0.5 碧南市松本町*0.5 豊田市小坂本町=0.5 三重県 1 鈴鹿市西条=0.7 奈良県 1 宇陀市菟田野松井*0.7	34° 52.8' N	136° 53.3' E	41km	M: 3.3
73	16 01 21	石川県能登地方 石川県 2 輪島市鳳至町=2.4 輪島市河井町*2.1 1 能登町宇出津=0.7 穴水町大町*0.6	37° 24.5' N	136° 57.4' E	1km	M: 3.6
74	16 01 23	石川県能登地方 石川県 2 珠洲市正院町*1.7 1 珠洲市大谷町*0.7 能登町松波*0.7 珠洲市三崎町=0.6 輪島市鳳至町=0.5	37° 27.6' N	137° 08.2' E	13km	M: 3.4
75	16 01 51	茨城県南部 茨城県 2 桜川市真壁*1.9 筑西市門井*1.7 かすみがうら市上土田*1.6 稲敷市江戸崎甲*1.6 土浦市常名=1.6 つくば市小笠*1.5 1 笠間市石井*1.4 土浦市藤沢*1.4 石岡市柿岡=1.4 取手市寺田*1.4 取手市井野*1.4 桜川市岩瀬*1.4 笠間市下郷*1.2 笠間市笠間*1.2 つくば市天王台*1.2 守谷市大柏*1.2 石岡市若宮*1.2 常総市新石下*1.2 石岡市八郷*1.2 石岡市石岡*1.2 下妻市本城町*1.2 かすみがうら市大和田*1.1 龍ヶ崎役所*1.1 坂東市山*1.1 つくばみらい市福田*1.1 筑西市海老ヶ島*1.1 水戸市内原町*1.0 筑西市舟生=1.0 茨城古河市下大野*1.0 筑西市二木成*1.0 小美玉市小川*1.0 小美玉市堅倉*1.0 坂東市役所*0.9 茨城古河市仁連*0.9 下妻市鬼怒*0.9 美浦村受領*0.9 常陸大宮市北町*0.9 笠間市中央*0.9 小美玉市上玉里*0.8 坂東市岩井=0.8 牛久市中央*0.8 茨城町小堤*0.8 つくばみらい市加藤*0.8 城里町石塚*0.8 阿見町中央*0.8 常総市水海道諏訪町*0.7 桜川市羽田*0.7 稲敷役所*0.6 利根町布川=0.6 取手市藤代*0.6 城里町徳蔵*0.6 土浦市田中*0.6 水戸市栗崎町*0.5 常陸大宮市山方*0.5 五霞町小福田*0.5 鉾田市鉾田=0.5 水戸市千波町*0.5 結城市中央町*0.5 茨城鹿嶋市鉾形=0.5 栃木県 2 栃木市旭町=1.9 壬生町壬生甲*1.6 1 宇都宮市明保野町=1.2 下野市笹原*1.1 佐野市高砂町*1.1 真岡市石島*1.1 栃木市岩舟町静*1.0 真岡市荒原*1.0 茂木町茂木*0.9 宇都宮市中里町*0.9 真岡市田町*0.9 足利市大正町*0.8 栃木市万町*0.8 芳賀町祖母井*0.8 下野市田中*0.8 日光市鬼怒川温泉大原*0.7 栃木市西方町本城*0.7 栃木市藤岡町藤岡*0.6 日光市足尾町中才*0.6 佐野市葛生東*0.5 日光市黒部*0.5 佐野市田沼町*0.5 小山市中央町*0.5 益子町益子=0.5 群馬県 2 大泉町日の出*1.5 1 邑楽町中野*1.0 板倉町板倉=0.8 渋川市赤城町*0.7 千代田町赤岩*0.6 桐生市黒保根町*0.6 桐生市元宿町*0.5 千葉県 2 白井市復*1.5 1 野田市鶴奉*1.4 八千代市大和田新田*1.4 市川市大町*1.3 柏市柏*1.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.2 松戸市西馬橋*1.1 柏市旭町=1.1 柏市大島田*1.1 浦安市日の出=0.9 千葉花見川区花島町*0.8 習志野市鷺沼*0.8 栄町安食台*0.8 市川市本行徳*0.7 成田市名古屋*0.7 山武市埴谷*0.7 千葉緑区おゆみ野*0.7 印西市大森*0.7 野田市東宝珠花*0.6 千葉美浜区ひび野=0.5 東京都 2 小平市小川町*1.5 1 東京江戸川区船堀*1.2 調布市西つつじヶ丘*1.0 東京千代田区大手町=0.9 東京江東区森下*0.9 東京練馬区豊玉北*0.9 東京渋谷区本町*0.8 東京荒川区東尾久*0.8 東京足立区千住中居町*0.8 東京足立区伊興*0.8 東京江戸川区中央=0.8 東京千代田区富士見*0.7 東京墨田区東向島*0.7 西東京市中町*0.7 東京江東区枝川*0.6 東京世田谷区三軒茶屋*0.6 東京渋谷区宇田川町*0.6 東京足立区神明南*0.6 東京文京区スポーツセンタ*0.5 東京大田区多摩川*0.5 東京板橋区相生町*0.5 東大和市中央*0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*1.2 春日部市粕壁*1.0 幸手市東*1.0 さいたま大宮区天沼町*1.0 さいたま大宮区大門*1.0 久喜市下早見=1.0 さいたま浦和高砂=0.9 さいたま南区別所*0.9 さいたま緑区中尾*0.9 川口市中青木分室*0.9 春日部市谷原新田*0.9 加須市北川辺*0.8 春日部市金崎*0.8 越谷市越ヶ谷*0.8 吉川市きよみ野*0.8 さいたま西区指扇*0.8 さいたま見沼区堀崎*0.8 蕨市中央*0.7 さいたま中央区下落合*0.7 さいたま北区宮原*0.7 八潮市中央*0.6 三郷市中央*0.6 白岡市千駄野*0.6 上尾市本町*0.5 富士見市鶴馬*0.5 加須市騎西*0.5 加須市大利根*0.5 東松山市松葉町*0.5 羽生市東*0.5 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*0.9 横浜港北区日吉本町*0.9 横浜中区山手町=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*0.5	35° 56.0' N	140° 07.8' E	64km	M: 4.1
76	16 02 14	釧路地方中南部 北海道 1 標茶町塘路*1.0 釧路市幸町=0.8 根室市厚床*0.8 鶴居村鶴居東*0.7 根室市牧の内*0.5 厚岸町尾幌=0.5	43° 13.2' N	144° 30.0' E	125km	M: 3.6
77	16 05 15	新島・神津島近海 東京都 1 神津島村金長=0.8 神津島村役場*0.6	34° 01.9' N	138° 58.7' E	11km	M: 3.4

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
78	16 23 13	日向灘 宮崎県	31° 34.4' N	131° 51.0' E	22km	M: 5.3
		3 日南市南郷町南町*3.1 日南市油津=2.6 日南市吾田東*2.6 宮崎市松橋*2.6 2 高鍋町上江*2.4 日南市中央通*2.4 串間市都井*2.4 串間市役所*2.3 宮崎美郷町田代*2.3 宮崎市高岡町内山*2.2 川南町川南*2.1 都城市高崎町大傘田*2.0 宮崎市霧島=1.9 宮崎市田野町体育館*1.9 都城市菖蒲原=1.9 日南市北郷町郷之原*1.9 都城市山之口町花木*1.9 小林市野尻町東麓*1.9 高原町西麓*1.9 西都市聖陵町*1.8 都城市姫城町*1.8 高千穂町三田井=1.8 串間市奈留=1.7 国富町本庄*1.7 小林市真方=1.7 三股町五本松*1.6 宮崎都農町役場*1.6 綾町役場*1.6 宮崎市清武町船引*1.6 門川町平城東*1.6 新富町上富田=1.6 西都市上の宮*1.6 都城市山田町山田*1.5 木城町高城*1.5 椎葉村総合運動公園*1.5 1 宮崎市田野支所*1.4 綾町南保健健康センター*1.4 えびの市加久藤*1.4 宮崎市佐土原町下田島*1.3 延岡市東本小路*1.2 小林市役所*1.1 延岡市天神小路=1.1 延岡市北方町総合支所*1.1 日向市東郷町山陰*1.1 椎葉村下福良*1.0 五ヶ瀬町三ヶ所*1.0 延岡市北方総合運動公園=0.9 延岡市北浦町古江*0.9 小林市中原*0.9 高千穂町寺迫*0.9 宮崎美郷町宇納間*0.8 宮崎美郷町神門*0.7 諸塚村家代*0.7 日向市大王谷運動公園=0.7 日向市富高*0.6 日向市龜崎=0.6 宮崎都農町川北=0.6 日之影町七折*0.6				
		鹿児島県				
		3 鹿屋市新栄町=2.5 大崎町仮宿*2.5 2 肝付町新富*2.4 霧島市国分中央*2.3 鹿屋市串良町岡崎*2.3 錦江町田代支所*2.2 鹿屋市礼元*2.2 霧島市福山町牧之原*2.1 南大隅町根占*2.0 東串良町川西*2.0 志布志市志布志町志布志=2.0 始良市加治木町本町*1.9 鹿屋市輝北町上百引*1.9 鹿屋市吾平町麓*1.9 錦江町城元*1.9 鹿児島市喜入町*1.9 南さつま市金峰町尾下*1.9 鹿児島市桜島赤水新島*1.8 曾於市末吉町二之方*1.7 始良市蒲生町北*1.7 垂水市田神*1.6 指宿市十町*1.6 鹿児島空港=1.6 南大隅町佐多伊座敷*1.6 曾於市大隅町中之内*1.6 錦江町田代麓=1.5 始良市宮島町*1.5 肝付町北方*1.5 鹿児島市東郡元=1.5 志布志市松山町新橋*1.5 1 指宿市山川新生町=1.4 南九州市穎娃町牧之内*1.3 南九州市知覧町郡*1.3 曾於市財部町南俣*1.3 南さつま市大浦町*1.2 伊佐市菱刈前目*1.2 南さつま市加世田川畑*1.1 霧島市横川町中ノ*1.1 志布志市有明町野井倉*1.1 南九州市川辺町平山*1.0 薩摩川内市祁答院町*1.0 日置市吹上町中原*0.9 鹿児島市上谷口*0.8 鹿児島市下福元=0.7 枕崎市高見町=0.7 薩摩川内市上飯町*0.5				
		熊本県				
		2 芦北町芦北=1.6 熊本南区富合町*1.5 宇城市豊野町*1.5 1 熊本高森町高森*1.4 阿蘇市波野*1.4 玉名市横島町*1.4 多良木町多良木=1.4 西原村小森*1.3 産山村山鹿*1.3 熊本美里町馬場*1.2 合志市竹迫*1.2 熊本北区植木町*1.2 多良木町上球磨消防署*1.2 熊本美里町永富*1.2 八代市新地町*1.1 八代市平山新町=1.1 人吉市西間下町=1.1 宇土市浦田町*1.1 人吉市蟹作町*0.9 阿蘇市一の宮町*0.9 宇城市三角町*0.8 宇城市松橋町=0.8 熊本西区春日=0.8 山都町浜町*0.5				
		大分県				
		2 佐伯市蒲江蒲江浦=1.7 竹田市直入町*1.6 竹田市荻町*1.5 1 臼杵市臼杵*1.4 佐伯市春日町*1.3 佐伯市上浦*1.2 大分市新春日町*0.9 竹田市久住町*0.9 豊後大野市清川町*0.8 竹田市竹田小学校*0.7 佐伯市鶴見*0.7				
		高知県				
		1 宿毛市桜町*1.0				
		福岡県				
		1 久留米市津福本町=1.0				
		佐賀県				
		1 神埼市千代田*1.2 白石町有明*1.2 佐賀市川副*0.9 みやき町北茂安*0.7 佐賀市東与賀*0.5 白石町福田*0.5				
79	16 23 25	日向灘 宮崎県	31° 33.8' N	131° 52.0' E	23km	M: 4.5
		1 宮崎美郷町田代*1.4 日南市油津=1.2 日南市南郷町南町*1.2 宮崎市松橋*1.1 日南市吾田東*0.8 日南市中央通*0.8 串間市役所*0.8 高鍋町上江*0.7				
		鹿児島県				
		1 大崎町仮宿*0.8 鹿屋市新栄町=0.5				
80	17 10 58	愛媛県南予 愛媛県	33° 30.3' N	132° 33.2' E	44km	M: 2.9
		1 大洲市長浜*0.7				
81	18 05 56	石川県能登地方 石川県	37° 13.3' N	136° 48.4' E	11km	M: 2.7
		1 穴水町大町*0.8				
82	18 07 35	日高地方中部 北海道	42° 15.4' N	142° 33.5' E	39km	M: 3.3
		1 新ひだか町三石旭町*0.5				
83	18 08 33	石川県能登地方 石川県	37° 28.9' N	137° 18.2' E	11km	M: 2.8
		2 珠洲市正院町*1.6				
84	18 13 35	空知地方北部 北海道	43° 48.8' N	141° 52.2' E	13km	M: 2.8
		1 沼田町沼田*0.9 秩父別町役場*0.6 留萌市幸町*0.6				
85	18 23 20	福島県会津 福島県	36° 58.3' N	139° 22.4' E	4km	M: 1.6
		1 檜枝岐村上河原*0.8				
86	19 05 45	根室半島南東沖 北海道	43° 13.5' N	146° 06.1' E	76km	M: 4.6
		3 根室市落石東*2.7 2 根室市瑤瑤*2.4 標津町北2条*2.3 中標津町丸山*2.3 根室市牧の内*2.2 根室市厚床*2.1 別海町本別海*1.9 別海町西春別*1.9 別海町常盤=1.8 根室市豊里=1.7 羅臼町岬町*1.7 浜中町茶内*1.6 標茶町塘路*1.5 1 中標津町養老牛=1.3 標津町薫別*1.3 根室市弥栄=1.2 斜里町ウトロ香川*1.1 白糠町西1条*1.0				

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
87	19 06 33	浦河沖 北海道 青森県	41° 39.8' N	142° 43.0' E	45km	M: 4.4
		鶴居村鶴居東*1.0 羅臼町春日=0.9 釧路市阿寒町中央*0.9 羅臼町緑町*0.8 厚岸町尾幌=0.8 標茶町川上*0.7 浜中町湯沸=0.7 釧路市幸町=0.6 標津町古多糠=0.6 2 えりも町えりも岬*1.6 1 函館市泊町*1.3 浦河町築地*1.2 浦河町潮見=1.1 函館市新浜町*0.9 浦河町野深=0.8 様似町栄町*0.8 新ひだか町静内山手町=0.7 厚真町鹿沼=0.6 新ひだか町三石旭町*0.6 2 東通村砂子又沢内*1.7 1 東通村砂子又蒲谷地=1.0 七戸町森ノ上*0.9 八戸市湊町=0.8 三沢市桜町*0.7 青森南部町苔米地*0.7 むつ市金曲=0.7 八戸市南郷*0.7 青森南部町平*0.6 五戸町古館=0.6 東通村尻屋*0.6 六ヶ所村尾駈=0.5				
88	19 15 00	石川県能登地方 石川県	37° 08.9' N	136° 44.0' E	4km	M: 1.5
		1 志賀町富来領家町=0.5				
89	19 18 18	千葉県北東部 千葉県	35° 44.1' N	140° 41.1' E	50km	M: 4.2
		2 横芝光町宮川*2.0 匝瑳市今泉*1.8 横芝光町栗山*1.6 多古町多古=1.5 1 東金市日吉台*1.4 匝瑳市八日市場ハ*1.4 芝山町小池*1.3 山武市蓮沼ニ*1.3 香取市仁良*1.2 旭市南堀之内*1.2 山武市松尾町五反田*1.2 山武市松尾町富士見台=1.1 香取市役所*1.1 山武市殿台*1.1 九十九里町片貝*1.1 東金市東岩崎*1.0 山武市埴谷*1.0 東金市東新宿=1.0 旭市ニ*1.0 成田市松子*1.0 長南町総合グラウンド=0.9 大網白里市大網*0.9 旭市高生*0.9 千葉美浜区ひび野=0.8 成田国際空港=0.8 一宮町一宮=0.8 香取市佐原諏訪台*0.7 成田市市古屋=0.7 富里市七栄*0.7 千葉稲毛区園生町*0.6 香取市佐原平田=0.6 千葉中央区中央港=0.5 茨城県 1 稲敷市江戸崎甲*0.7 土浦市常名=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 潮来市堀之内=0.5				
90	19 20 52	宮城県北部 岩手県	38° 53.9' N	141° 39.8' E	73km	M: 2.9
		1 一関市室根町*0.5				
91	20 00 31	静岡県中部 静岡県	34° 56.3' N	138° 11.7' E	31km	M: 3.0
		1 富士市大淵*0.8 富士宮市野中*0.7				
92	20 05 03	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 23.7' N	129° 32.1' E	13km	M: 2.6
		1 鹿児島十島村悪石島*1.0				
93	20 12 07	茨城県北部 茨城県	36° 32.9' N	140° 22.1' E	94km	M: 3.7
		2 日立市助川小学校*1.8 ひたちなか市東石川*1.6 ひたちなか市南神敷台*1.5 笠間市石井*1.5 1 水戸市内原町*1.3 笠間市笠間*1.3 常陸大宮市北町*1.3 水戸市金町=1.2 日立市役所*1.1 常陸大宮市山方*1.1 城里町石塚*1.1 東海村東海*1.1 水戸市千波町*1.0 筑西市門井*1.0 桜川市岩瀬*1.0 高萩市安良川*1.0 笠間市下郷*0.9 常陸太田市町田町*0.8 常陸太田市高柿町*0.8 常陸大宮市野口*0.8 城里町阿波山*0.7 土浦市常名=0.7 大子町池田*0.7 筑西市二木成*0.7 北茨城市中郷町*0.7 常陸太田市町屋町=0.7 常陸太田市大中町*0.7 桜川市真壁*0.6 城里町徳蔵*0.6 水戸市栗崎町*0.6 石岡市若宮*0.6 北茨城市磯原町*0.6 かすみがうら市大和田*0.5 小美玉市堅倉*0.5 大洗町磯浜町*0.5 桜川市羽田*0.5 石岡市柿岡=0.5 筑西市舟生=0.5 笠間市中央*0.5 小美玉市小川*0.5 福島県 1 矢祭町東館*1.2 矢祭町戸塚*1.0 浅川町浅川*0.9 白河市新白河*0.8 棚倉町棚倉中居野=0.7 いわき市三和町=0.6 小野町中通*0.6 田村市都路町*0.5 栃木県 1 宇都宮市中里町*1.2 壬生町壬生甲*0.9 宇都宮市明保野町=0.7 栃木那珂川町小川*0.7 栃木那珂川町馬頭*0.6				
94	20 14 13	硫黄島近海 東京都	23° 33.6' N	142° 22.7' E	154km	M: 5.5
		1 小笠原村母島=0.8				
95	20 21 22	豊後水道 愛媛県	33° 16.0' N	132° 18.9' E	41km	M: 4.7
		4 宇和島市丸穂*3.8 宇和島市三間町*3.5 八幡浜市五反田*3.5 3 西予市三瓶町*3.2 西予市宇和町*3.2 伊予市中山町*3.1 大洲市肱川町*3.1 西予市明浜町*3.1 伊方町湊浦*3.1 愛南町柏*3.0 宇和島市津島町*3.0 久万高原町久万*3.0 大洲市長浜*2.9 宇和島市吉田町*2.9 大洲市大洲*2.8 内子町内子*2.8 宇和島市住吉町=2.8 内子町平岡*2.7 西予市野村町=2.6 八幡浜市保内町*2.6 愛南町船越*2.5 愛南町一本松*2.5 2 今治市菊間町*2.4 西条市丹原町鞆瀬=2.4 西予市城川町*2.4 伊方町三崎*2.3 松野町松丸*2.3 砥部町総津*2.3 愛媛鬼北町近永*2.3 松山市富久町*2.2 愛南町城辺*2.2 愛媛鬼北町下鍵山*2.2 東温市南方*2.2 内子町小田*2.1 伊予市下吾川*2.1 愛媛松前町筒井*2.0 八幡浜市広瀬=2.0 上島町弓削*2.0 久万高原町渡草*2.0 西条市周布*1.9 砥部町宮内*1.9 松山市北持田町=1.9 愛媛鬼北町成川=1.9 今治市大三島町*1.9 東温市見奈良*1.9 松山市中島大浦*1.9 今治市大西町*1.9 今治市南宝来町二丁目=1.8 愛南町御荘*1.8 西条市小松町*1.7 大洲市豊茂=1.7 大洲市河辺町*1.7 今治市朝倉北*1.7 今治市吉海町*1.6 西条市新田*1.6 西条市丹原町池田*1.6 松山市北条辻*1.6 1 今治市宮窪町*1.4 久万高原町東川*1.4 伊方町三机*1.4 今治市上浦町*1.2 今治市波方町*1.2 新居浜市一宮町=1.2 新居浜市別子山*1.2 久万高原町柳井川*1.2 上島町生名*1.1 上島町岩城*1.1 伊予市双海町*1.1 四国中央市金生町*1.1 今治市伯方町*1.0 四国中央市中曾根町*1.0 四国中央市土居町*1.0 今治市関前岡村*0.8 今治市玉川町*0.7 上島町魚島*0.6 新居浜市中筋町*0.5 高知県 3 宿毛市桜町*3.3				

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		2 宿毛市片島*2.4 梶原町広野*2.3 黒潮町佐賀*2.3 高知香南市夜須町坪井*2.0 四万十町大正*2.0 梶原町梶原*1.8 四万十市古津賀*1.8 大月町弘見*1.7 高知市本町*1.7 四万十市西土佐江川崎*1.6 高知市丸ノ内*1.5 黒潮町入野*1.5 1 土佐市蓮池*1.4 土佐町土居*1.4 四万十町十川*1.4 三原村来栖野*1.3 日高村本郷*1.3 仁淀川町土居*1.3 高知香南市赤岡支所*1.3 安芸市西浜*1.2 土佐清水市有永*1.2 室戸市浮津*1.1 南国市オオソネ*1.1 須崎市西糺町*1.1 佐川町役場*1.1 いの町上八川*1.1 高知香南市吉川町吉原*1.1 土佐清水市足摺岬*1.1 四万十町窪川中津川*1.1 高知津野町力石*1.1 安芸市矢ノ丸*1.0 高知市春野町芳原*1.0 仁淀川町大崎*1.0 中土佐町久礼*1.0 土佐清水市松尾*0.9 芸西村和食*0.9 高知津野町永野*0.9 香美市物部町大栃*0.8 本山町本山*0.8 中土佐町大野見吉野*0.8 大豊町黒石*0.8 大川村小松*0.8 越知町越知*0.8 いの町脇ノ山*0.8 いの町長沢*0.7 高知香南市野市町西野*0.7 須崎市山手町*0.7 香美市土佐山田町若積*0.6 土佐清水市天神町*0.6 大豊町高須*0.6 3 田布施町下田布施*2.6 周防大島町小松*2.6 2 防府市西浦*2.4 柳井市大島*2.3 周防大島町久賀*2.2 山口市阿知須*2.2 山陽小野田市日の出*2.2 平生町平生*2.1 周防大島町西安下庄*1.9 柳井市南町*1.8 周防大島町東和総合支所*1.8 山口市秋徳東*1.8 山口市前町*1.7 下関市竹崎*1.7 光市岩田*1.7 宇部市東須恵*1.6 周防大島町平野*1.6 上関町長島*1.5 1 岩国市横山*1.4 下松市大手町*1.4 萩市須佐*1.3 山口市小郡下郷*1.3 山口市亀山町*1.3 岩国市今津*1.2 光市中央*1.2 周南市熊毛中央町*1.2 宇部市常盤町*1.2 岩国市玖珂支所*1.1 上関町室津*1.1 萩市川上*1.1 萩市江向*1.1 岩国市由宇町*1.1 萩市土原*1.0 阿武町奈古*1.0 岩国市本郷町本郷*1.0 周南市岐山通り*1.0 周南市富田*1.0 和木町和木*0.9 山口市阿東徳佐*0.9 防府市寿*0.9 周南市桜馬場通り*0.8 長門市三隅*0.8 下関市豊北町角島*0.8 岩国市周東町久原*0.7 山口市秋徳二島*0.7 下関市清末陣屋*0.7 萩市下田万*0.6 岩国市美川町高ヶ原*0.5 3 白杵市白杵*3.1 大分市佐賀関*2.8 佐伯市上浦*2.6 2 国東市田深*2.4 国東市鶴川*2.3 津久見市宮本町*2.3 姫島村役場*2.2 佐伯市春日町*2.2 佐伯市直川*2.2 佐伯市鶴見*2.2 大分市明野北*2.1 豊後大野市緒方町*2.1 別府市天間*2.0 日出町役場*2.0 津久見市立花町*2.0 佐伯市弥生*2.0 竹田市直入町*2.0 竹田市萩町*2.0 大分市新春日町*2.0 佐伯市蒲江蒲江浦*1.9 佐伯市米水津*1.9 竹田市久住町*1.8 竹田市会々*1.8 宇佐市上田*1.7 竹田市竹田小学校*1.7 杵築市南杵築*1.7 杵築市山香町*1.6 豊後大野市千歳町*1.6 国東市国見町伊美*1.6 大分市舞鶴町*1.5 宇佐市安心院町*1.5 国東市武蔵町*1.5 佐伯市宇目*1.5 1 豊後高田市真玉*1.4 豊後高田市香々地*1.4 宇佐市院内町*1.4 国東市国見町西方寺*1.4 別府市鶴見*1.4 別府市上野口町*1.4 佐伯市役所*1.4 豊後大野市大野町*1.4 豊後大野市清川町*1.4 豊後高田市御玉*1.3 杵築市杵築*1.3 由布市湯布院町川上*1.3 白杵市乙見*1.2 杵築市大田*1.2 由布市庄内町*1.2 豊後大野市大飼町黒松*1.2 豊後大野市大飼町大飼*1.2 中津市植野*1.1 中津市耶馬溪町*1.1 大分市野津原*1.1 由布市挾間町*1.1 豊後大野市三重町*1.1 中津市三光*1.0 佐伯市蒲江猪串浦*1.0 佐伯市堅田*0.9 佐伯市本匠*0.9 豊後大野市朝地町*0.9 竹田市直入小学校*0.9 白杵市野津町*0.8 中津市上宮永*0.8 中津市豊田町*0.7 中津市本耶馬溪町*0.7 九重町後野上*0.7 2 岡山区片岡*1.6 1 倉敷市船徳町*1.4 浅口市金光町*1.3 倉敷市児島小川町*1.2 里庄町里見*1.2 倉敷市玉島阿賀崎*1.2 岡山区瀬戸町*1.2 笠岡市笠岡*1.1 岡山区浦安南町*1.1 岡山区御津金川*1.0 岡山美咲町久木*1.0 倉敷市水島北幸町*1.0 倉敷市新田*0.9 井原市井原町*0.9 備前市東片上*0.9 和気町矢田*0.9 倉敷市真備町*0.9 矢掛町矢掛*0.9 瀬戸内市長船町*0.9 赤磐市松木*0.9 早島町前潟*0.8 真庭市禾津*0.8 総社市地頭片山*0.8 赤磐市上市*0.8 倉敷市沖*0.8 浅口市天草公園*0.7 瀬戸内市邑久町*0.6 総社市清音部*0.6 和気町尺所*0.6 岡山区桑田町*0.6 真庭市下方*0.6 浅口市寄島町*0.5 高梁市松原通*0.5 笠岡市殿川*0.5 岡山区中区浜*0.5 2 呉市二河町*1.9 江田島市能美町*1.8 福山市内海町*1.8 呉市音戸町*1.8 府中町大通り*1.8 呉市川尻町*1.7 東広島市黒瀬町*1.6 呉市広*1.6 江田島市大柿町*1.6 大崎上島町東野*1.6 尾道市向島町*1.6 大竹市小方*1.6 広島西区己斐*1.5 呉市宝町*1.5 三原市本郷南*1.5 呉市安浦町*1.5 1 尾道市瀬戸田町*1.4 呉市豊町*1.4 東広島市西条栄町*1.4 坂町役場*1.4 竹原市中央*1.4 廿日市市大野*1.3 海田町役場*1.3 江田島市江田島町*1.3 尾道市久保*1.3 大崎上島町中野*1.3 大崎上島町木江*1.3 広島中区上八丁堀*1.2 呉市下蒲刈町*1.2 呉市豊浜町*1.2 広島安芸区中野*1.1 安芸高田市向原町*1.1 三原市円一町*1.1 安芸高田市向原町長田*1.1 廿日市市津田*1.1 広島中区羽衣町*1.1 広島安佐南区祇園*1.1 広島安佐北区可部南*1.1 尾道市因島土生町*1.0 呉市焼山*1.0 福山市松永町*1.0 東広島市豊栄町*1.0 広島南区宇品海岸*1.0 三原市久井町*1.0 広島佐伯区利松*1.0 福山市駅家町*0.9 福山市沼隈町*0.9 北広島町有田*0.8 呉市郷原町*0.8 福山市神辺町*0.8 世羅町西上原*0.7 呉市蒲刈町*0.7 神石高原町油木*0.7 熊野町役場*0.7 広島三次市三次町*0.6 広島三次市吉舎町*0.6 安芸高田市吉田町*0.6 安芸太田町中筒賀*0.6 東広島市河内町*0.6 北広島町都志見*0.6 世羅町東神崎*0.5 江田島市神美町*0.5 広島三次市三和町*0.5 東広島市福富町*0.5 東広島市安芸津町*0.5 廿日市市下平良*0.5 安芸太田町戸河内*0.5 2 三豊市高瀬町*1.6 三豊市詫間町*1.6 1 直島町役場*1.4 観音寺市坂本町*1.4 観音寺市瀬戸町*1.4 高松市国分寺町*1.3 観音寺市豊浜町*1.3 琴平町榎井*1.3 三豊市三野町*1.3 高松市庵治町*1.3 三豊市山本町*1.2 綾川町山下*1.2 高松市牟礼町*1.2 東かがわ市西村*1.2 多度津町家中*1.2 三豊市豊中町*1.2 三豊市財田町*1.2 宇多津町役場*1.1 高松市扇町*1.1 まんのう町吉野下*1.1 小豆島町池田*1.1 丸亀市飯山町*1.1 土庄町淵崎*1.0 観音寺市大野原町*1.0 丸亀市新田町*0.9 綾川町滝宮*0.9 さぬき市長尾総合公園*0.6				
		山口県				
		大分県				
		岡山県				
		広島県				
		香川県				

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		高松市伏石町=0.5 福岡県 2 北九州若松区桜町*=1.7 1 久留米市城島町*=1.4 大木町八町牟田*=1.2 北九州八幡東区大谷*=1.1 飯塚市立岩*=1.1 みやこ町犀川本庄*=1.0 上毛町垂水*=0.9 久留米市津福本町=0.9 東峰村小石原*=0.8 北九州八幡東区桃園=0.8 行橋市今井*=0.8 中間市長津*=0.7 みやこ町勝山上田*=0.7 北九州小倉南区横代東町*=0.6 豊前市吉木*=0.5 熊本県 2 熊本高森町高森*=2.4 産山村山鹿*=2.2 阿蘇市波野*=1.8 合志市竹迫*=1.7 阿蘇市内牧*=1.6 菊池市旭志*=1.5 阿蘇市一の宮町*=1.5 1 南阿蘇村吉田*=1.3 山鹿市鹿央町*=1.3 山都町今*=1.3 玉名市天水町*=1.2 菊池市隈府*=1.2 山鹿市菊鹿町*=1.1 玉東町木葉*=1.1 南阿蘇村中松=1.0 熊本美里町永富*=0.9 山鹿市老人福祉センター*=0.8 山都町浜町*=0.8 玉名市中尾*=0.7 宮崎県 2 延岡市北方町総合支所*=2.1 高千穂町三田井=2.1 延岡市北川町川内名白石*=1.9 延岡市北浦町古江*=1.6 1 高千穂町寺迫*=1.4 宮崎美郷町田代*=1.4 延岡市北川町総合支所*=0.9 五ヶ瀬町三ヶ所*=0.9 延岡市天神小路=0.8 西都市上の宮*=0.8 高鍋町上江*=0.8 川南町川南*=0.8 宮崎都農町役場*=0.8 椎葉村下福良*=0.8 小林市野尻町東麓*=0.8 西都市聖陵町*=0.7 延岡市北方総合運動公園=0.6 椎葉村総合運動公園*=0.6 小林市真方=0.6 兵庫県 1 上郡町大持*=1.0 赤穂市加里屋*=0.8 豊岡市桜町=0.5 島根県 1 益田市常盤町*=1.4 江津市江津町*=1.0 川本町川本*=1.0 浜田市殿町*=0.9 益田市美都町都茂*=0.6 島根美郷町都賀本郷*=0.6 邑南町淀原*=0.6 江津市桜江町川戸*=0.6 津和野町枕瀬*=0.5 雲南市三刀屋町三刀屋*=0.5 邑南町下口羽*=0.5 徳島県 1 徳島三好市西祖谷山村*=1.0 牟岐町中村*=0.9 徳島三好市池田町サラダ=0.7 徳島市大和町=0.7 つるぎ町貞光*=0.7 徳島三好市山城町*=0.6 美波町西の地*=0.6 阿南市富岡町=0.5 佐賀県 1 上峰町坊所*=1.1 みやき町三根*=1.1 神埼市千代田*=1.0				
96	20 21 23	トカラ列島近海 鹿児島県 2 鹿児島十島村悪石島*=1.9	29° 25.5' N	129° 30.1' E	22km	M: 3.5
97	20 22 30	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*=0.8	29° 21.9' N	129° 33.4' E	9km	M: 2.3
98	21 00 49	京都府南部 京都府 1 京都左京区広河原能見町*=0.5	35° 16.8' N	135° 43.9' E	11km	M: 2.9
99	21 01 29	福岡県筑後地方 福岡県 1 みやま市高田町*=0.6	33° 05.9' N	130° 33.9' E	9km	M: 2.2
100	21 03 23	日向灘 宮崎県 1 日南市南郷町南町*=0.5	31° 33.2' N	131° 51.4' E	22km	M: 3.8
101	21 17 45	青森県東方沖 青森県 2 東通村砂子又沢内*=1.5 1 東通村砂子又蒲谷地=0.7	41° 34.2' N	142° 05.5' E	54km	M: 3.7
102	21 23 07	石川県能登地方 石川県 1 穴水町大町*=1.0	37° 14.3' N	136° 49.8' E	11km	M: 3.0
103	22 06 13	浦河沖 北海道 1 新ひだか町三石旭町*=0.9 新ひだか町静内山手町=0.7 浦河町潮見=0.6 浦河町築地*=0.5	42° 02.2' N	142° 34.8' E	64km	M: 3.7
104	22 09 52	福島県浜通り 福島県 2 いわき市三和町=1.7	37° 04.7' N	140° 45.1' E	8km	M: 3.0
105	22 16 42	東京都多摩西部 栃木県 2 宇都宮市明保野町=1.5 群馬県 1 桐生市黒保根町*=0.6	35° 41.9' N	139° 07.1' E	122km	M: 3.7
106	23 03 25	石川県能登地方 石川県 1 輪島市鳳至町=0.6	37° 22.9' N	136° 59.6' E	9km	M: 2.5
107	23 06 28	山梨県東部・富士五湖 神奈川県 1 山北町山北*=0.7 山梨県 1 富士河口湖町船津=0.9 上野原市役所*=0.6 大月市御太刀*=0.6	35° 29.6' N	138° 57.3' E	17km	M: 2.8
108	23 06 53	静岡県中部 静岡県 2 静岡駿河区用宗*=1.9 川根本町東藤川*=1.8 浜松天竜区春野町*=1.5 1 下田市*=1.3 藤枝市岡部町岡部*=1.2 掛川市西大淵*=1.2 東伊豆町奈良本*=1.1 藤枝市岡出山*=1.0 静岡駿河区曲金=1.0 焼津市宗高*=1.0 川根本町上長尾*=0.9 掛川市長谷*=0.9 浜松天竜区佐久間町*=0.9 島田市元島田=0.9 熱海市網代=0.8 静岡葵区梅ヶ島*=0.8 島田市川根町家山=0.8 磐田市福田*=0.8 牧之原市静波*=0.7 南伊豆町入間*=0.7 富士宮市野中*=0.7 掛川市三俣*=0.7 河津町田中*=0.7 牧之原市鬼女新田=0.6 焼津市石津*=0.6 富士市大淵*=0.6 吉田町住吉*=0.6 袋井市新屋=0.6 島田市金谷代官町*=0.6 浜松浜名区三ヶ日町=0.5 藤枝市瀬戸新屋*=0.5	35° 04.0' N	138° 09.0' E	31km	M: 3.9

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
109	23 15 53	山梨県 1 大月市大月=1.3 富士河口湖町船津=1.2 富士河口湖町長浜*=1.1 大月市御太刀*=1.0 山梨南部町栄小学校*=0.9 鳴沢村役場*=0.9 早川町葉袋*=0.7 甲州市大和町初鹿野*=0.7 身延町役場*=0.6 富士河口湖町勝山*=0.6 笛吹市八代町南*=0.6 都留市上谷*=0.5	43° 35.0' N	146° 09.8' E	79km	M: 4.2
		愛知県 1 新城市作手高里松風呂*=1.0 豊川市赤坂町*=0.6 新城市東入船*=0.6				
		国後島付近				
		北海道 3 根室市牧の内*=2.7 2 根室市瑤瑤瑠*=2.2 根室市厚床*=1.8 中標津町丸山*=1.7 根室市落石東*=1.6 根室市豊里=1.5 1 浜中町茶内*=1.3 標津町北2条*=1.2 根室市弥栄=1.2 別海町常盤=1.0 別海町本別海*=1.0 標茶町塘路*=1.0 羅臼町岬町*=0.8 標茶町川上*=0.6				
110	23 16 39	能登半島沖 石川県 1 珠洲市三崎町=0.5	37° 35.9' N	137° 17.3' E	13km	M: 3.2
111	23 18 03	栃木県南部 茨城県 1 筑西市舟生=0.8 石岡市柿岡=0.5 笠間市石井*=0.5	36° 23.5' N	139° 49.3' E	87km	M: 3.3
112	23 18 21	熊本県熊本地方 熊本県 1 八代市坂本町*=1.0	32° 28.5' N	130° 36.6' E	7km	M: 2.5
113	24 08 29	新島・神津島近海 東京都 1 神津島村役場*=0.7 神津島村金長=0.5	34° 14.0' N	139° 11.1' E	9km	M: 2.3
114	24 12 07	長野県北部 長野県 1 山ノ内町消防署*=0.8	36° 41.8' N	138° 24.2' E	8km	M: 2.1
115	24 12 07	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町*=0.8 一関市千厩町*=0.6 1 石巻市北上町*=1.1 石巻市鮎川浜*=1.0 石巻市泉町=0.5	38° 17.6' N	141° 52.0' E	46km	M: 3.9
116	24 16 06	宮城県沖 宮城県 福島県 1 石巻市桃生町*=1.0 石巻市北上町*=0.7 岩沼市桜*=0.7 石巻市鮎川浜*=0.7 東松島市小野*=0.6 1 新地町谷地小屋*=0.9 飯館村伊丹沢*=0.9 福島伊達市霊山町*=0.8 相馬市中村*=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.7 田村市船引町=0.5	37° 56.9' N	141° 49.6' E	53km	M: 3.9
117	24 19 03	長野県南部 長野県 1 木曾町開田高原西野*=1.1 木曾町新開*=0.5	35° 53.4' N	137° 37.0' E	6km	M: 2.4
118	24 19 32	群馬県南部 群馬県 1 桐生市黒保根町*=0.5	36° 34.0' N	139° 21.3' E	7km	M: 2.7
119	24 22 09	留萌地方中北部	44° 55.7' N	141° 50.6' E	14km	M: 3.7
		北海道 4 天塩町川口*=3.6 2 幌延町宮園町*=1.9 1 遠別町本町*=1.3 上川中川町中川*=1.0				
120	25 02 07	十勝沖 北海道 1 浦河町築地*=1.2 えりも町えりも岬*=1.1 浦河町潮見=0.8 様似町栄町*=0.7 十勝大樹町東本通*=0.6	41° 31.8' N	143° 28.5' E	27km	M: 4.2
121	25 21 58	大阪府北部 大阪府 1 能勢町森上*=0.6	34° 57.3' N	135° 24.8' E	11km	M: 2.3
122	26 08 43	宮古島近海 沖縄県 1 多良間村塩川=0.6 宮古島市伊良部前里添=0.6	24° 51.6' N	124° 50.2' E	63km	M: 3.8
123	26 12 24	石川県能登地方 石川県 1 輪島市鳳至町=1.4 輪島市河井町*=1.1	37° 23.8' N	136° 53.1' E	8km	M: 2.4
124	26 16 01	釧路沖	42° 46.6' N	145° 06.7' E	59km	M: 5.7
		北海道 4 標津町北2条*=4.3 根室市厚床*=4.1 別海町西春別*=3.9 浜中町茶内*=3.9 釧路市黒金町*=3.7 根室市落石東*=3.7 根室市瑤瑤瑠*=3.7 標茶町塘路*=3.6 厚岸町尾幌=3.6 弟子屈町弟子屈*=3.5 別海町常盤=3.5 3 浜中町湯沸=3.3 根室市牧の内*=3.3 釧路市幸町=3.1 羅臼町岬町*=3.1 厚岸町真栄*=3.1 中標津町丸山*=3.0 釧路町別保*=3.0 標茶町川上*=3.0 弟子屈町美里=2.9 白糠町西1条*=2.8 中標津町養老牛=2.8 浦幌町桜町*=2.8 釧路市阿寒町中央*=2.8 別海町本別海*=2.8 新得町2条*=2.8 十勝大樹町生花*=2.7 十勝池田町西1条*=2.7 十勝清水町南4条=2.6 釧路市音別町中園*=2.6 鶴居村鶴居東*=2.6 鹿追町東町*=2.5 2 足寄町上螺湾=2.4 幕別町忠類錦町*=2.4 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=2.4 根室市弥栄=2.4 清里町羽衣町*=2.3 更別村更別*=2.3 足寄町南1条*=2.2 十勝大樹町東本通*=2.2 小清水町小清水*=2.2 羅臼町緑町*=2.2 幕別町本町*=2.2 斜里町ウトロ香川*=2.1 標津町薫別*=2.1 広尾町並木通=2.1 弟子屈町サワンチサップ*=2.1 根室市豊里=2.1 羅臼町春日=2.0 新冠町北星町*=2.0 標津町古多糠=2.0 芽室町東2条*=2.0 北見市留辺蘂町栄町*=1.9				

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日 時 分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>訓子府町東町*1.9 美幌町東3条*1.9 函館市新浜町*1.9 大空町女満別西3条*1.9 美唄市西5条*1.8 斜里町本町*1.8 幕別町忠類明和*1.8 佐呂間町永代町*1.8 遠軽町生田原*1.8 本別町向陽町*1.8 むかわ町松風*1.8 南富良野町役場*1.8 北見市常呂町常呂*1.8 札幌東区元町*1.7 北見市公園町*1.7 豊頃町茂岩本町*1.7 本別町北2丁目*1.7 帯広市東4条*1.7 中札内村東2条*1.7 帯広市東6条*1.7 音更町元町*1.7 むかわ町穂別*1.7 大空町東藻琴*1.7 中富良野町本町*1.6 網走市南6条*1.6 広尾町白樺通*1.6 江別市緑町*1.5 長沼町中央*1.5 湧別町栄町*1.5 浦河町潮見*1.5 1 札幌北区太平*1.4 函館市泊町*1.4 様似町栄町*1.4 上士幌町上士幌*1.4 陸別町陸別*1.4 士幌町士幌*1.4 新ひだか町静内山手町*1.3 浦河町築地*1.3 千歳市支笏湖温泉*1.3 えりも町目黒*1.3 札幌北区篠路*1.3 美唄市西3条*1.3 南幌町栄町*1.3 栗山町松風*1.3 網走市台町*1.3 北見市常呂町東浜*1.3 厚真町鹿沼*1.3 厚真町京町*1.3 平取町振内*1.3 南富良野町幾寅*1.2 石狩市聚富*1.2 富良野市若松町*1.2 置戸町拓殖*1.2 興部町興部*1.2 安平町追分柏が丘*1.1 千歳市若草*1.1 札幌厚別区もみじ台*1.1 新ひだか町静内御幸町*1.1 北見市南仲町*1.1 千歳市北栄*1.1 遠軽町丸瀬布金湧山*1.1 上士幌町清水谷*1.1 富良野市末広町*1.1 新千歳空港*1.1 猿払村浅茅野*1.1 遠軽町学田*1.0 札幌清田区平岡*1.0 札幌北区新琴似*1.0 札幌市稲区前田*1.0 新ひだか町三石旭町*0.9 浦河町野深*0.9 札幌白石区北郷*0.9 鹿部町宮浜*0.9 占冠村中央*0.9 胆振伊達市大滝区本町*0.9 北広島市中の沢*0.9 上富良野町大町*0.8 石狩市花川*0.8 日高地方日高町門別*0.8 苫小牧市末広町*0.8 登別市桜木町*0.8 遠軽町白滝*0.8 上川地方上川町花園町*0.7 日高地方日高町日高*0.7 岩見沢市5条*0.7 平取町本町*0.7 えりも町えりも岬*0.7 小樽市勝納町*0.6 函館市川汲町*0.6 札幌南区石山*0.6 白老町緑丘*0.5 江別市高砂町*0.5 2 八戸市南郷*2.0 東北町上北南*1.8 東通村砂子又沢内*1.8 野辺地町田狭沢*1.6 五戸町古館*1.6 東通村砂子又蒲谷地*1.6 階上町道仏*1.5 七戸町森*1.5 1 平内町小湊*1.4 八戸市湊町*1.4 八戸市内丸*1.4 青森南部町苔米地*1.4 青森南部町平*1.4 おいらせ町中下田*1.4 五戸町倉石中市*1.3 むつ市金曲*1.3 外ヶ浜町蟹田*1.1 七戸町七戸*1.1 六戸町大落瀬*1.1 おいらせ町上明堂*1.1 三沢市桜町*1.0 青森市浪岡*1.0 東北町塔ノ沢山*1.0 六ヶ所村尾駸*1.0 十和田市西十二番町*0.9 三戸町在府小路町*0.9 藤崎町水木*0.8 十和田市西二番町*0.8 むつ市川内町*0.8 藤崎町西豊田*0.8 青森南部町沖田面*0.7 六ヶ所村出戸*0.6 五所川原市金木町*0.6 蓬田村蓬田*0.6 中泊町中里*0.6 青森市花園*0.6 横浜町林ノ脇*0.6 横浜町寺下*0.6 青森市中央*0.6 十和田市奥瀬*0.5 つがる市市栢*0.5 2 盛岡市藪川*1.7 二戸市浄法寺町*1.5 1 普代村銅屋*1.3 軽米町軽米*1.3 盛岡市渋民*1.2 宮古市田老*1.1 釜石市中妻町*1.1 紫波町紫波中央駅前*1.1 一関市千厩町*1.1 奥州市江刺*1.1 盛岡市山王町*1.0 八幡平市田頭*1.0 遠野市青笹町*1.0 住田町世田米*0.8 大槌町上町*0.8 久慈市枝成沢*0.7 大船渡市大船渡町*0.7 一関市室根町*0.7 山田町八幡町*0.6 釜石市只越町*0.6 二戸市福岡*0.6 岩手洋野町種市*0.5 奥州市水沢大鐘町*0.5 奥州市水沢佐倉河*0.5 宮古市五月町*0.5 二戸市石切所*0.5 八幡平市大更*0.5 花巻市石鳥谷町*0.5 北上市柳原町*0.5 山田町大沢*0.5 2 石巻市桃生町*1.6 涌谷町新町裏*1.5 1 登米市迫町*1.1 宮城美里町木間塚*1.1 石巻市相野谷*1.0 栗原市若柳*0.9 登米市登米町*0.9 登米市南方町*0.9 登米市米山町*0.9 岩手市桜*0.9 石巻市前谷地*0.9 登米市中田町*0.8 大崎市松山*0.8 大崎市田尻*0.8 石巻市大街道南*0.8 東松島市矢本*0.8 松島町高城*0.8 気仙沼市赤岩*0.8 気仙沼市唐桑町*0.7 大崎市古川三日町*0.7 大崎市鹿島台*0.7 気仙沼市笹が陣*0.6 角田市角田*0.5 栗原市栗駒*0.5 栗原市築館*0.5 栗原市高清水*0.5 福島県 1 殿殿町松川新桑原*0.9 田村市大越町*0.9 田村市滝根町*0.9 玉川村小高*0.8 いわき市三和町*0.5 茨城県 1 笠間市石井*0.9</p>				
125	26 20 35	<p>熊本県熊本地方 熊本県 3 宇城市松橋町*2.9 熊本南区城南町*2.9 熊本西区春日*2.8 宇城市不知火町*2.7 宇城市豊野町*2.6 氷川町島地*2.6 宇土市浦田町*2.6 嘉島町上島*2.6 熊本南区富合町*2.5 2 宇城市小川町*2.4 八代市鏡町*2.1 氷川町宮原*2.0 熊本美里町永富*1.9 熊本中央区大江*1.8 八代市新地町*1.7 西原村小森*1.7 八代市千丁町*1.7 熊本美里町馬場*1.6 益城町宮園*1.6 甲佐町豊内*1.5 八代市平山新町*1.5 1 大津町大津*1.4 合志市竹迫*1.4 和水町江田*1.4 熊本東区佐土原*1.4 大津町引水*1.3 玉名市天水町*1.3 御船町御船*1.3 玉東町木葉*1.2 菊陽町久保田*1.2 玉名市横島町*1.2 上天草市大矢野町*1.2 上天草市松島町*1.2 上天草市姫戸町*1.2 熊本北区植木町*1.1 菊池市旭志*1.1 八代市坂本町*1.0 八代市東陽町*1.0 合志市御代志*1.0 天草市五和町*1.0 山鹿市鹿本町*0.9 山都町浜町*0.8 山鹿市鹿央町*0.8 宇城市三角町*0.8 玉名市中尾*0.7 山鹿市菊鹿町*0.7 八代市泉支所*0.6 菊池市隈府*0.6 水俣市牧ノ内*0.5 五木村甲*0.5 福岡県 1 みやま市高田町*0.8 みやま町犀川本庄*0.7 久留米市津福本町*0.6 朝倉市堤*0.5 大牟田市昭和町*0.5 佐賀県 1 佐賀市川副*0.6 長崎県 1 雲仙市小浜町雲仙*0.9 南島原市北有馬町*0.8 雲仙市国見町*0.5 鹿児島県 1 長島町獅子島*0.5</p>	32° 41.1' N	130° 42.5' E	13km	M: 3.8
126	27 00 01	<p>熊本県球磨地方 熊本県 1 球磨村渡*0.8</p>	32° 20.7' N	130° 40.2' E	10km	M: 2.5
127	27 02 52	<p>能登半島沖 石川県 1 志賀町香能*1.2</p>	37° 09.2' N	136° 40.4' E	6km	M: 2.2
128	27 08 12	<p>石川県能登地方</p>	37° 23.8' N	136° 52.4' E	8km	M: 1.5

令和6年9月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
129	27 09 31	石川県 1 輪島市河井町*=0.6 輪島市鳳至町=0.5 日向灘 高知県 1 宿毛市桜町*=0.7	32° 18.8' N	132° 08.3' E	21km	M: 3.7
130	27 09 54	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇城市松橋町=0.6 宇城市不知火町*=0.5	32° 41.0' N	130° 42.5' E	13km	M: 2.6
131	28 20 32	群馬県南部 群馬県 1 伊勢崎市西久保町*=0.7	36° 24.2' N	139° 14.3' E	9km	M: 2.0
132	28 21 32	硫黄島近海 東京都 2 小笠原村母島=2.4 小笠原村父島三日月山=1.5 1 小笠原村父島西町=1.3	25° 53.8' N	141° 58.5' E	100km	M: 5.3
133	29 00 53	石川県西方沖 石川県 1 羽咋市柳田町=0.5	37° 00.9' N	136° 25.8' E	9km	M: 3.7
134	29 03 57	千葉県北東部 千葉県 1 芝山町小池*=0.7	35° 42.6' N	140° 37.0' E	51km	M: 2.9
135	30 02 53	千葉県東方沖 千葉県 1 香取市仁良*=1.0 旭市ニ*=0.9 芝山町小池*=0.6 旭市高生*=0.6	35° 29.3' N	140° 57.4' E	17km	M: 3.5
136	30 15 18	石川県能登地方 石川県 1 能登町松波*=0.7 能登町柳田*=0.6 珠洲市大谷町*=0.6	37° 25.1' N	137° 09.4' E	7km	M: 2.8
137	30 20 37	石川県西方沖 石川県 1 志賀町香能*=0.8	37° 00.8' N	136° 25.9' E	10km	M: 3.5

● 付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 〈令和5年（2023年）10月～令和6年（2024年）9月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和5年（2023年）											
10月	105	34	9	1						149	石川県能登地方の地震活動 （10月中：震度2：2回、震度1：8回、能登半島沖で発生した地震5回及び富山湾で発生した地震1回を含む）
11月	105	34	9	4						152	トカラ列島近海（口之島・中之島付近）の地震活動 （11月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：2回、震度1：15回）
12月	108	35	7							150	トカラ列島近海（宝島付近）の地震活動 （12月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：11回）
令和6年（2024年）											
1月*	1024	425	164	47	7	8	2		1	1678	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （1月中：震度7：1回、震度6弱：2回、震度5強：8回、震度5弱：7回、震度4：45回、震度3：159回、震度2：395回、震度1：941回）
2月	189	64	23	7						283	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （2月中：震度4：3回、震度3：12回、震度2：34回、震度1：95回） 千葉県東方沖の地震活動 （2月中：震度4：1回、震度3：3回、震度2：3回、震度1：6回）
3月	122	58	16	8	2					206	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （3月中：震度3：4回、震度2：17回、震度1：49回） 千葉県東方沖の地震活動 （3月中：震度4：3回、震度3：4回、震度2：12回、震度1：16回）
4月	160	56	20	4	2		1			243	2日 岩手県沿岸北部（震度5弱） 8日 大隅半島東方沖（震度5弱） 17日 豊後水道（震度6弱） （4月中：震度6弱：1回、震度4：1回、震度3：2回、震度2：15回、震度1：47回） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （4月中：震度3：4回、震度2：9回、震度1：32回）
5月	86	33	12	2						133	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：6回、震度1：20回） 豊後水道の地震活動 （5月中：震度3：2回、震度2：1回、震度1：10回）
6月	96	43	14	3		1				157	3日 石川県能登地方（震度5強） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （6月中：震度5強：1回、震度4：1回、震度3：1回、震度2：5回、震度1：27回） トカラ列島近海（小宝島付近）の地震活動 （6月中：震度3：3回、震度2：4回、震度1：9回）
7月	89	25	15	4						133	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （7月中：震度3：1回、震度2：3回、震度1：16回）
8月	106	28	10	2	2		1			149	8日 日向灘（震度6弱） （8月中：震度6弱：1回、震度3：3回、震度2：5回、震度1：16回） 9日 神奈川県西部（震度5弱） 19日 茨城県北部（震度5弱） 「令和6年能登半島地震」の地震活動 （8月中：震度3：1回、震度2：4回、震度1：13回）
9月	98	30	6	3						137	「令和6年能登半島地震」の地震活動 （9月中：震度2：4回、震度1：14回）
2024年計	1970	762	280	80	13	9	4	0	1	3119	
過去1年計	2288	865	305	85	13	9	4	0	1	3570	（令和5年10月～令和6年9月）

※ 2024年1月中の回数は、後日の調査で変更する場合があります。

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 <令和5年（2023年）10月～令和6年（2024年）9月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
令和5年（2023年）								
10月	416	161	29	5		611	195	3日 鳥島近海（M6.4） 4日 鳥島近海（M6.2） 5日 鳥島近海（M6.5） 6日 鳥島近海（M6.0） 16日 宮古島近海（M6.0）
11月	333	62	7		1	403	70	24日 マリアナ諸島（M7.5）
12月	351	83	5	1		440	89	28日 択捉島南東沖（M6.6）
令和6年（2024年）								
1月	1488	255	22	2	1	1768	280	1日16時10分 石川県能登地方（M7.6） 1日16時18分 石川県能登地方（M6.1） 9日 佐渡付近（M6.1）
2月	466	77	14	1		558	92	12日 硫黄島近海（M6.5）
3月	329	69	8			406	77	
4月	908	217	41	13	1	1180	272	2日 岩手県沿岸北部（M6.0） 3日08時58分 台湾付近（M7.7） 3日09時11分 台湾付近（M6.6） 3日09時35分 台湾付近（M6.3） 3日10時39分 台湾付近（M6.0） 3日11時14分 台湾付近（M6.0） 4日 福島県沖（M6.3） 17日 豊後水道（M6.6） 22日 台湾付近（M6.2） 23日03時26分 台湾付近（M6.7） 23日03時32分 台湾付近（M6.5） 23日05時49分 台湾付近（M6.0） 23日09時04分 台湾付近（M6.3） 27日 小笠原諸島西方沖（M6.7）
5月	430	82	5	1		518	88	10日 台湾付近（M6.5）
6月	318	84	9	1		412	94	3日 石川県能登地方（M6.0）
7月	356	89	15	1		461	105	8日 小笠原諸島西方沖（M6.4）
8月	397	82	6	2	1	488	91	8日 日向灘（M7.1） 10日 オホーツク海南部（M6.7） 16日 台湾付近（M6.1）
9月※	329	79	12			420	91	
2024年計	5021	1034	132	21	3	6211	1190	
過去1年計	6121	1340	173	27	4	7665	1544	（令和5年10月～令和6年9月）

※ 2024年9月中の回数には、9月24日の鳥島近海の地震（M5.8）を含む。この地震は震源決定精度がやや劣るものである。

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和6年9月に長周期地震動階級*1以上を観測した地震はなかった。

平成25年3月～令和6年9月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和2年 (2020年)	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和3年 (2021年)	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和4年 (2022年)	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和5年 (2023年)	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和6年 (2024年)	15	0	1	4	0	1	0	1	0				22

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和5年12月号の付録10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/gaikyo/monthly/202312/202312furoku_10.pdf

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和6年9月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は62回であった。

平成19年10月～令和6年9月に発表した緊急地震速報の月別回数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年 (2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年 (2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年 (2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年 (2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年 (2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年 /令和元年 (2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)	0(59)	1(56)	0(50)	0(72)	0(56)	2(68)	8(763)
令和2年 (2020年)	1(60)	1(54)	1(60)	2(76)	4(74)	1(96)	2(59)	0(46)	1(67)	0(42)	1(43)	3(77)	17(754)
令和3年 (2021年)	0(62)	1(90)	1(75)	0(74)	1(79)	0(52)	0(80)	0(80)	1(60)	3(56)	2(60)	2(92)	11(860)
令和4年 (2022年)	2(81)	0(63)	6(150)	0(74)	2(83)	2(78)	0(49)	1(64)	0(68)	1(65)	1(66)	0(72)	15(913)
令和5年 (2023年)	1(59)	1(45)	0(56)	0(70)	12(155)	1(74)	0(49)	0(51)	1(82)	1(60)	0(61)	0(62)	17(824)
令和6年 (2024年)	20(376)	2(104)	2(82)	4(90)	0(54)	2(81)	0(68)	2(65)	0(62)				32(982)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。